
紀の川市
子ども・子育て支援事業計画における
ニーズ調査報告書(案)

平成26年3月

紀の川市

目 次

I 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査概要	1
3. 報告書の見方	1
4. 用語の定義	2
II お住まいの地域について	3
(1) お住まいの地域について	3
(2) 子どもの生年月日及び就学・未就学について	3
(3) きょうだいの人数及び末子の年齢について	4
(4) 回答者について	5
(5) 回答者の配偶関係について	5
(6) 子育て(教育を含む)を主に行っている方について	6
(7) 子育て(教育を含む)に日常的に関わっている方について	6
(8) 子育て(教育を含む)に、強く影響すると思われる環境について	7
(9) 子どもをみてもらえる親族・知人について	7
(10) 祖父母等の親族に子どもをみてもらっている状況について	8
(11) 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況について	9
(12) 子どもの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人について	9
(13) 子どもの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先について	10
(14) 母親の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)について	11
(15) 母親の週当たりの就労日数、1日当たりの就労時間(残業時間を含む)について	12
(16) 母親が就労のため家を出る時刻と帰宅時刻について	13
(17) 父親の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)について	14
(18) 父親の週当たりの就労日数、1日当たりの就労時間(残業時間を含む)について	15
(19) 父親が就労のため家を出る時刻と帰宅時刻について	16
(20) フルタイムへの転換希望について	17
(21) 就労希望について	18
(22) 幼稚園や保育所などの定期的な教育・保育事業の利用について	20
(23) 平日利用している教育・保育の事業について	21
(24) 平日に定期的に利用している教育・保育の事業の利用頻度と利用希望について	22
(25) 現在、利用している教育・保育事業の実施場所について	24
(26) 平日の定期的な教育・保育事業の利用理由について	24
(27) 平日の定期的な教育・保育事業を利用していない理由について	25

(28) 平日の教育・保育の事業として、定期的に利用したいと考える事業について	26
(29) 教育・保育事業を利用したい場所について	27
(30) 現在の地域子育て支援拠点事業の利用について	27
(31) 地域子育て支援拠点事業の利用意向について	28
(32) 子育て支援事業の認知度、利用度、利用意向度について	29
(33) 土曜日と日曜日・祝日における定期的な教育・保育事業の利用希望について	32
(34) 毎週ではなく、たまに利用したい理由について	34
(35) 長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用希望について	35
(36) 毎日ではなく、たまに利用したい理由について	36
(37) この1年間に、子どもが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことについて	36
(38) 病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合の対処方法について	37
(39) できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思ったかについて	38
(40) 病児・病後児の子どもを預ける場合希望する事業形態について	39
(41) 利用したいと思わないと思われる理由について	40
(42) 病児・病後児を他人に預けた際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか	41
(43) 休んで看ることは非常に難しいと思われる理由について	42
(44) 私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業について ..	43
(45) 現在利用していない理由について	44
(46) 私用、親の通院、不定期の就労等の目的での、年間必要利用日数について	45
(47) 子どもを預ける望ましい事業形態について	46
(48) この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことの有無について	46
(49) その場合の困難度について	48
(50) 小学校低学年(1～3年生)での放課後(平日の小学校終了後)の過ごし方について	48
(51) 小学校高学年(4～6年生)での放課後(平日の小学校終了後)の過ごし方について	50
(52) 土曜日と日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用希望について	52
(53) 長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望について	54
(54) 子どもが生まれた時の育児休業の取得について	55
(55) 育児休業給付、健康保険及び厚生年金保険の保険料の免除についての認知度 ..	57
(56) 育児休業取得後の職場への復帰について	57
(57) 育児休業から職場に復帰したタイミングについて	58

(58) 育児休業の実際の取得と希望について	59
(59) 勤め先に育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、預けたい希望の期間について.....	60
(60) 希望の時期に職場復帰しなかった理由について.....	61
(61) 希望より遅く復帰した理由について.....	62
(62) 育児休業からの職場復帰時の短時間勤務制度の利用について	63
(63) 短時間勤務制度を利用しなかった(利用できなかった)理由に ついて	64
(64) 子どもが1歳になるまでに必ず利用できる(預ける)事業があっても、1歳になるまで育児休業を取得するかについて.....	65
(65) 地域における子育ての環境や支援への満足度について	66

I 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、平成 25 年度に行う「子ども・子育て支援事業計画」の策定資料として、保育ニーズや紀の川市の子育て支援サービスの利用状況や利用意向、また、子育て世帯の生活実態、要望・意見などを把握することを目的に、市民意向調査(アンケート調査)として実施しました。

2. 調査概要

- 調査地域 : 紀の川市全域
- 調査対象者: 紀の川市内在住の「就学前児童」をお持ちの世帯・保護者
(就学前児童調査)
紀の川市内在住の「小学生」をお持ちの世帯・保護者
(就学児童調査)
- 抽出方法 : 住民基本台帳より、就学前児童(0歳～5歳)1,005 人、
就学児童(小学生6歳～11 歳)810 人の合計 1,805 人を無作為抽出
- 調査期間 : 平成 25 年 12 月 13 日(金)～平成 25 年 12 月 25 日(水)
- 調査方法 : (就学前児童) 郵送及び保育所(園)及び幼稚園配布・回収
(就学児童) 小学校配布・回収

調査票調査対象者数

	配布数	有効回収数	有効回収率
就学前児童	1,005	415	41.3%
就学児童	810	217	26.8%
合計	1,815	632	34.8%

3. 報告書の見方

- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答【SA】(複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式)であっても合計値が 100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- 複数回答【MA】(複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式)の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が 100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「N(number of case)」は、集計対象者総数(あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人)を表しています。

●本文中の設問の選択肢について、長い文は簡略化している場合があります。

4. 用語の定義

幼稚園 : 学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設
(学校教育法第 22 条)

保育所 : 児童福祉法に定める、保育に欠ける0～5歳児に対して保育を行う
施設(児童福祉法第 39 条)

認定こども園: 幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設
(就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に
関する法律第2条第6項)

子育て : 教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援

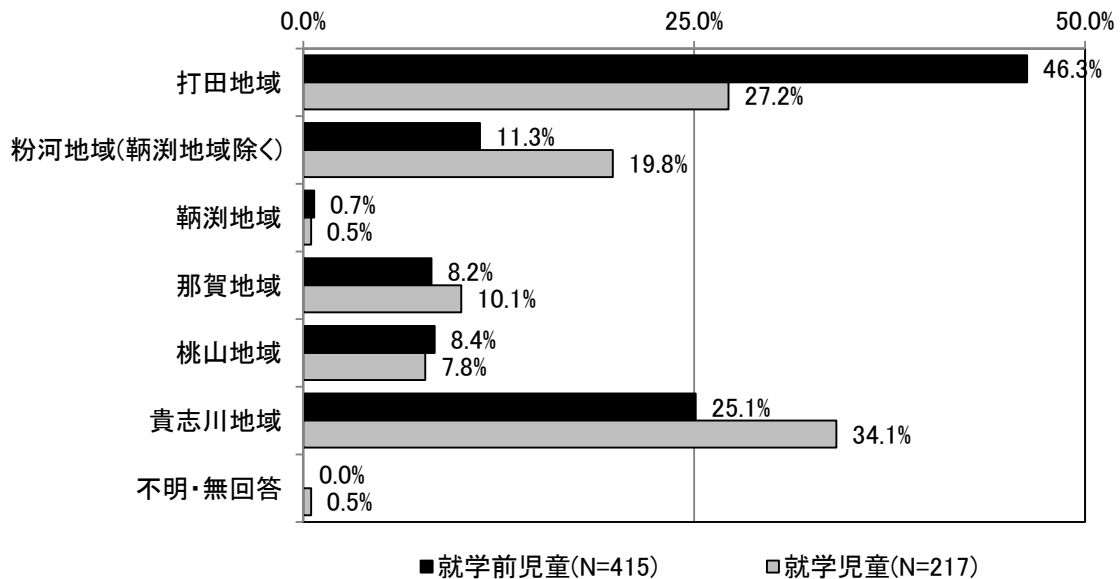
教育 : 問 11 までにおいては家庭での教育を含めた広い意味、問 12 以降に
おいては幼児期の学校における教育の意味で用いています

Ⅱ お住まいの地域について

(1) お住まいの地域について

【問1】 SA

住居地域については、就学前児童で「打田地域」が46.3%ともっとも多く、次いで「貴志川地域」が25.1%、「粉河地域(鞆渚地域除く)」が11.3%となっています。就学児童では「貴志川地域」が34.1%ともっとも多く、次いで「打田地域」が27.2%、「粉河地域(鞆渚地域除く)」が19.8%となっています。

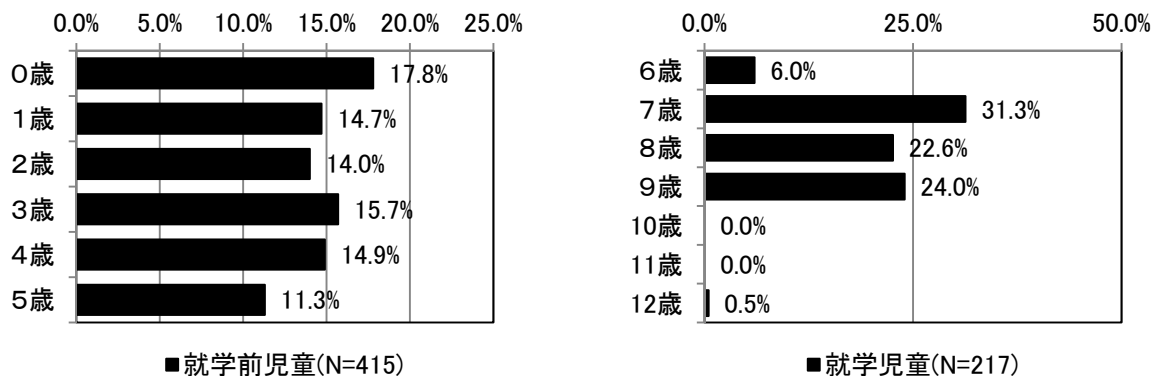


(2) 子どもの生年月日及び就学・未就学について

【問2】 N・SA

子供の年齢については、就学前児童で「0歳」が17.8%ともっとも多く、次いで「3歳」が15.7%、「4歳」が14.9%となっています。就学児童では「7歳」が31.3%ともっとも多く、次いで「9歳」が24.0%、「8歳」が22.6%となっています。

就学、未就学については未就学(就学前児童)が、415名、就学児童が217名となっています。以降、就学前児童及び就学児童の区分けについてはこの設問で判断しています。

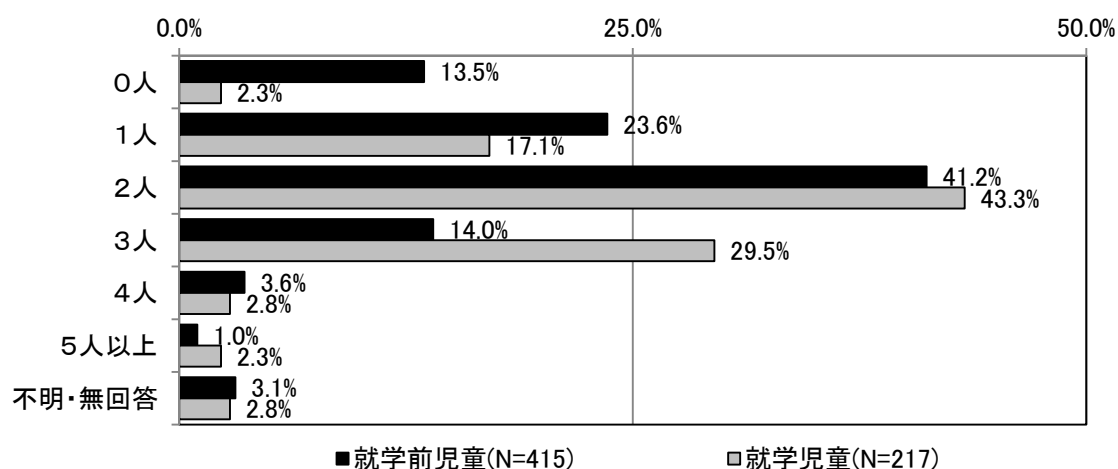


(3) きょうだいの人数及び末子の年齢について

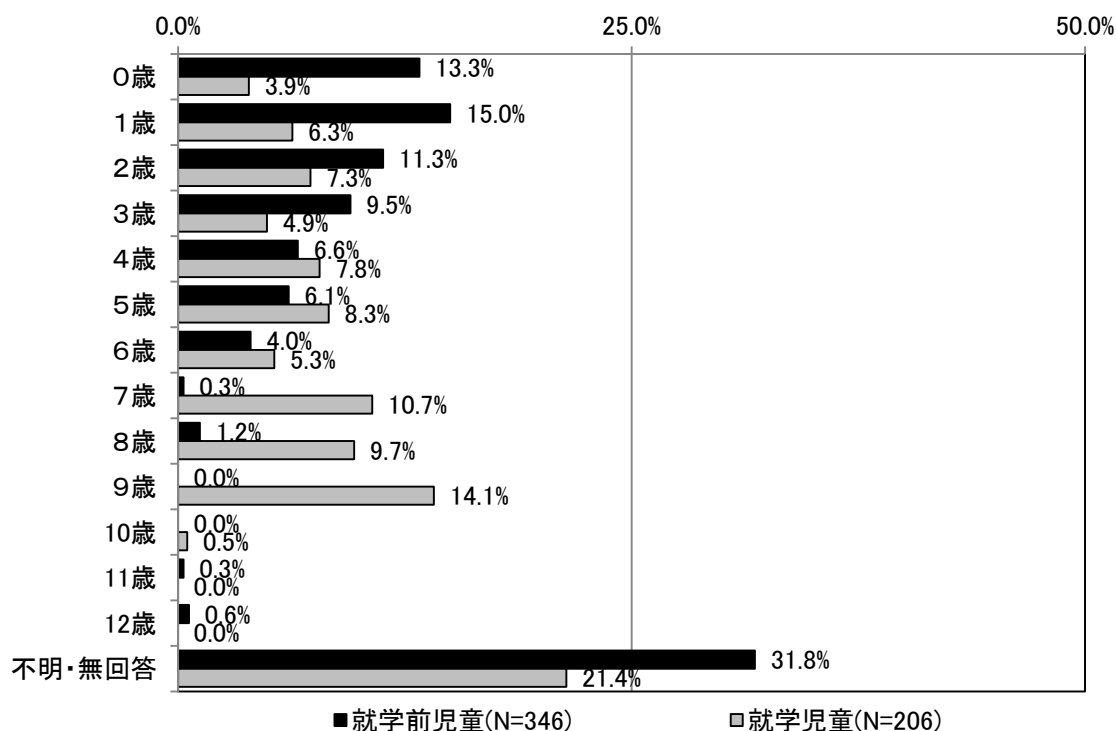
【問3】 N

きょうだいの人数については、就学前児童で「2人」が41.2%ともっとも多く、次いで「1人」が23.6%、「0人」が13.5%となっています。設問では「あて名のお子さんを含めた人数」となっていますが、それ以外ととらえた方がおられたようです。ゆえに設問として「0人」という回答は不適切ですが、掲載しています。就学児童では「2人」が43.3%ともっとも多く、次いで「3人」が29.5%、「1人」が17.1%となっています。

また末子の年齢については就学前児童では「1歳」、就学児童では「9歳」が最も多くなっています。



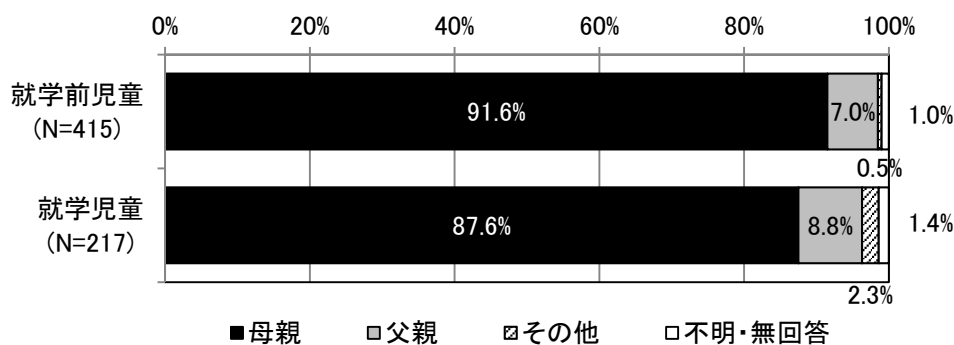
【末子の年齢】



(4) 回答者について

【問4】 SA

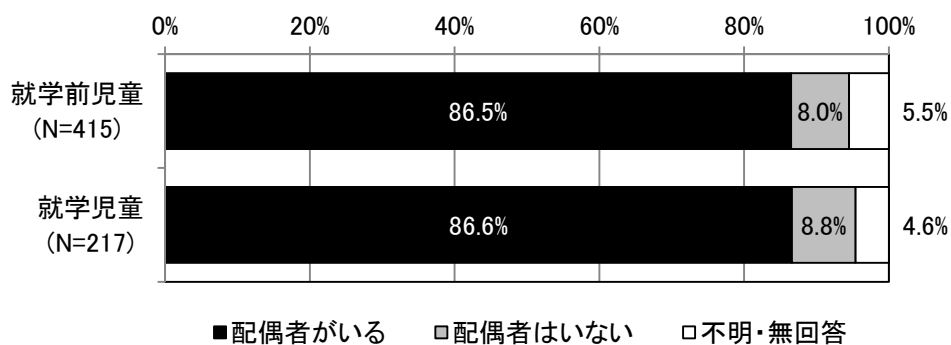
回答者については、就学前児童、就学児童ともに「母親」がそれぞれ 91.6%、87.6%ともっとも多く
なっています。



(5) 回答者の配偶関係について

【問5】 SA

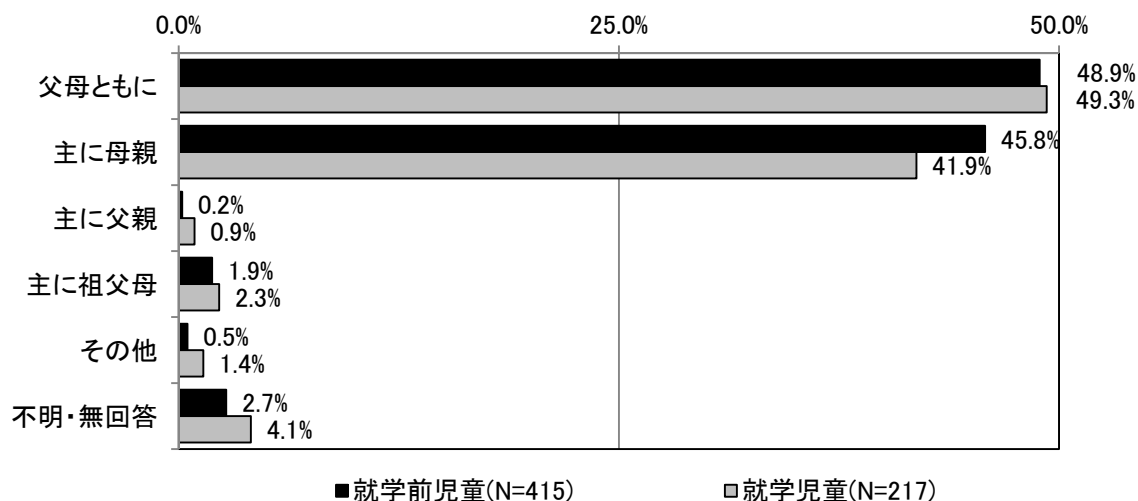
配偶者の有無については、就学前児童、就学児童ともに「配偶者がいる」がそれぞれ 86.5%、
86.6%ともっとも多い一方で、「配偶者はいない」と答えた方はそれぞれ 8.0%、8.8%となっています。



(6) 子育て(教育を含む)を主に行っている方について

【問6】 SA

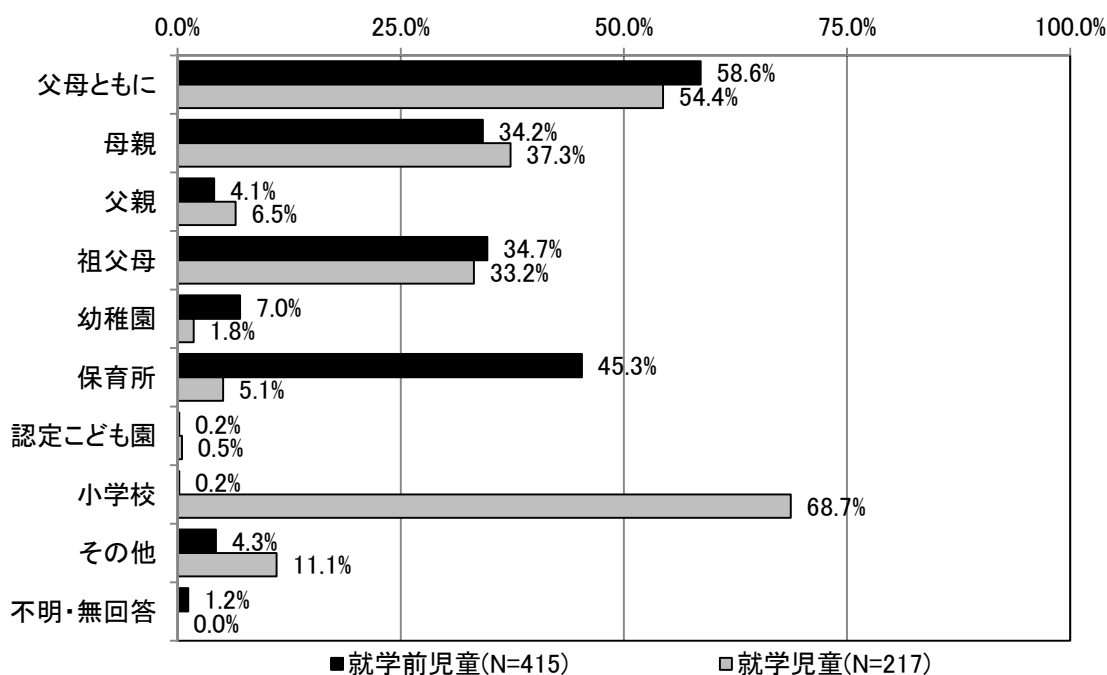
子育て(教育を含む)を主に行っている方については、就学前児童、就学児童ともに「父母ともに」がそれぞれ48.9%、49.3%ともっとも多く、次いで「主に母親」がそれぞれ45.8%、41.9%となっています。



(7) 子育て(教育を含む)に日常的に関わっている方について

【問7】 MA

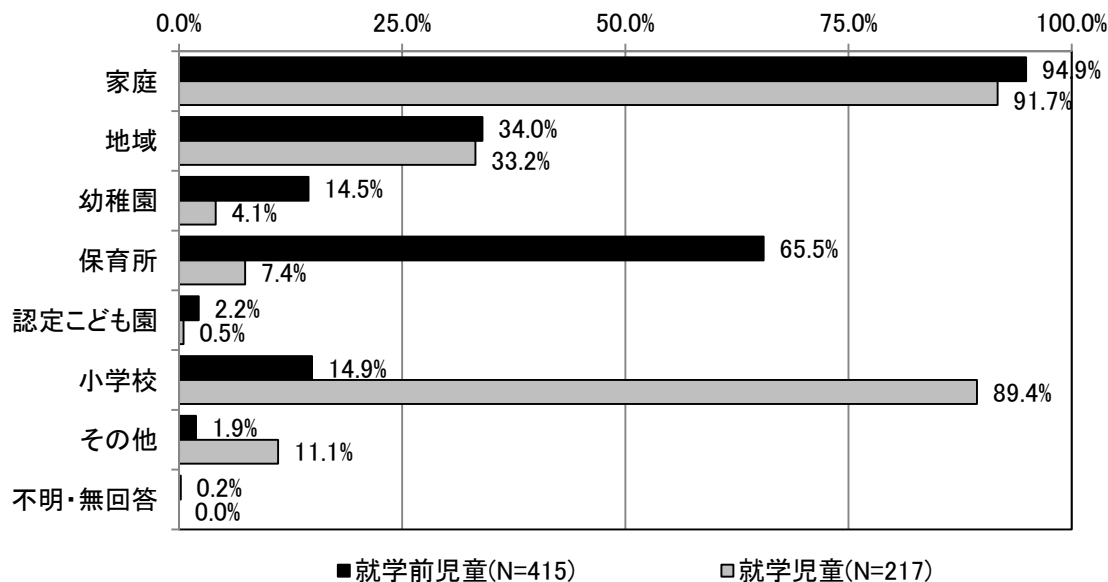
子育て(教育を含む)に日常的に関わっている方については、就学前児童で「父母ともに」が58.6%ともっとも多く、次いで「保育所」が45.3%、「母親」が34.2%となっています。就学児童では「小学校」が68.7%ともっとも多く、次いで「父母ともに」が54.4%、「母親」が37.3%となっています。



(8) 子育て(教育を含む)に、強く影響すると思われる環境について

【問8】 MA

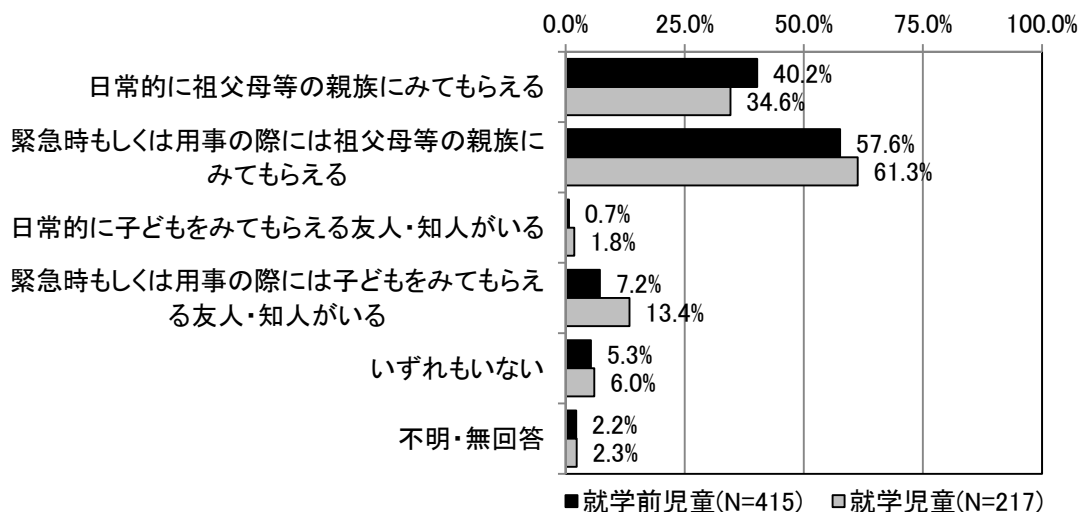
子育て(教育を含む)に、強く影響すると思われる環境については、就学前児童で「家庭」が94.9%ともっとも多く、次いで「保育所」が65.5%、「地域」が34.0%となっています。就学児童では「家庭」が91.7%ともっとも多く、次いで「小学校」が89.4%、「地域」が33.2%となっています。



(9) 子どもをみてもらえる親族・知人について

【問9】 MA

子どもをみてもらえる親族・知人については、就学前児童、就学児童ともに「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」がそれぞれ57.6%、61.3%ともっとも多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」がそれぞれ40.2%、34.6%、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」がそれぞれ7.2%、13.4%となっています。一方で「いずれもない」と答えた方がそれぞれ5.3%、6.0%おられます。

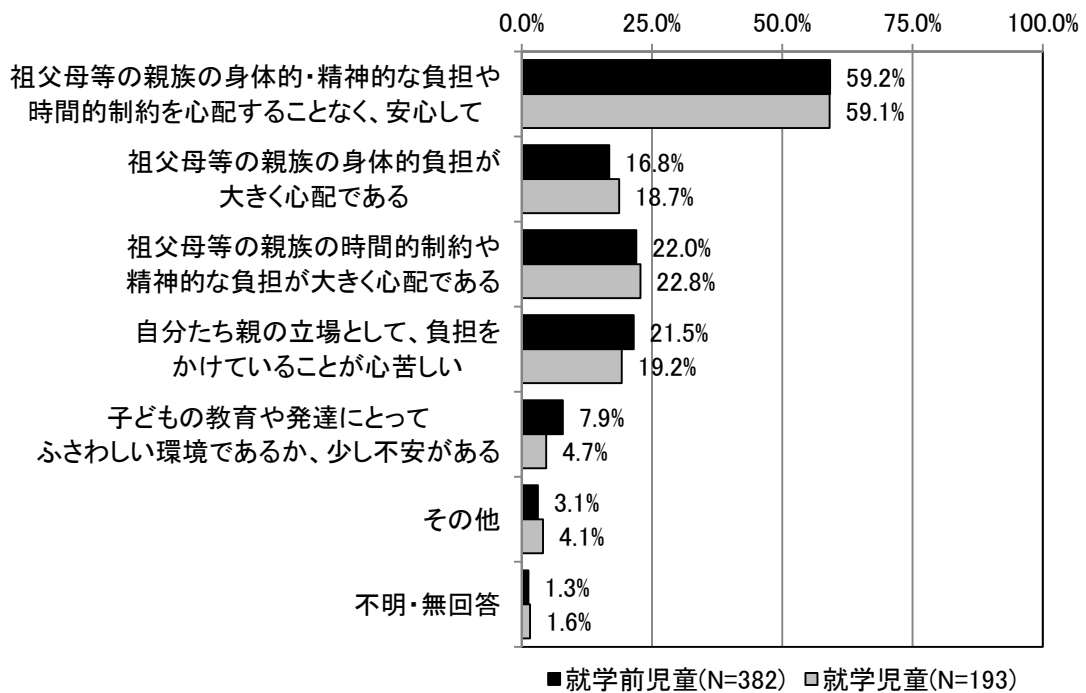


(9) で「1.」または「2.」に○をつけた方のみ

(10) 祖父母等の親族に子どもをみてもらっている状況について

【問9-1】 MA

祖父母等の親族に子どもをみてもらっている状況についてでは、就学前児童、就学児童ともに「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみもらえる」がそれぞれ 59.2%、59.1%と最も多く、次いで「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」がそれぞれ 22.0%、22.8%、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」がそれぞれ 21.5%、19.2%となっています。

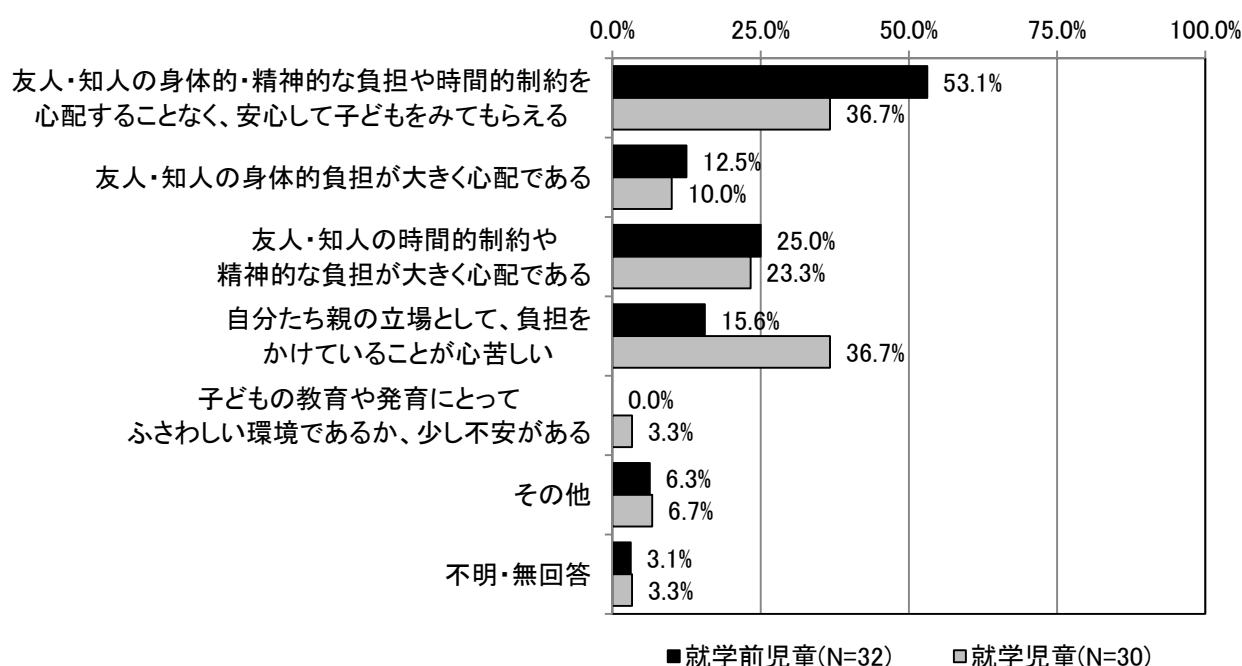


(9) で「3.」または「4.」に○をつけた方のみ

(11) 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況について

【問9-2】 MA

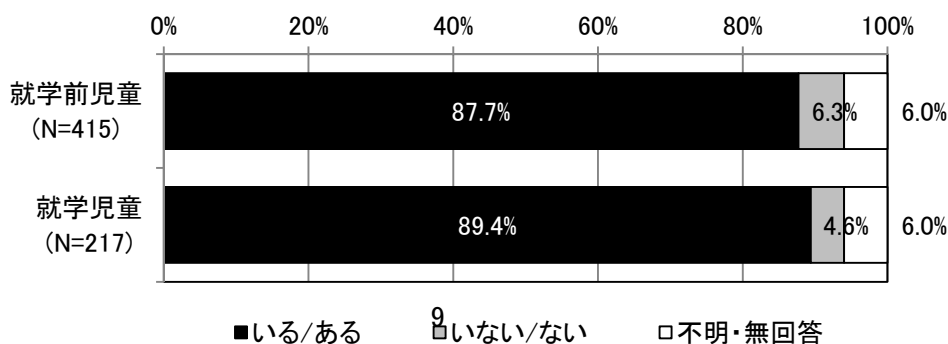
友人・知人にお子さんをみてもらっている状況については、就学前児童で「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が53.1%ともっとも多く、次いで「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が25.0%、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が15.6%となっています。就学児童では「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」がともに36.7%ともっとも多く、次いで「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が23.3%となっています。



(12) 子どもの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人について

【問10】 SA

子どもの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人については、就学前児童、就学児童ともに「いる/ある」がそれぞれ87.7%、89.4%、「いない/ない」がそれぞれ6.3%、4.6%となっています。



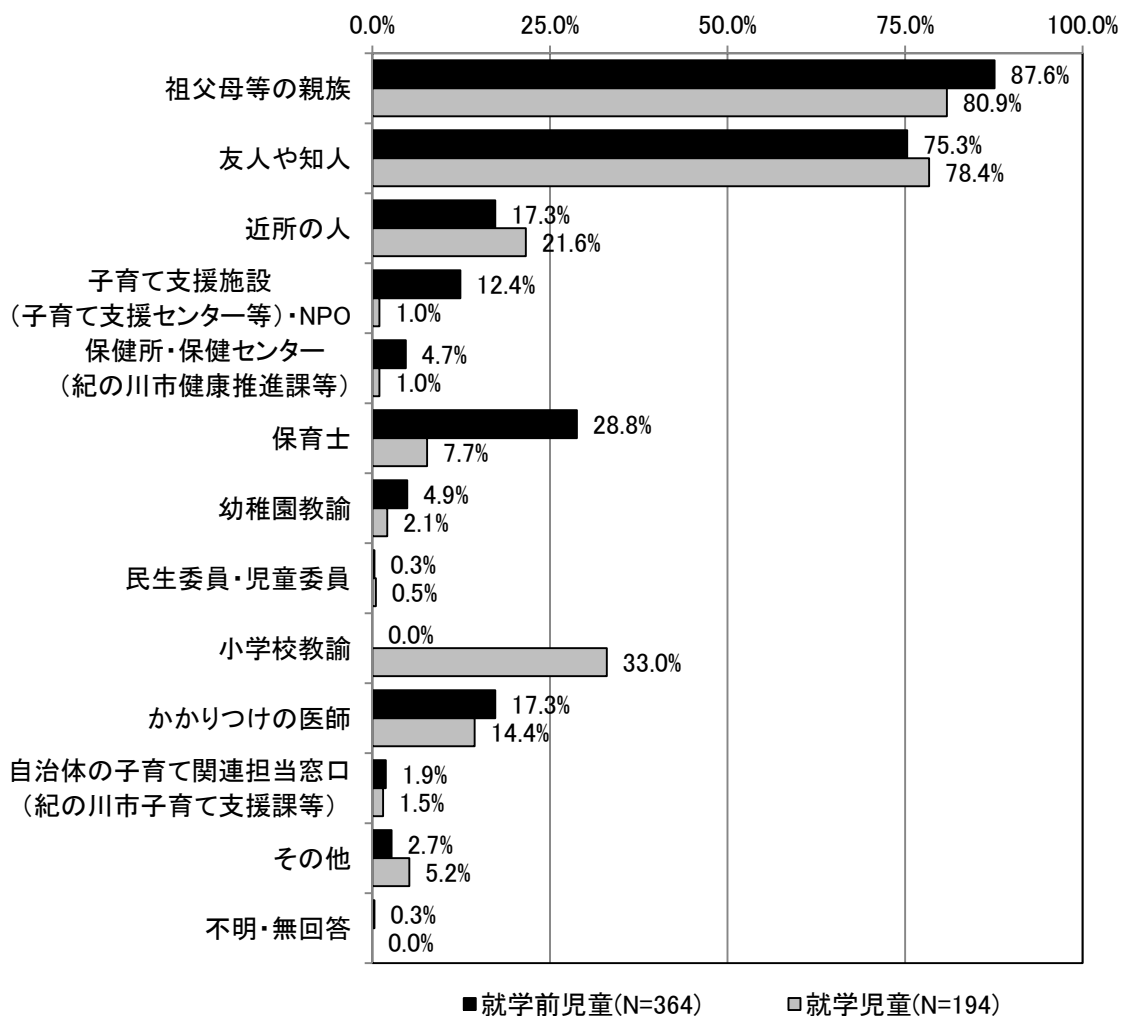
(12) で「1.いる/ある」に○をつけた方のみ

(13) 子どもの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先について

【問 10-1】 MA

子どもの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先については、就学前児童で「祖父母等の親族」が87.6%ともっとも多く、次いで「友人や知人」が75.3%、「保育士」が28.8%となっています。

就学児童では「祖父母等の親族」が80.9%ともっとも多く、次いで「友人や知人」が78.4%、「小学校教諭」が33.0%となっています。



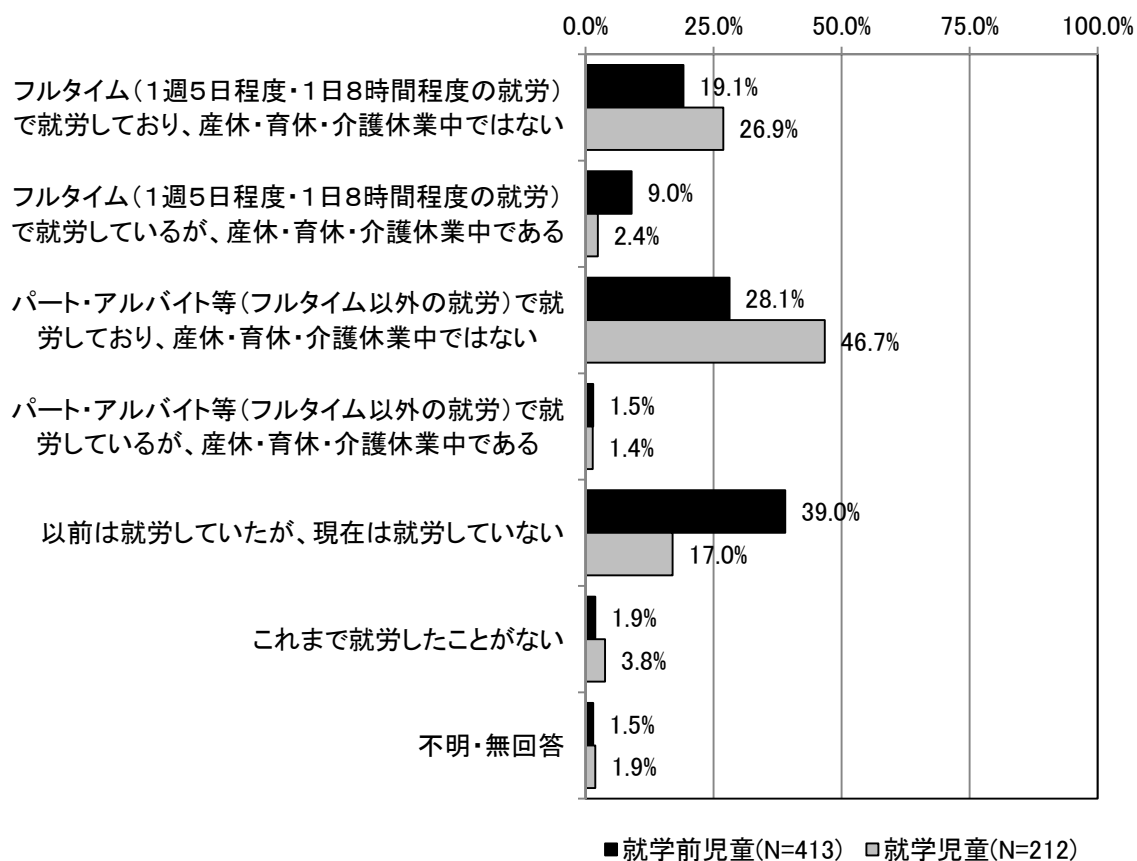
(4) で、「3. その他」と回答した方は回答不要、父子家庭の場合は記入不要

(14) 母親の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)について

【問 12(1)】 SA

母親の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)については、就学前児童で「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 39.0%ともっとも多く、次いで「パート・アルバイト等(フルタイム以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 28.1%、「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 19.1%となっています。

就学児童では「パート・アルバイト等(フルタイム以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 46.7%ともっとも多く、次いで「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 26.9%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 17.0%となっています。



(14) で「1.~4.」(就労している) に○をつけた方のみ

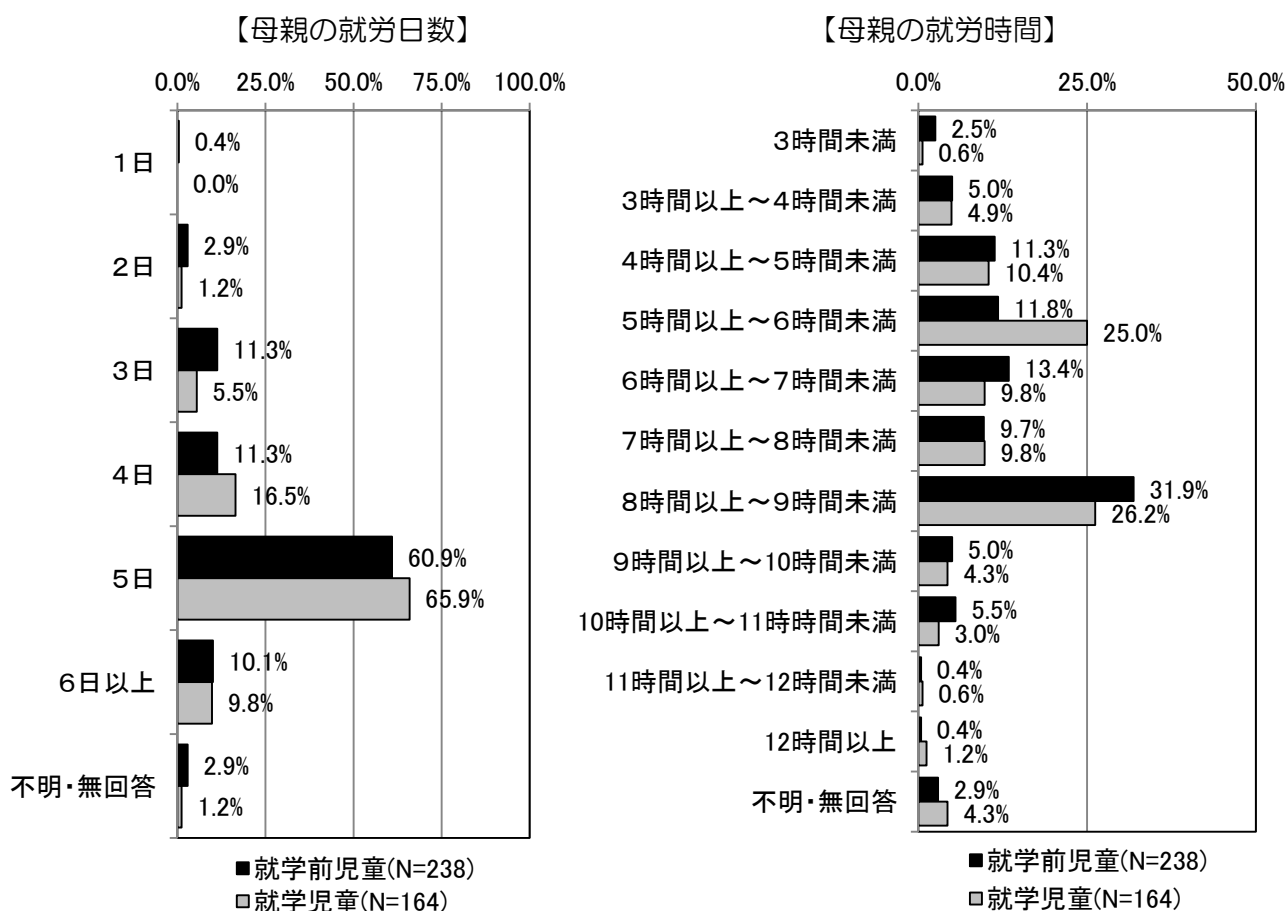
(15) 母親の週当たりの就労日数、1日当たりの就労時間(残業時間を含む)について

【問 12(1)-1】 N

母親の週当たりの就労日数、1日当たりの就労時間については、就労日数では就学前児童で「5日」が60.9%ともっとも多く、次いで「3日」、「4日」がともに11.3%となっています。就学児童では「5日」が65.9%ともっとも多く、次いで「4日」が16.5%、「6日以上」が9.8%となっています。

1日当たりの就業時間では就学前児童で「8時間以上～9時間未満」が31.9%ともっとも多く、次いで「6時間以上～7時間未満」が13.4%、「4時間以上～5時間未満」が11.3%となっています。

就学児童では「8時間以上～9時間未満」が26.2%ともっとも多く、次いで「5時間以上～6時間未満」が25.0%、「4時間以上～5時間未満」が10.4%となっています。



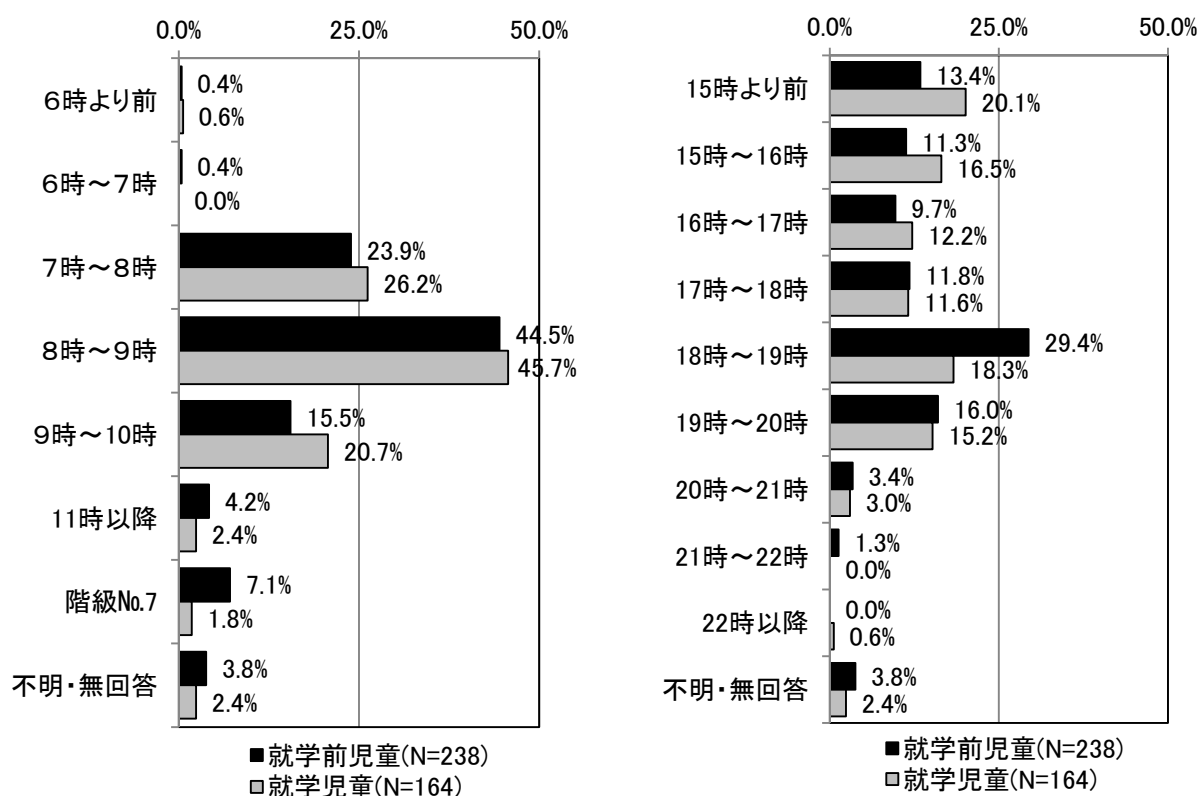
(14) で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方のみ

(16) 母親が就労のため家を出る時刻と帰宅時刻について

【問 12(1)-2】 N

母親が就労のため家を出る時刻と帰宅時刻については、家を出る時刻では就学前児童、就学児童ともに「8時～9時」がそれぞれ 44.5%、45.7%ともっとも多く、次いで「7時～8時」がそれぞれ 23.9%、26.2%、「9時～10時」がそれぞれ 15.5%、20.7%となっています。

帰宅時間では就学前児童で「18時～19時」が29.4%ともっとも多く、次いで「19時～20時」が16.0%、「15時より前」が13.4%となっています。就学児童では「15時より前」が20.1%ともっとも多く、次いで「18時～19時」が18.3%、「15時～16時」が16.5%となっています。

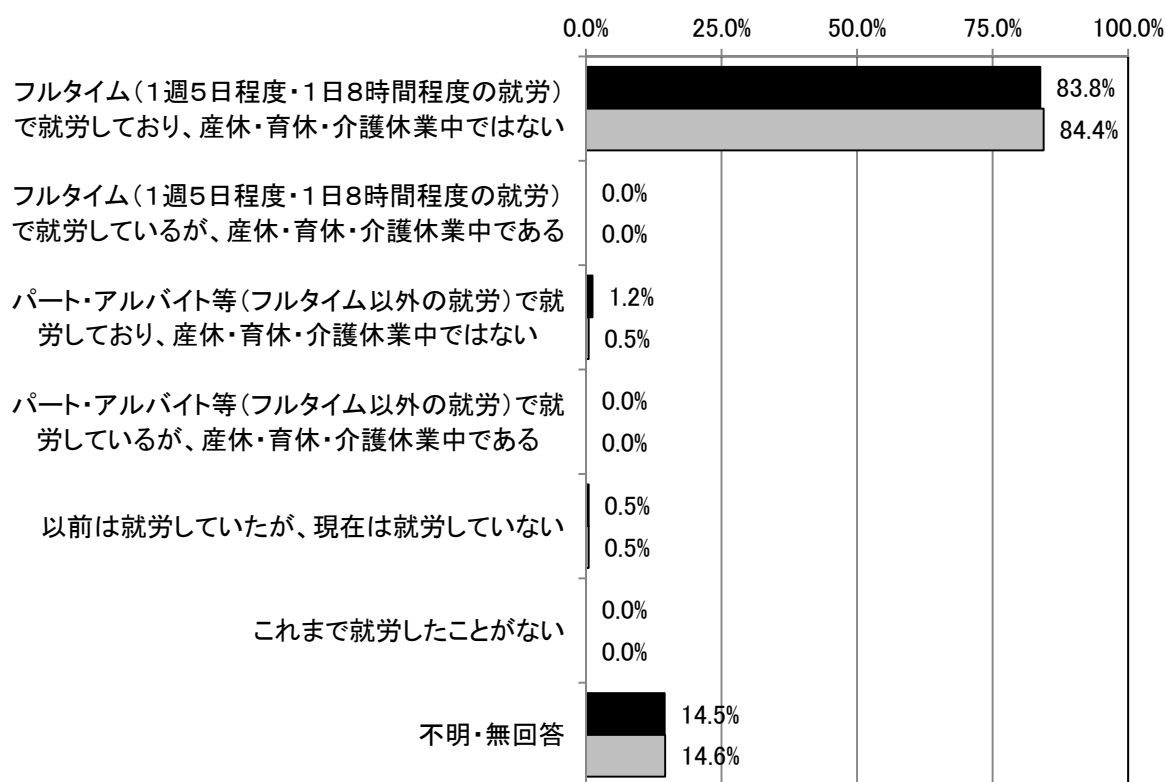


母子家庭の場合は記入は不要

(17) 父親の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)について

【問 12 (2)】 SA

父親の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)については、就学前児童、就学児童ともに「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・介護休業中ではない」がほぼ全体を占めており、それぞれ 83.8%、84.4%ともっとも多くなっています。



■ 就学前児童(N=413) □ 就学児童(N=212)

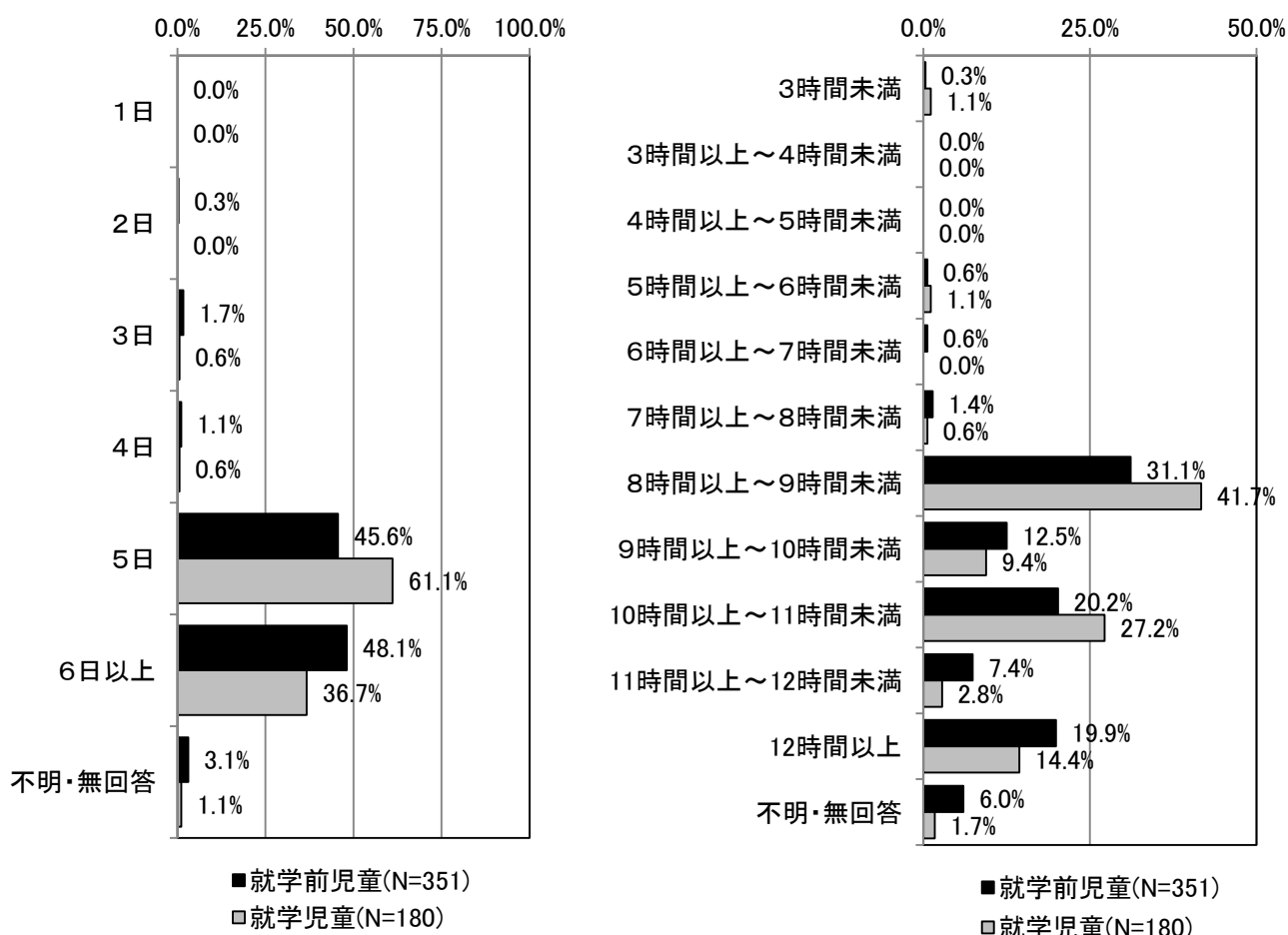
(2) で「1.~4.」(就労している) に○をつけた方のみ

(18) 父親の週当たりの就労日数、1日当たりの就労時間(残業時間を含む)について

【問 12 (2)-1】

父親の週当たりの就労日数については、就学前児童で「6日以上」が48.1%と最も多く、次いで「5日」が45.6%、「3日」が1.7%となっています。就学児童では「5日」が61.1%と最も多く、次いで「6日以上」が36.7%、「3日」、「4日」がともに0.6%となっています。

1日当たりの就労時間(残業時間を含む)については、就学前児童、就学児童ともに「8時間以上～9時間未満」がそれぞれ31.1%、41.7%と最も多く、次いで「10時間以上～11時間未満」がそれぞれ20.2%、27.2%、「12時間以上」がそれぞれ19.9%、14.4%となっています。



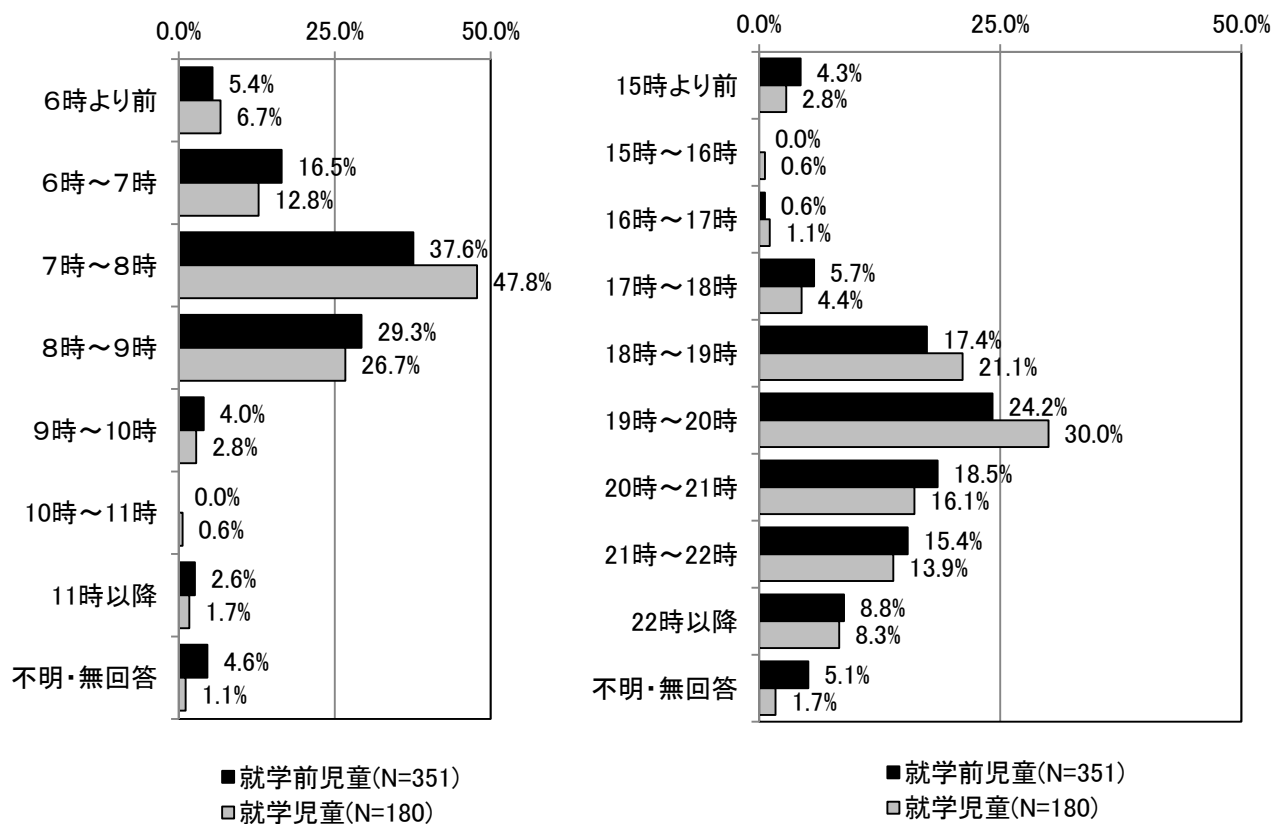
(2) で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方のみ

(19) 父親が就労のため家を出る時刻と帰宅時刻について

【問】

父親が就労のため家を出る時刻については、就学前児童、就学児童ともに「7時～8時」がそれぞれ37.6%、47.8%ともっとも多く、次いで「8時～9時」がそれぞれ29.3%、26.7%、「6時～7時」がそれぞれ16.5%、12.8%となっています。

帰宅時刻については、就学前児童で「19時～20時」が24.2%ともっとも多く、次いで「20時～21時」が18.5%、「18時～19時」が17.4%となっています。就学児童では「19時～20時」が30.0%ともっとも多く、次いで「18時～19時」が21.1%、「20時～21時」が16.1%となっています。

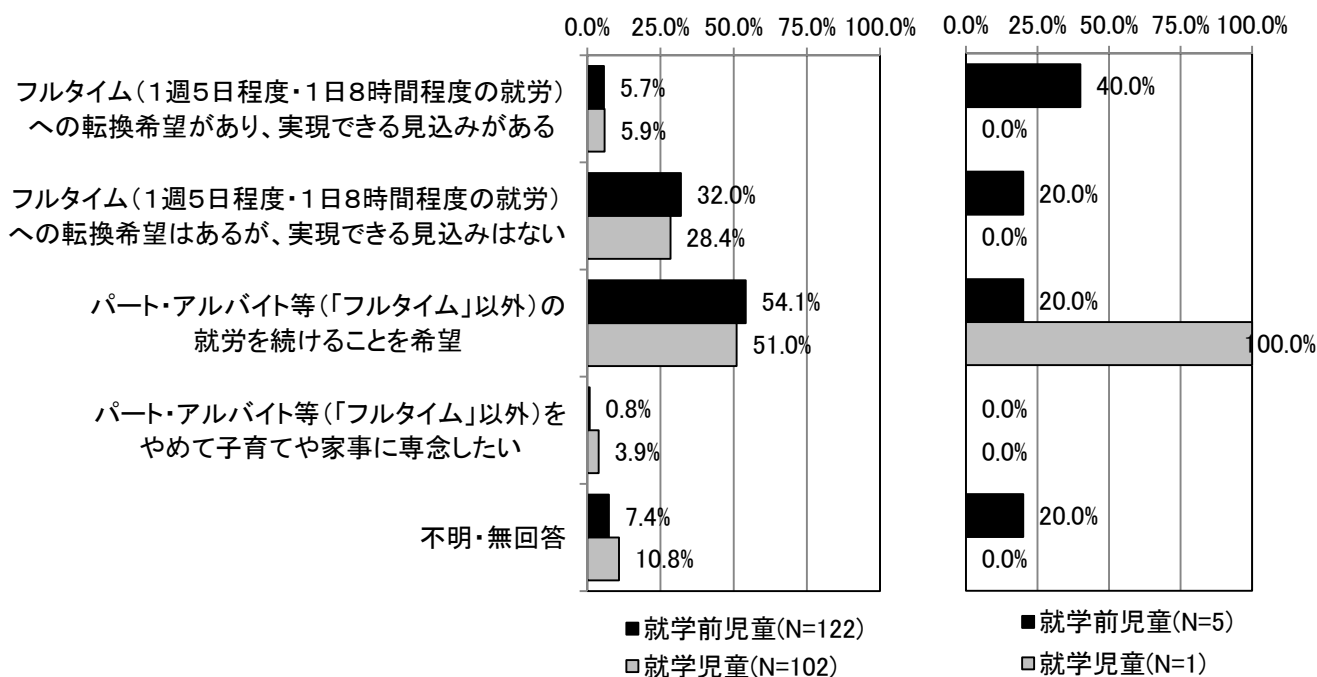


(14) または (17) で「3. 4.」(パート・アルバイト等で就労している) に○をつけた方のみ
(20) フルタイムへの転換希望について

【問13】 SA

フルタイムへの転換希望については、母親では就学前児童、就学児童ともに「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望」がそれぞれ 54.1%、51.0%ともっとも多く、次いで「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」がそれぞれ 32.0%、28.4%、「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある」がそれぞれ 5.7%、5.9%となっています。

父親では就学前児童で「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある」が 40.0%ともっとも多く、次いで「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」、「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望」がともに 20.0%となっています。就学児童では「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望」が 100.0%となっています。



(14) または (17) で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまで就労したことがない」に○をつけた方のみ

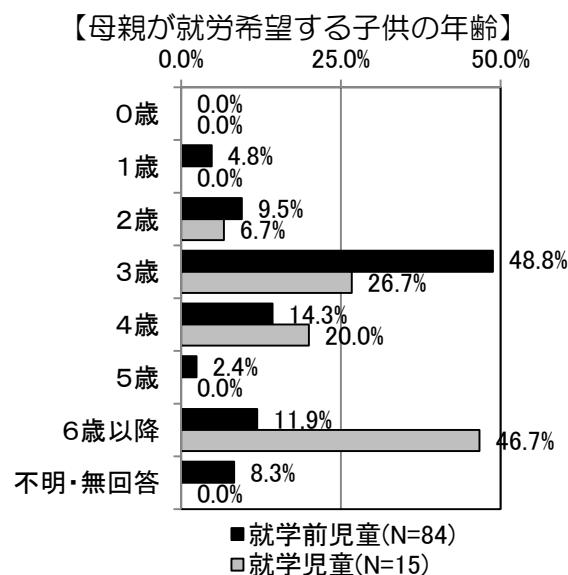
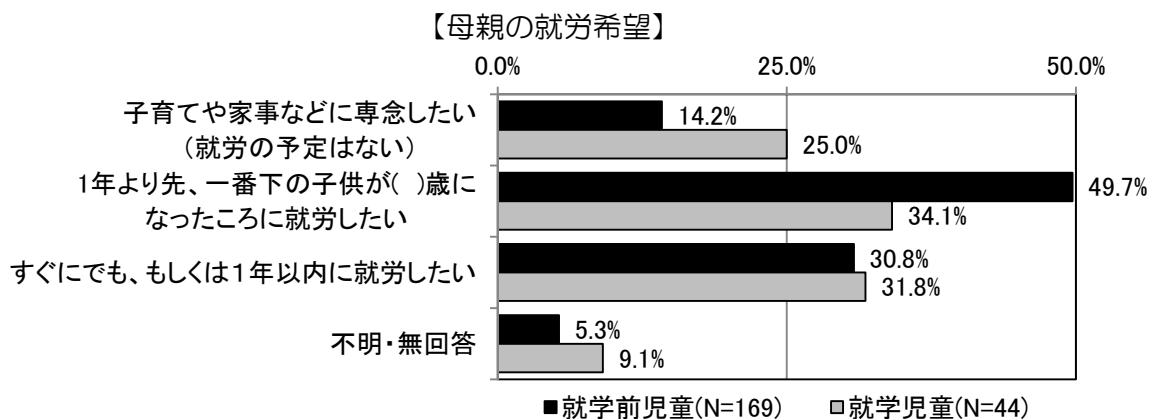
(21) 就労希望について

【問 14】 SA・N

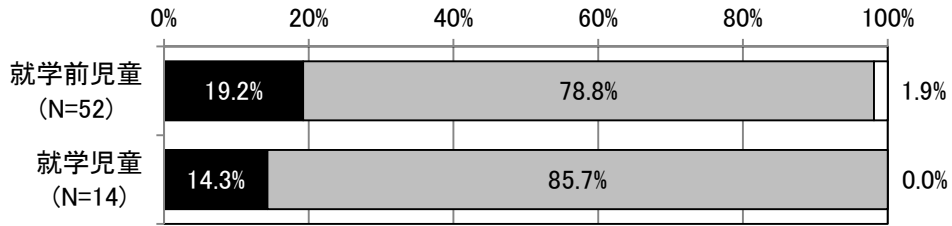
母親の就労希望については、就学前児童、就学児童ともに「1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに就労したい」がそれぞれ 49.7%、34.1%ともっとも多く、その時の子どもの年齢では「3歳」がともに最も多くなっています。次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」がそれぞれ 30.8%、31.8%、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」がそれぞれ 14.2%、25.0%となっています。

希望の就労形態としては就学前児童、就学児童ともに「パートタイム、アルバイト等」が最も多く、それぞれ 78.8%、85.7%、次いで「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)」がそれぞれ 19.2%、14.3%となっています。

就労希望日数では、就学前児童で「5日」、就学児童で「3日」が最も多くなっており、就労希望時間では就学前児童は「5時間以上～6時間未満」、就学児童では「4時間以上～5時間未満」、「5時間以上～6時間未満」がともに最も多くなっています。

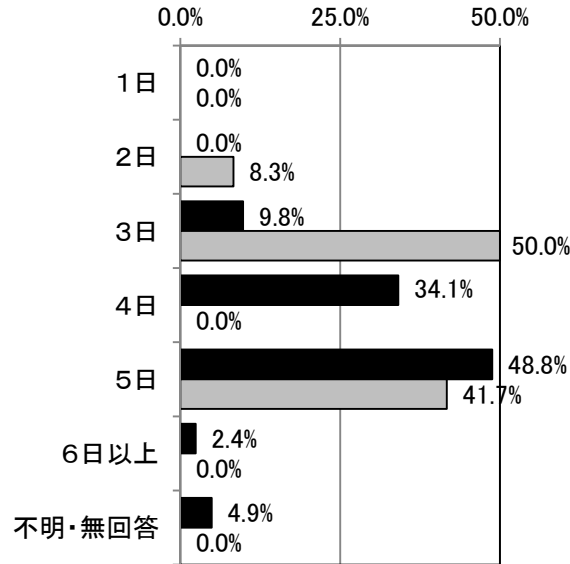


【母親の就労希望形態】

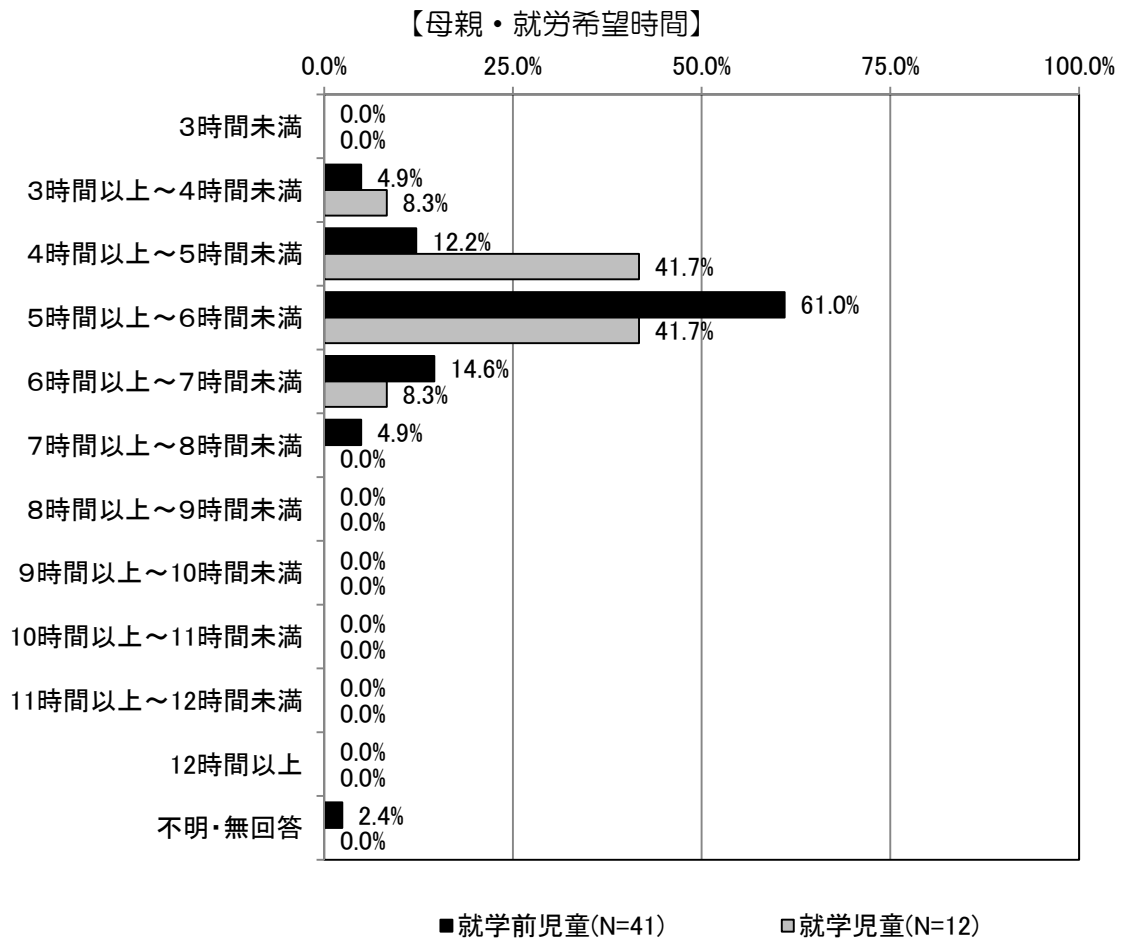


- フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)
- パートタイム、アルバイト等
- 不明・無回答

【母親・就労希望日数】



- 就学前児童(N=41)
- 就学児童(N=12)



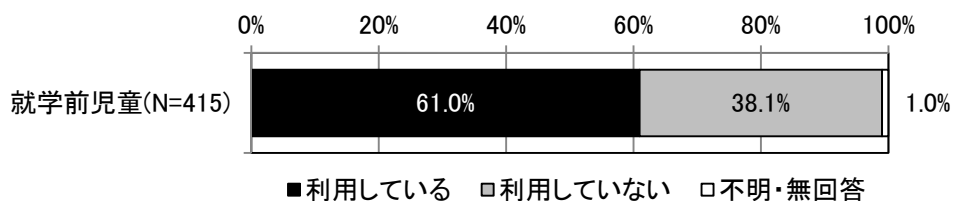
父親の就労希望については、就学前児童で有効回答は得られませんでした。就学児童では1名の方が「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と答えられています。また、その際の就労形態としては「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)」を希望されており、日数、時間については回答が得られませんでした。

就学前児童のみ

(22) 幼稚園や保育所などの定期的な教育・保育事業の利用について

【問15】 SA

幼稚園や保育所などの定期的な教育・保育事業の利用については、「利用している」が61.0%、「利用していない」が38.1%となっています。

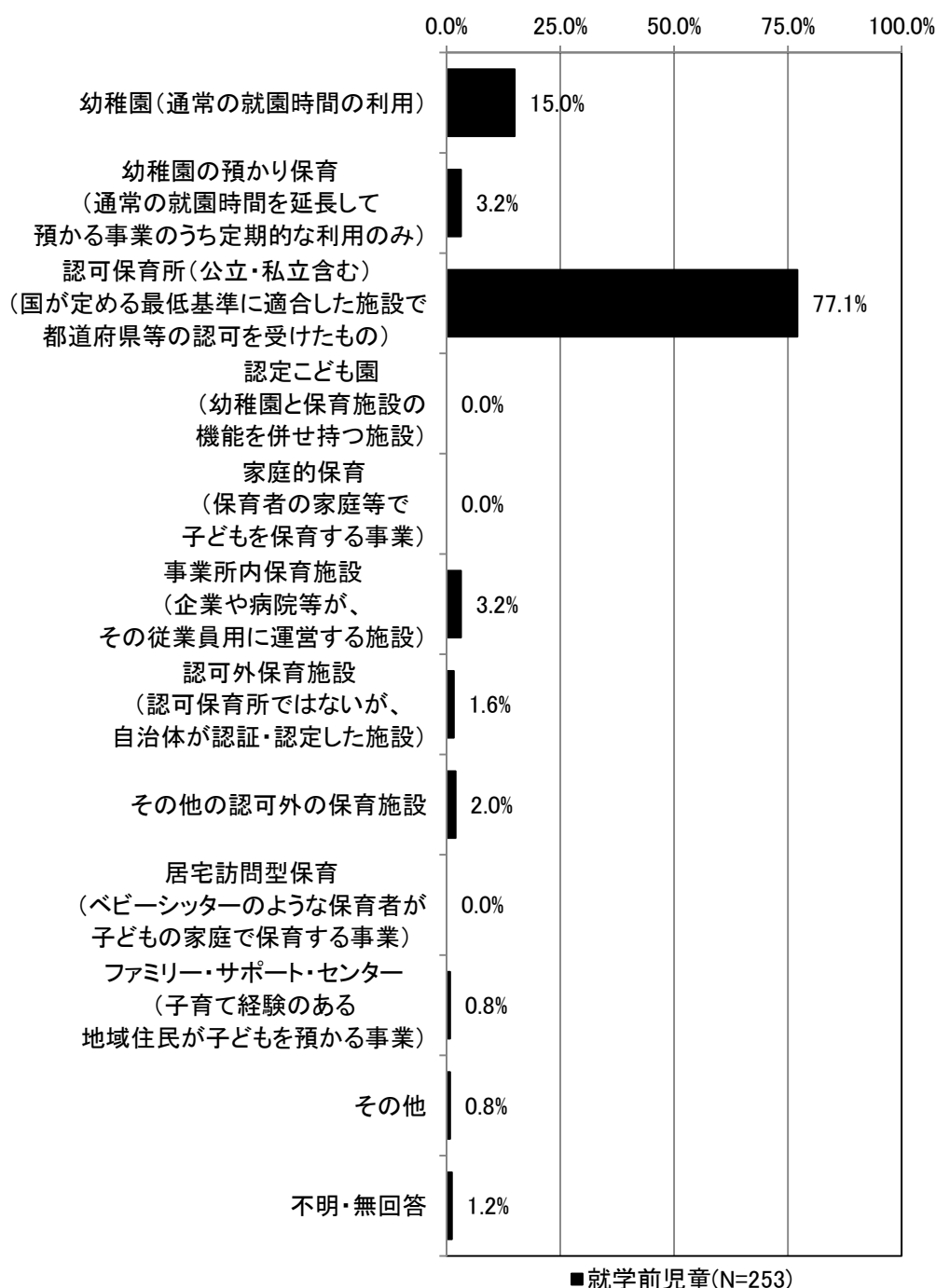


(22) で「1.利用している」に○をつけた方のみ

(23) 平日利用している教育・保育の事業について

【問 15-1】 MA

平日利用している教育・保育の事業については、「認可保育所(公立・私立含む)(国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの)」が 77.1%ともっとも多く、次いで「幼稚園(通常の就園時間の利用)」が 15.0%、「幼稚園の預かり保育(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)」、「事業所内保育施設(企業や病院等が、その従業員用に運営する施設)」がともに 3.2%となっています。



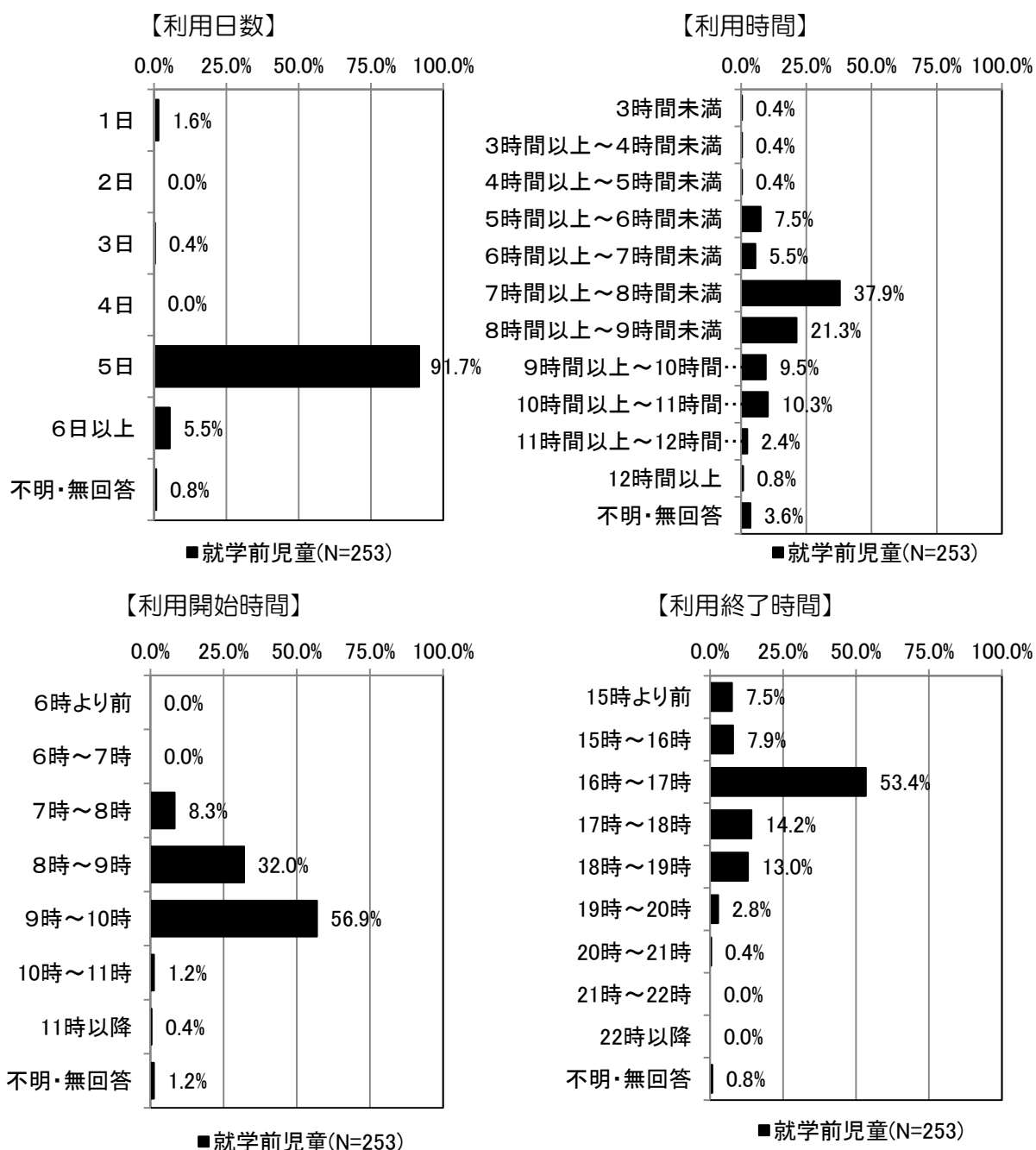
(22) で「1.利用している」に○をつけた方のみ

(24) 平日に定期的に利用している教育・保育の事業の利用頻度と利用希望について

【問 15-2】 N

平日に定期的に利用している教育・保育の事業の利用頻度について、利用日数では、「5日」が91.7%ともっとも多く、利用時間では「7時間以上～8時間未満」が37.9%、利用開始時間では「9時～10時」が56.9%、利用終了時間では「16時～17時」が53.4%と最も多くなっています。

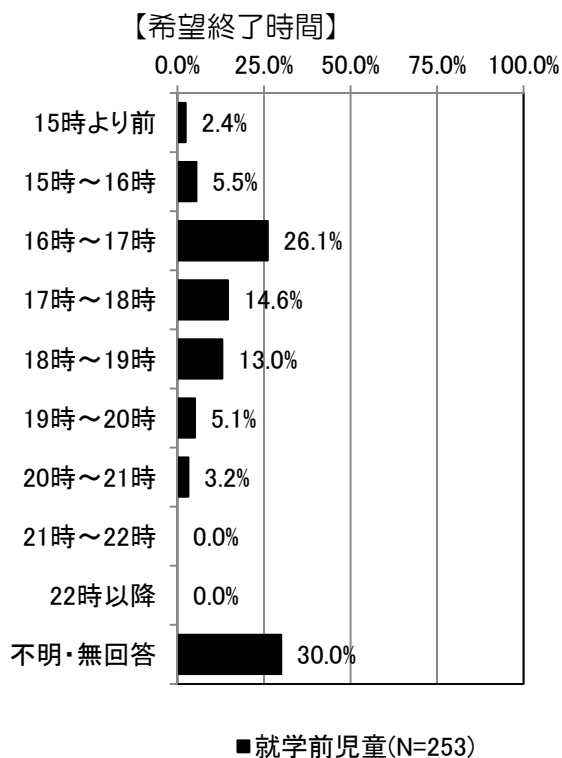
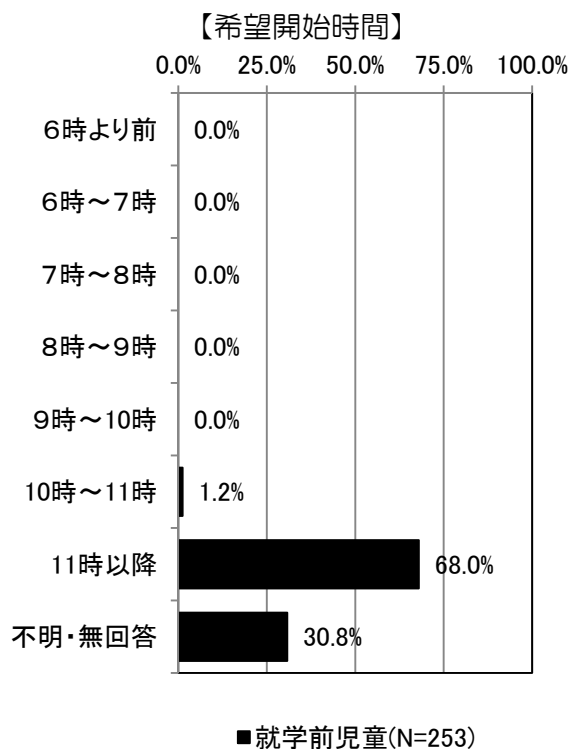
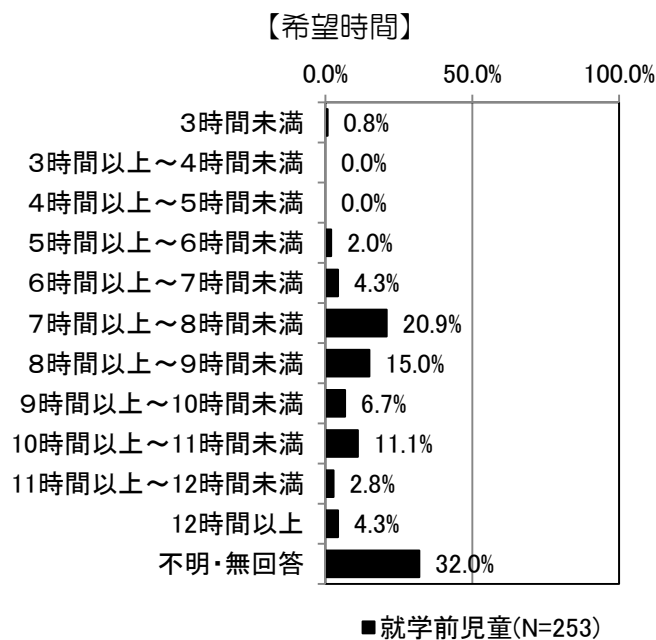
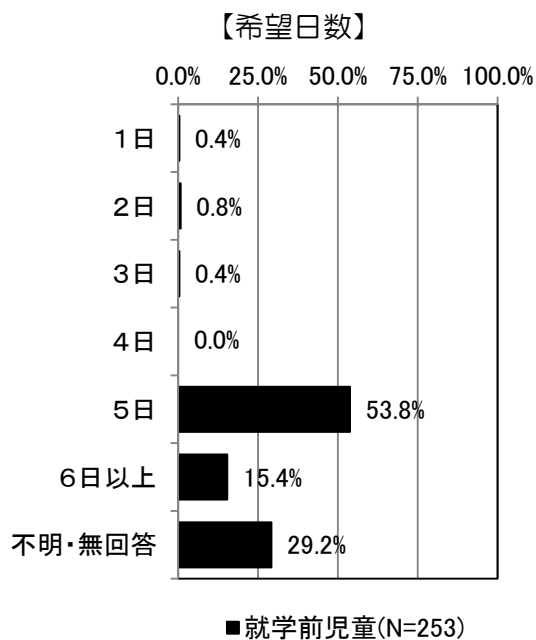
【平日の利用頻度】



平日に定期的に利用している教育・保育の事業の利用希望について、希望日数では、「5日」が53.8%ともっとも多く、希望時間では「7時間以上～8時間未満」が20.9%、希望開始時間では「11時以降」が68.0%、希望終了時間では「16時～17時」が26.1%と最も多くなっています。

不明・無回答が若干多いのは、現在の利用状況と希望が変わらなかった場合、省略した可能性があると考えられます。

【平日の利用希望】

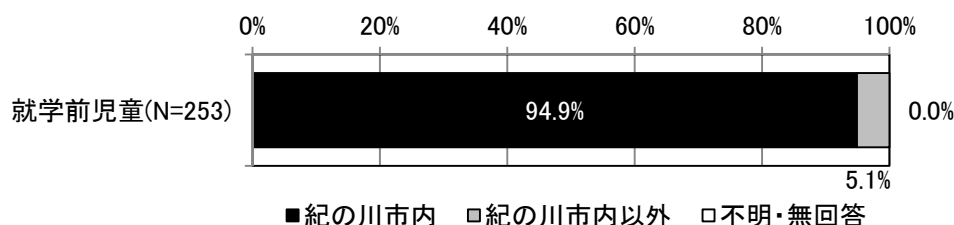


(22) で「1.利用している」に○をつけた方のみ

(25) 現在、利用している教育・保育事業の実施場所について

【問 15-3】 SA

現在、利用している教育・保育事業の実施場所については、「紀の川市内」が 94.9%、「紀の川市内以外」が 5.1%となっています。

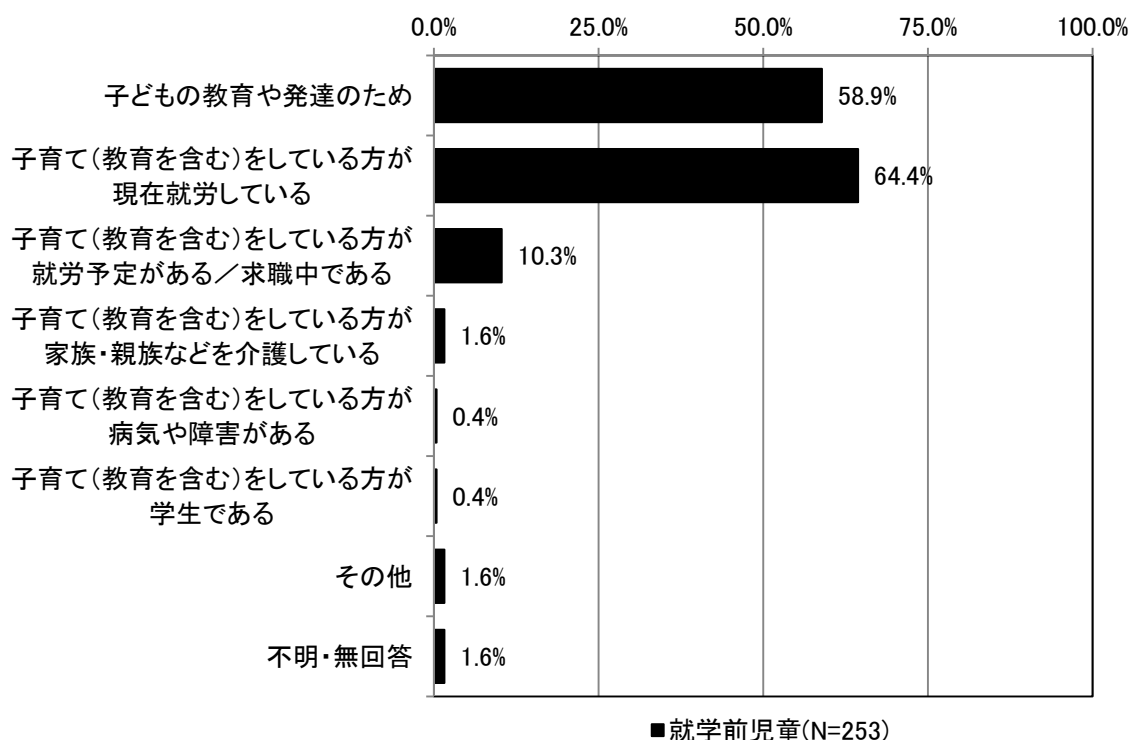


(22) で「1.利用している」に○をつけた方のみ

(26) 平日の定期的な教育・保育事業の利用理由について

【問 15-4】 MA

平日の定期的な教育・保育事業の利用理由については、「子育て(教育を含む)をしている方が現在就労している」が 64.4%と最も多く、次いで「子どもの教育や発達のため」が 58.9%、「子育て(教育を含む)をしている方が就労予定がある／求職中である」が 10.3%となっています。



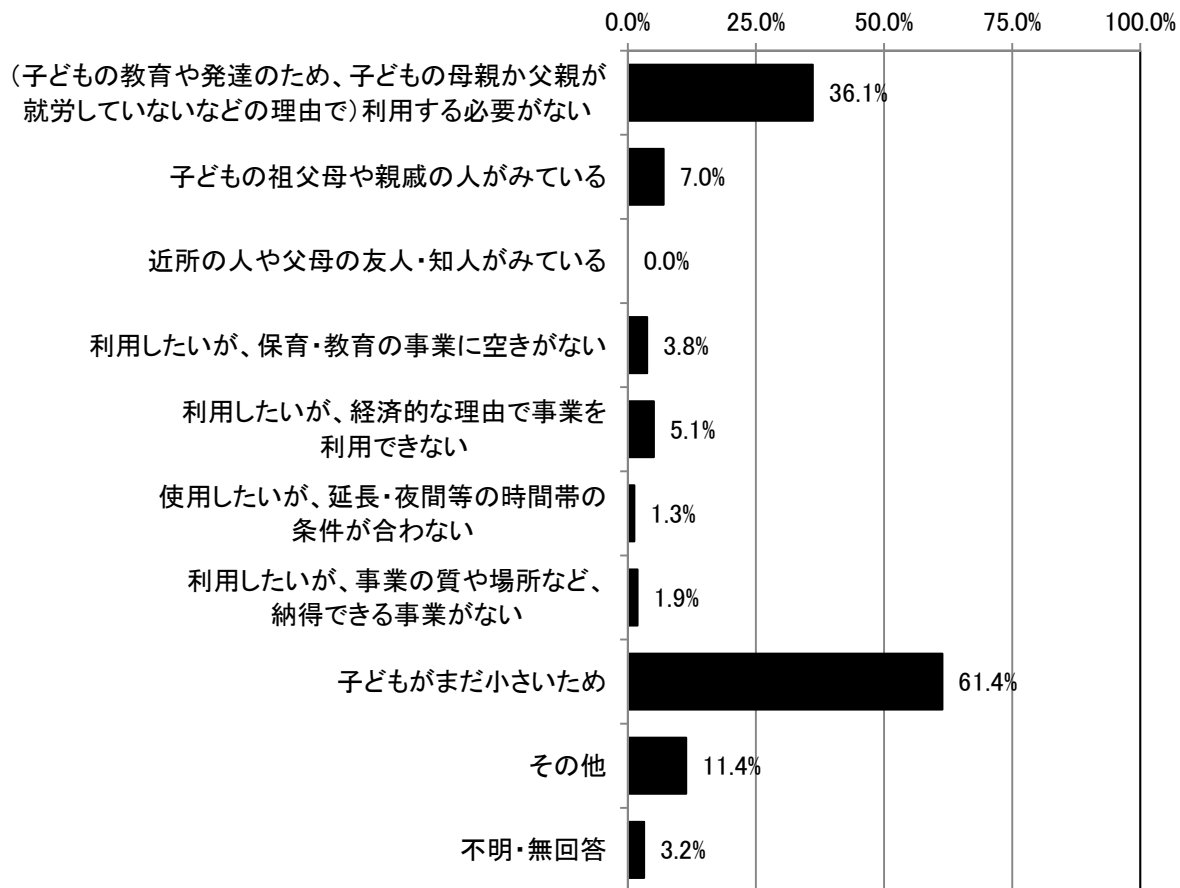
問 15で「2. 利用していない」に○をつけた方のみ

(27) 平日の定期的な教育・保育事業を利用していない理由について

【問 15-5】 MA

平日の定期的な教育・保育事業を利用していない理由については、就学前児童で「子どもがまだ小さいため」が61.4%と最も多く、次いで「(子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で)利用する必要がない」が36.1%、「その他」が11.4%となっています。

その他の回答では、「4月から保育園に入所予定」というご意見が多く見られました。



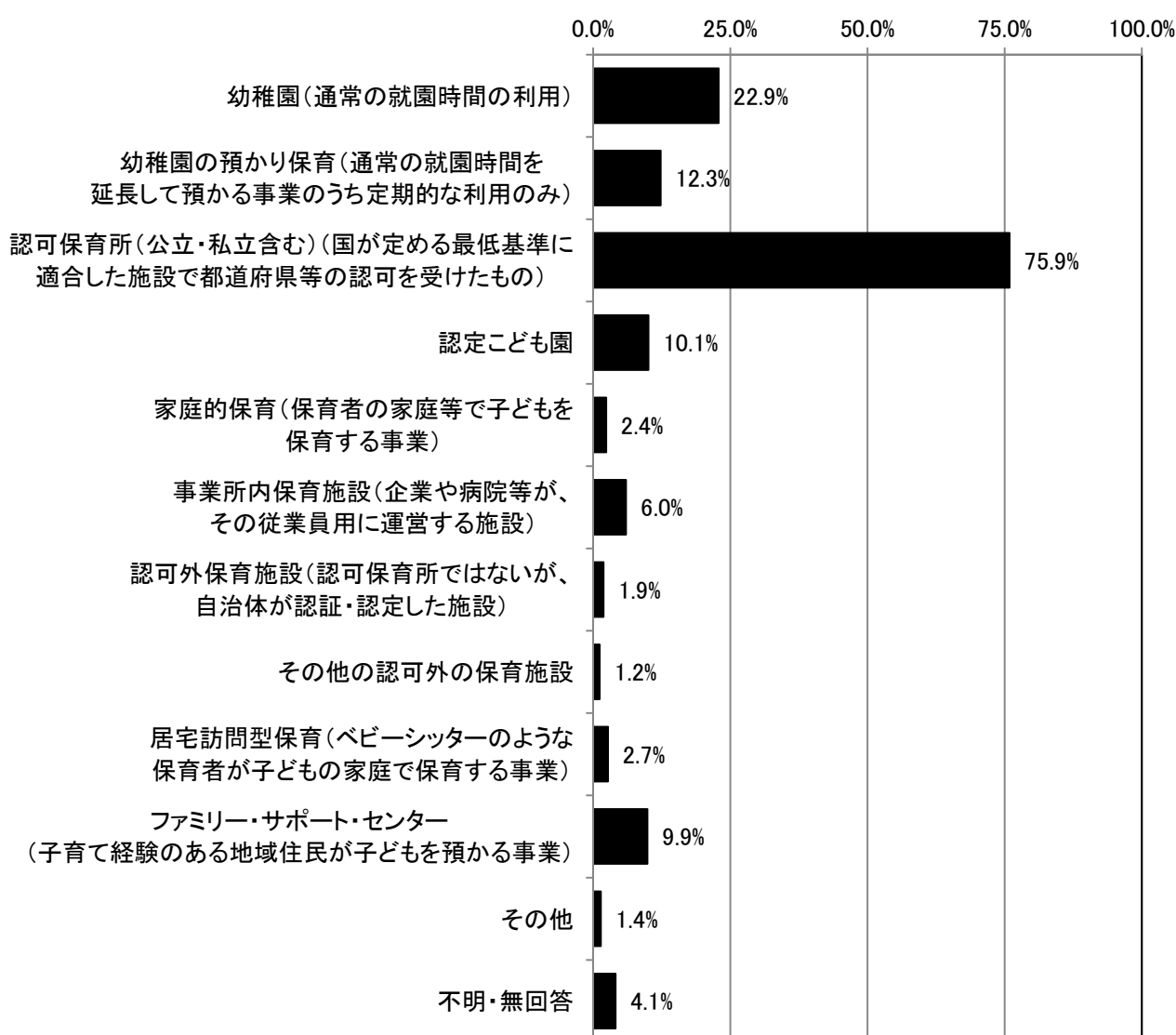
■ 就学前児童(N=158)

就学前児童のすべての方

(28) 平日の教育・保育の事業として、定期的にご利用したいと考える事業について

【問 16】 MA

平日の教育・保育の事業として、定期的にご利用したいと考える事業については、「認可保育所(公立・私立含む)(国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの)」が75.9%と最も多く、次いで「幼稚園(通常就園時間の利用)」が22.9%、「幼稚園の預かり保育(通常就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)」が12.3%となっています。

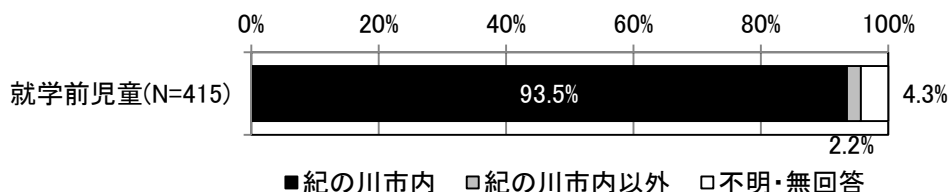


■ 就学前児童(N=415)

(29) 教育・保育事業を利用したい場所について

【問 16-1】 SA

教育・保育事業を利用したい場所については、「紀の川市内」が93.5%、「紀の川市内以外」が2.2%となっており、和歌山市、岩出市、紀美野町、かつらぎ町が上がっています。

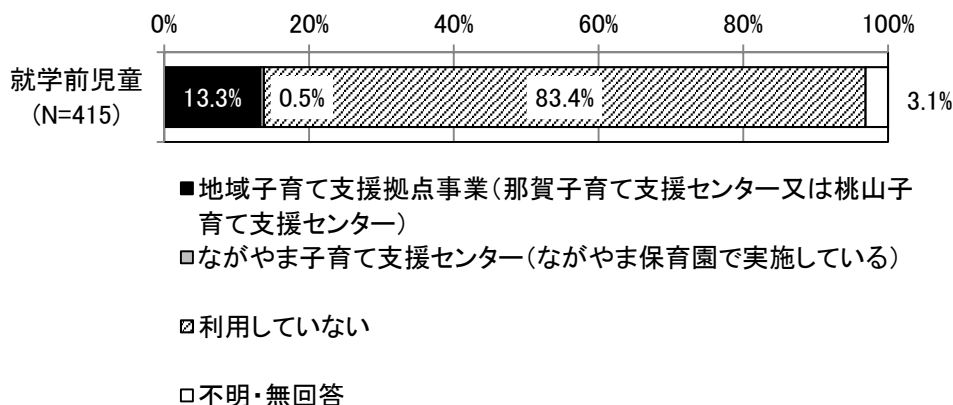


(30) 現在の地域子育て支援拠点事業の利用について

【問 17】 MA

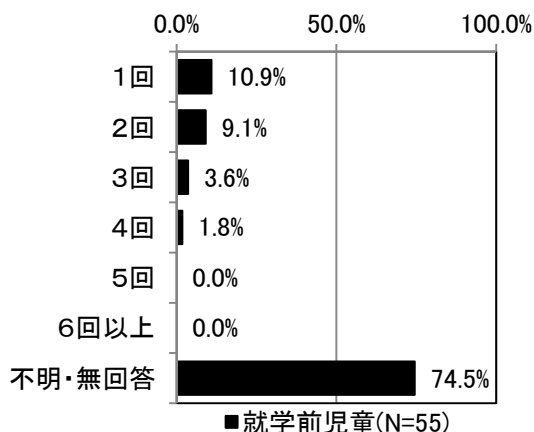
現在の地域子育て支援拠点事業の利用については、「利用していない」が83.4%と最も多く、次いで「地域子育て支援拠点事業(那賀子育て支援センター又は桃山子育て支援センター)」が13.3%、「ながやま子育て支援センター(ながやま保育園で実施している)」が0.5%となっています。

また、「地域子育て支援拠点事業」の週当たりの利用回数は「1回」が、月当たりでは「1～2回」が最も多くなっており、「ながやま子育て支援センター」では有効な回答が得られませんでした。

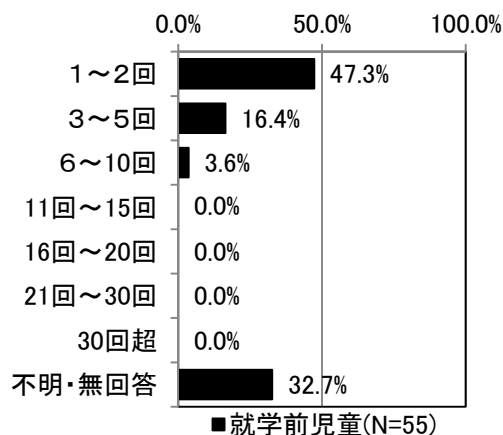


【地域子育て支援拠点事業】

【週当たり回数】



【月当たり回数】

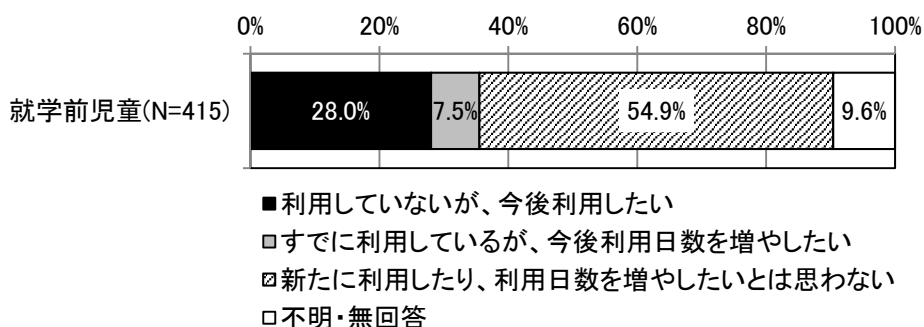


(31) 地域子育て支援拠点事業の利用意向について

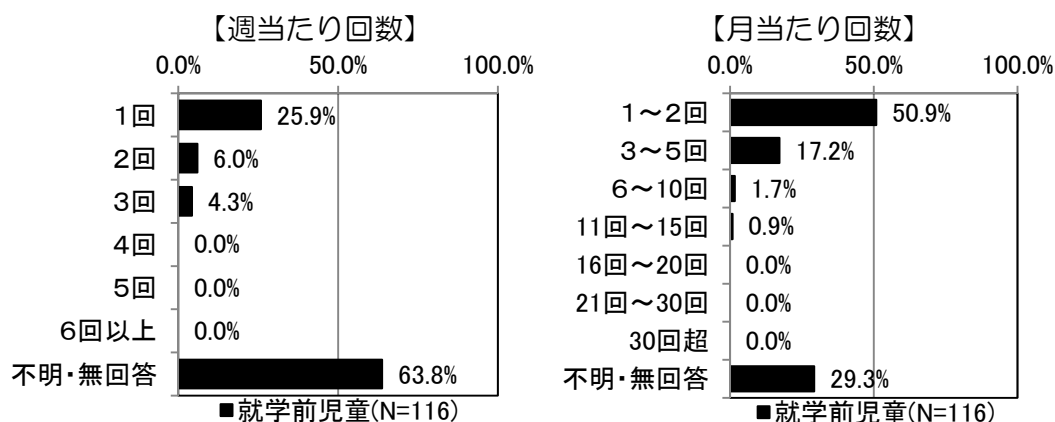
【問 18】 SA・N

地域子育て支援拠点事業の利用意向については、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が 54.9%ともっとも多く、次いで「利用していないが、今後利用したい」が 28.0%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が 7.5%となっています。

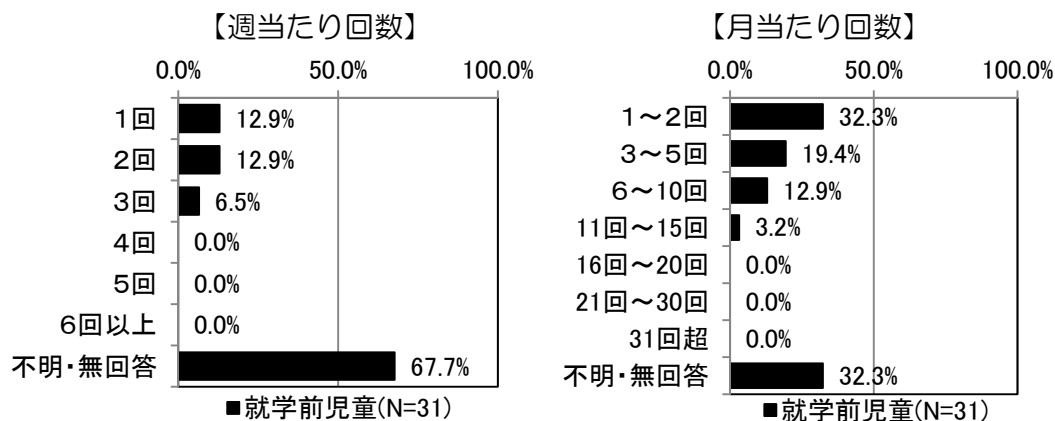
「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」では、週当たりの利用希望回数が「1回」、月当たりの利用希望回数が「1～2回」が最も多く、「利用していないが、今後利用したい」では、週当たりの利用希望回数が「1回」、「2回」がともに、月当たりの利用希望回数が「1～2回」が最も多くなっています。



【利用していないが、今後利用したい】



【すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい】

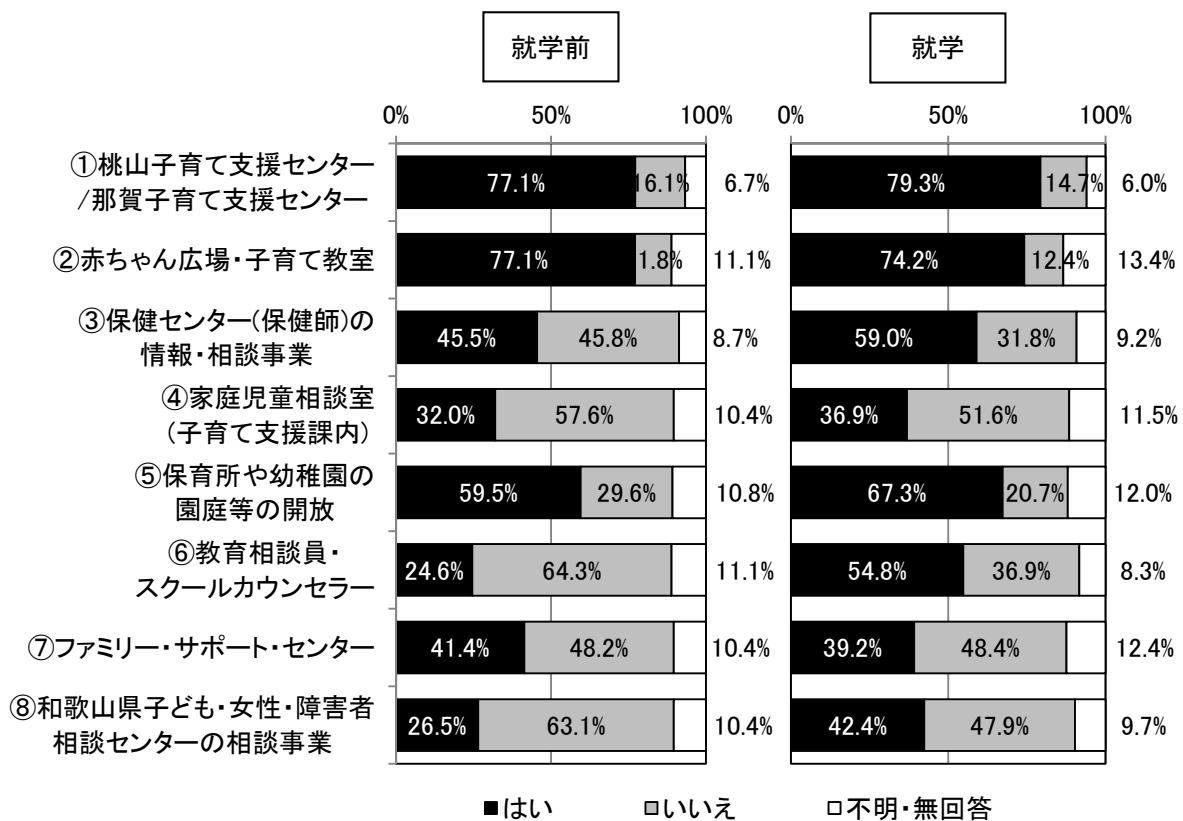


(32) 子育て支援事業の認知度、利用度、利用意向度について

【問 19】 MA

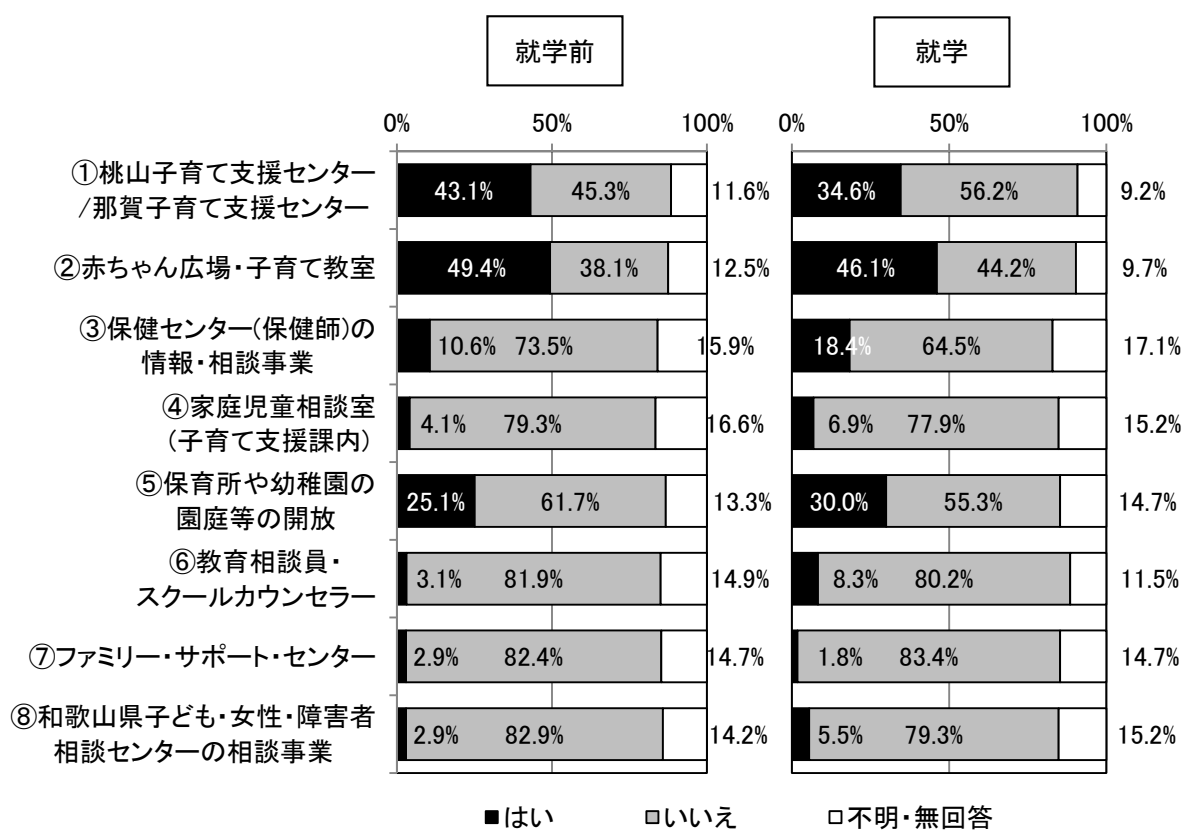
子育て支援事業の認知度については、就学前児童、就学児童ともに同じような傾向を示していますが、「⑥教育相談員・スクールカウンセラー」については就学前児童の認知度が、就学児童の約半分となっています。また、「⑧和歌山県子ども・女性・障害者相談センターの相談事業」ではそのほかは就学児童の認知度が高いのに比べて就学前児童の認知度が高くなっています。

【認知度】



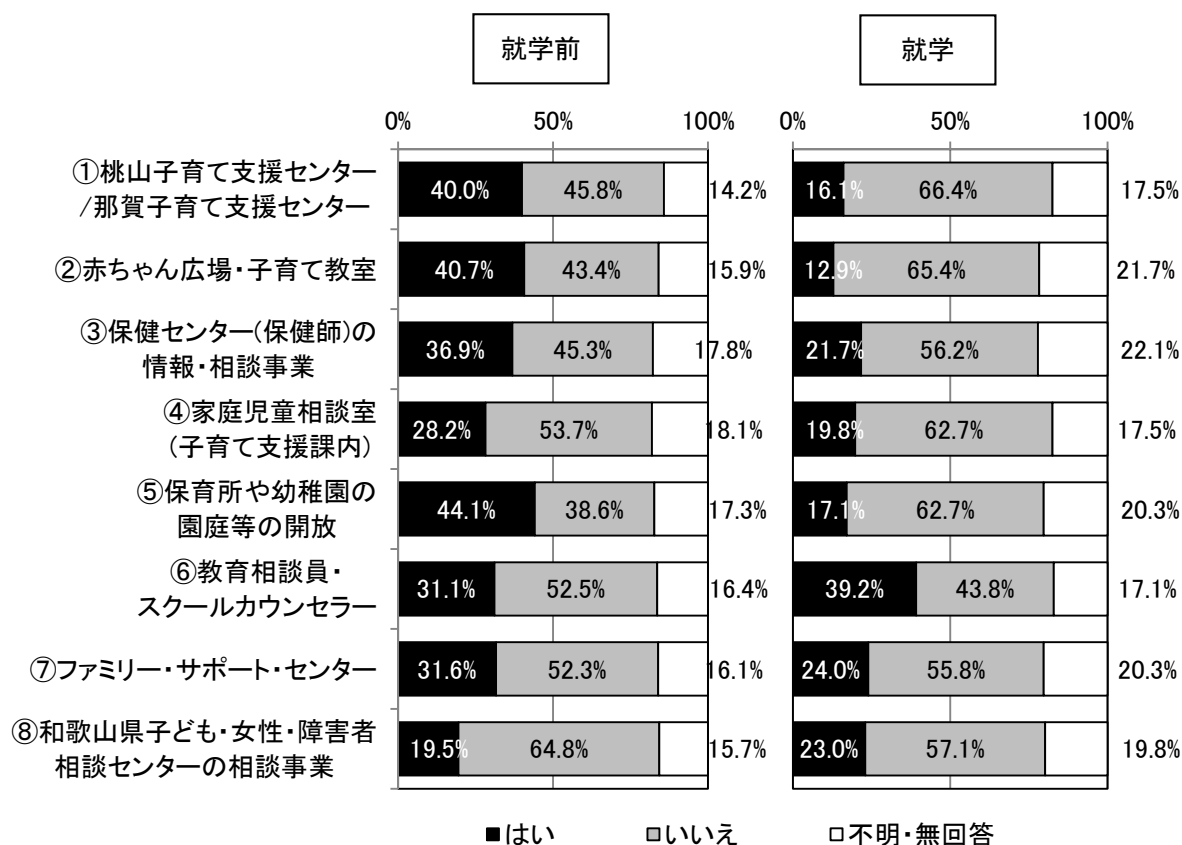
子育て支援事業の利用度については、就学前児童、就学児童ともに同じような傾向を示していますが、認知度に比べ利用度は低い傾向が見られます。また、「①桃山子育て支援センター/那賀子育て支援センター」「②赤ちゃん広場・子育て教室」では就学前児童の利用度が若干高く、「③保健センター(保健師)の情報・相談事業」、「⑤保育所や幼稚園の園庭等の開放」では就学児童の利用度が高く出ています。

【利用度】



子育て支援事業の利用意向度については、全体的に就学前児童の利用意向度が高く出ているが、「⑥教育相談員・スクールカウンセラー」、「⑧和歌山県子ども・女性・障害者相談センターの相談事業」では就学児童の利用意向度の方が高くなっています。

【利用意向度】

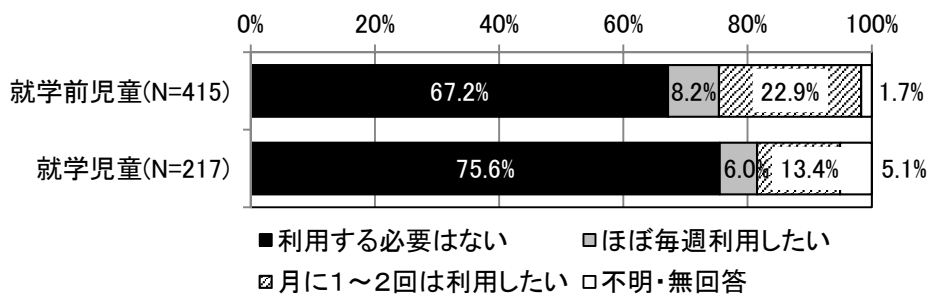


(33) 土曜日と日曜日・祝日における定期的な教育・保育事業の利用希望について

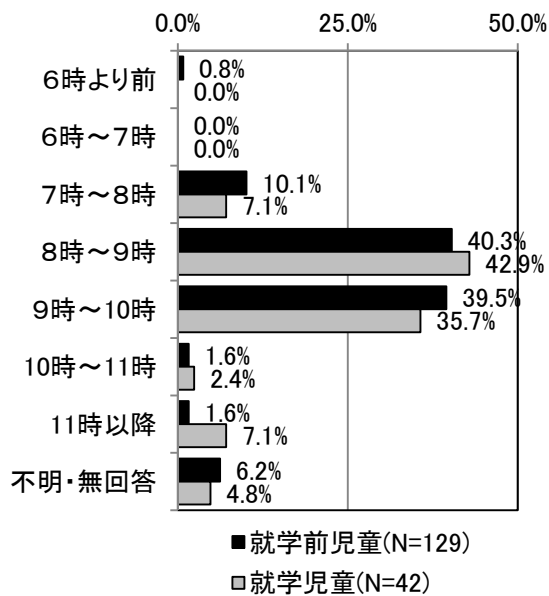
【問 20】 SA・N

土曜日における定期的な教育・保育事業の利用希望については、就学前児童、就学児童で同様の傾向を示しており、「利用する必要はない」がそれぞれ 67.2%、75.6%ともっとも多く、次いで「月に1～2回は利用したい」がそれぞれ 22.9%、13.4%、「ほぼ毎週利用したい」がそれぞれ 8.2%、6.0%となっています。

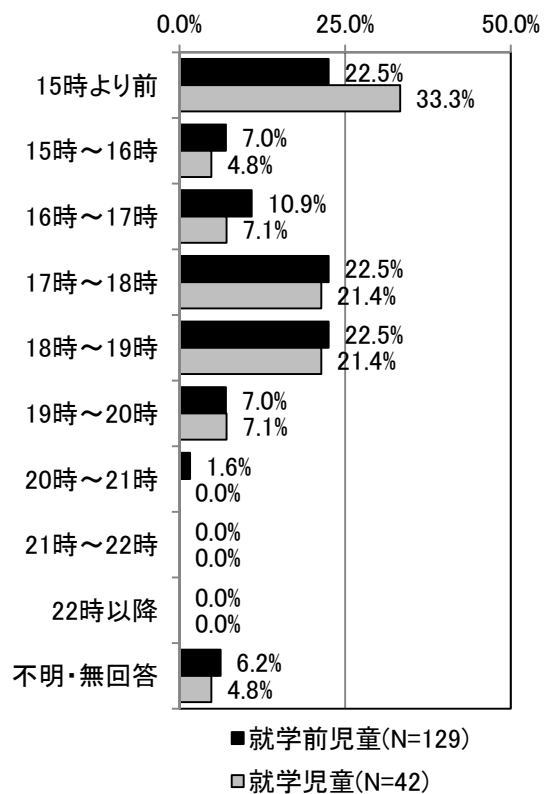
また、利用開始時間としての希望は就学前児童、就学児童ともに「8時～9時」が最も多くなっており、終了希望時間は就学前児童で「15時より前」、「17時～18時」、「18時～19時」、就学児童で「15時より前」が最も多くなっています。



【土曜日・開始希望時間】

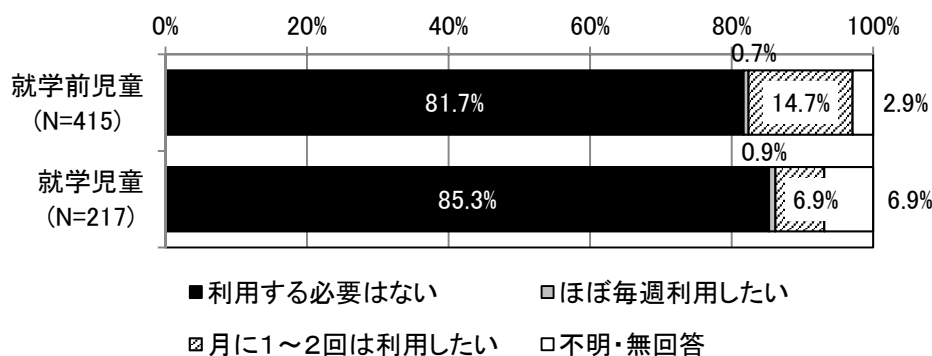


【土曜日・終了希望時間】

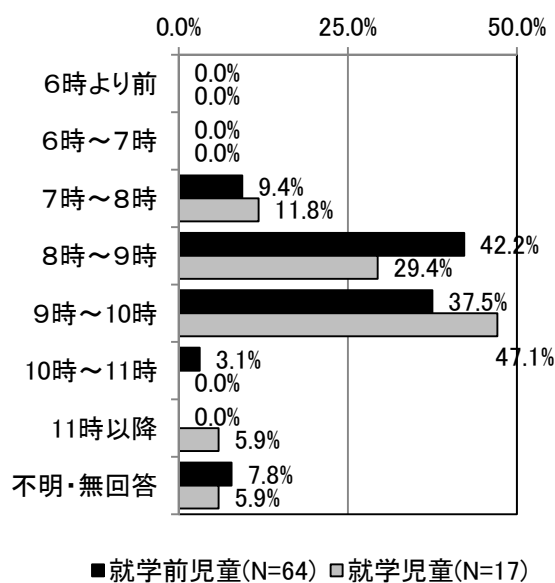


日曜・祝日における定期的な教育・保育事業の利用希望については、就学前児童、就学児童で同様の傾向を示しており、「利用する必要はない」がそれぞれ 81.7%、85.3%ともっとも多く、次いで「月に1～2回は利用したい」がそれぞれ 14.7%、6.9%、「ほぼ毎週利用したい」がそれぞれ 0.7%、0.9%となっています。

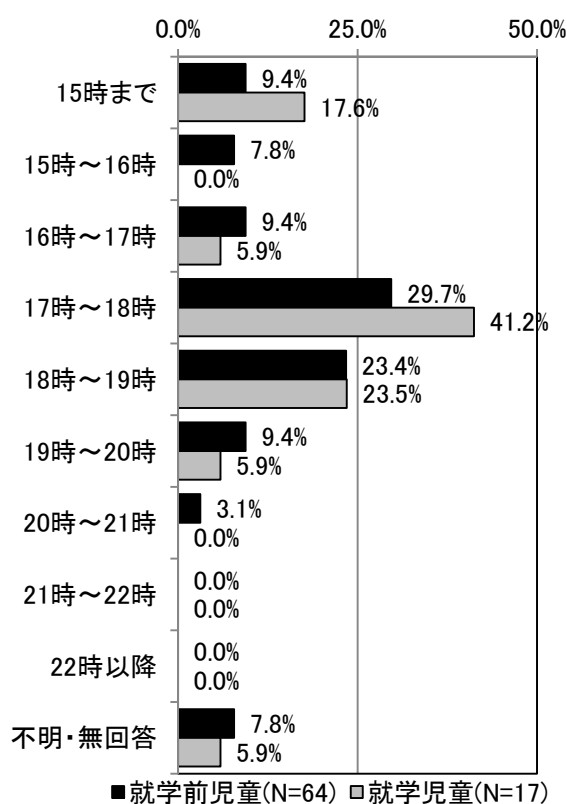
また、利用開始時間としての希望は就学前児童では「8時～9時」、就学児童では「9時～10時」が最も多くなっており、終了希望時間は就学前児童、就学児童ともに「17時～18時」が最も多くなっています。



【日曜・祝日・開始希望時間】



【日曜・祝日・終了希望時間】

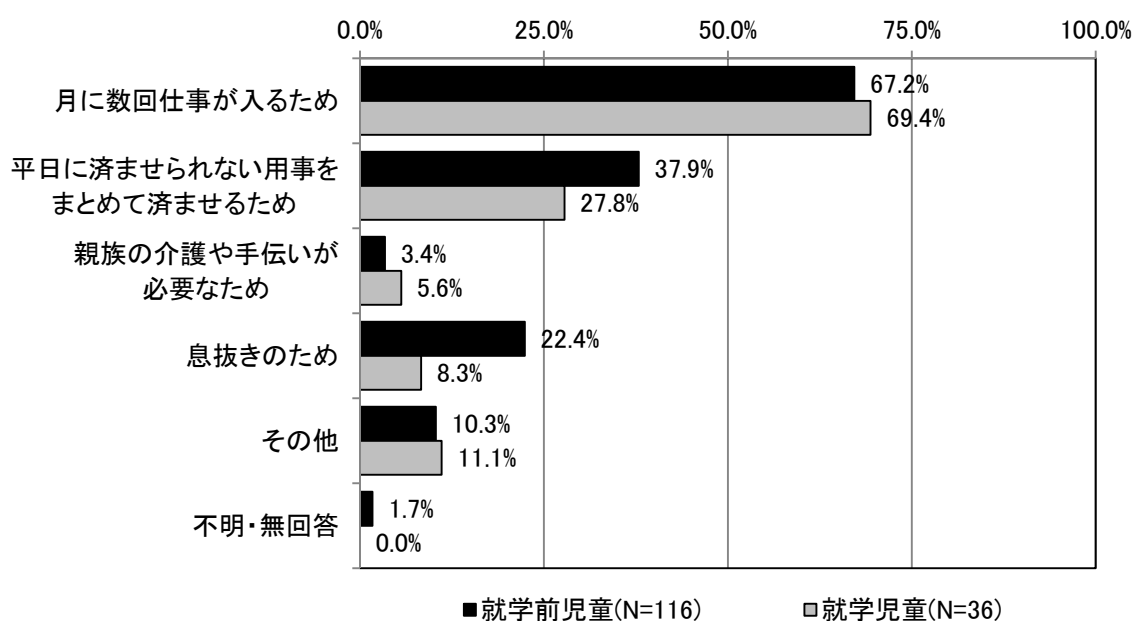


(33) の(1) もしくは(2)で、「3. 月に1~2回は利用したい」に○をつけた方のみ
(34) 毎週ではなく、たまに利用したい理由について

【問 20-1】 MA

毎週ではなく、たまに利用したい理由については、就学前児童、就学児童ともに同じ傾向を示しており、「月に数回仕事が入るため」がそれぞれ 67.2%、69.4%ともっとも多く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」がそれぞれ 37.9%、27.8%となっており、次いで就学前児童は「息抜きのため」が 22.4%となっており、就学児童では「その他」が 11.1%となっています。

その他では「土曜日、父母共も働いているので」などの意見がありました。



「幼稚園」を利用されている方のみ

(35) 長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用希望について

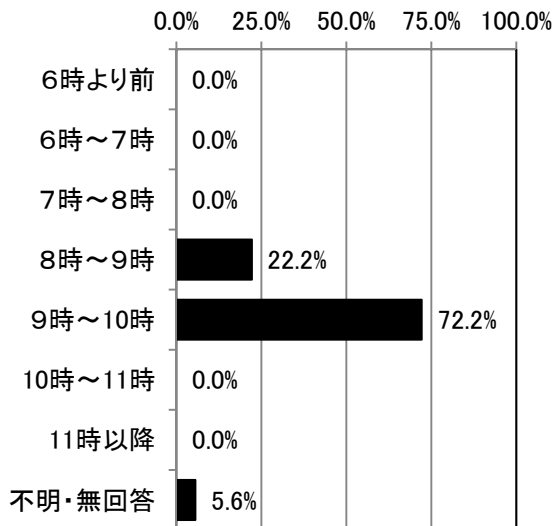
【問 21】 SA・N

長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用希望については、「利用する必要はない」が 40.0% ともっとも多く、次いで「休みの期間中、週に数日利用したい」が 30.0%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が 15.0%となっています。



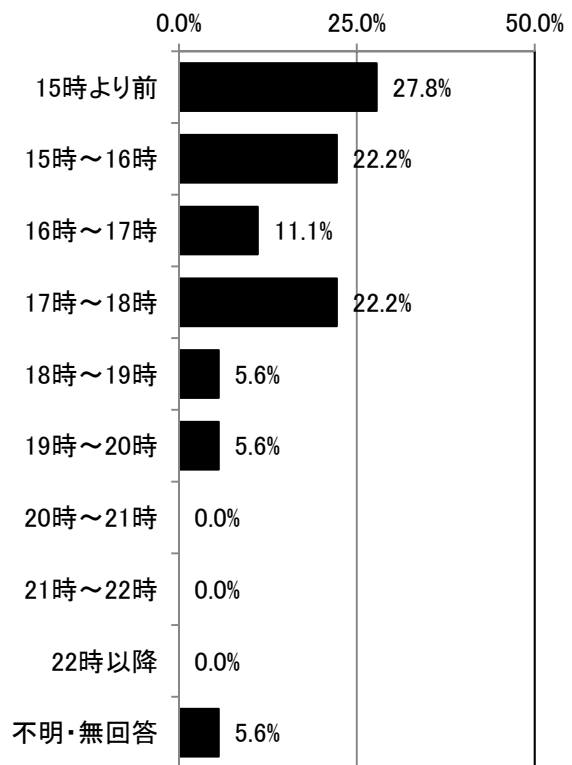
- 利用する必要はない
- 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい
- ▨ 休みの期間中、週に数日利用したい
- 不明・無回答

【長期休暇・利用希望開始時間】



■ 就学前児童(N=18)

【長期休暇・利用希望終了時間】



■ 就学前児童(N=18)

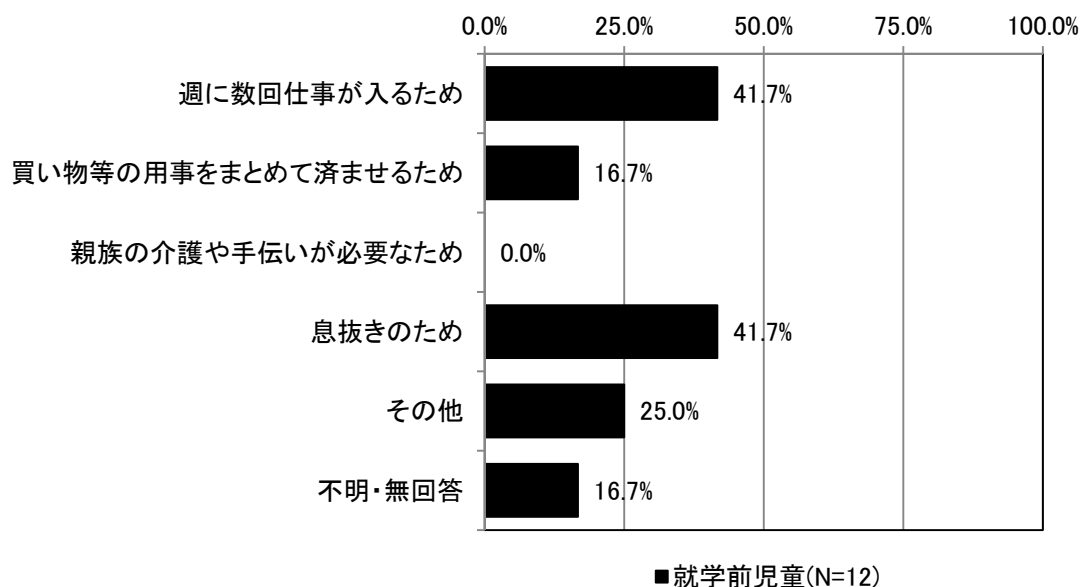
(35) で、「3週に数日利用したい」に○をつけた方のみ

(36) 毎日ではなく、たまに利用したい理由について

【問 21-1】 MA

毎日ではなく、たまに利用したい理由については、「週に数回仕事が入るため」、「息抜きのため」がともに 41.7%と最も多く、次いで「その他」が 25.0%となっています。

その他の回答では「仕事がしやすくなる」、「他の子供と遊ぶため」などの意見がありました。

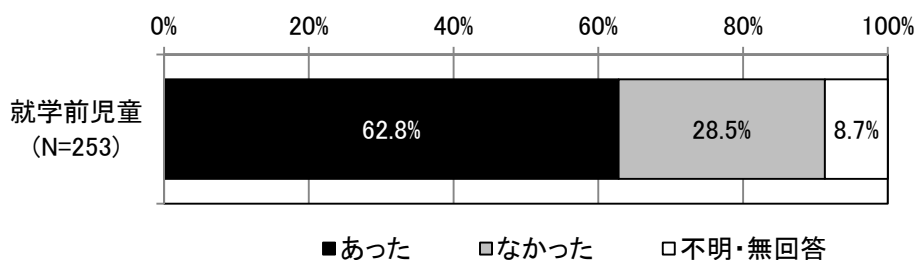


(22) で1に○をつけた方のみ

(37) この1年間に、子どもが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことについて

【問 22】 SA

この1年間に、子どもが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことについては、「あった」が 62.8%、「なかった」が 28.5%となっています。

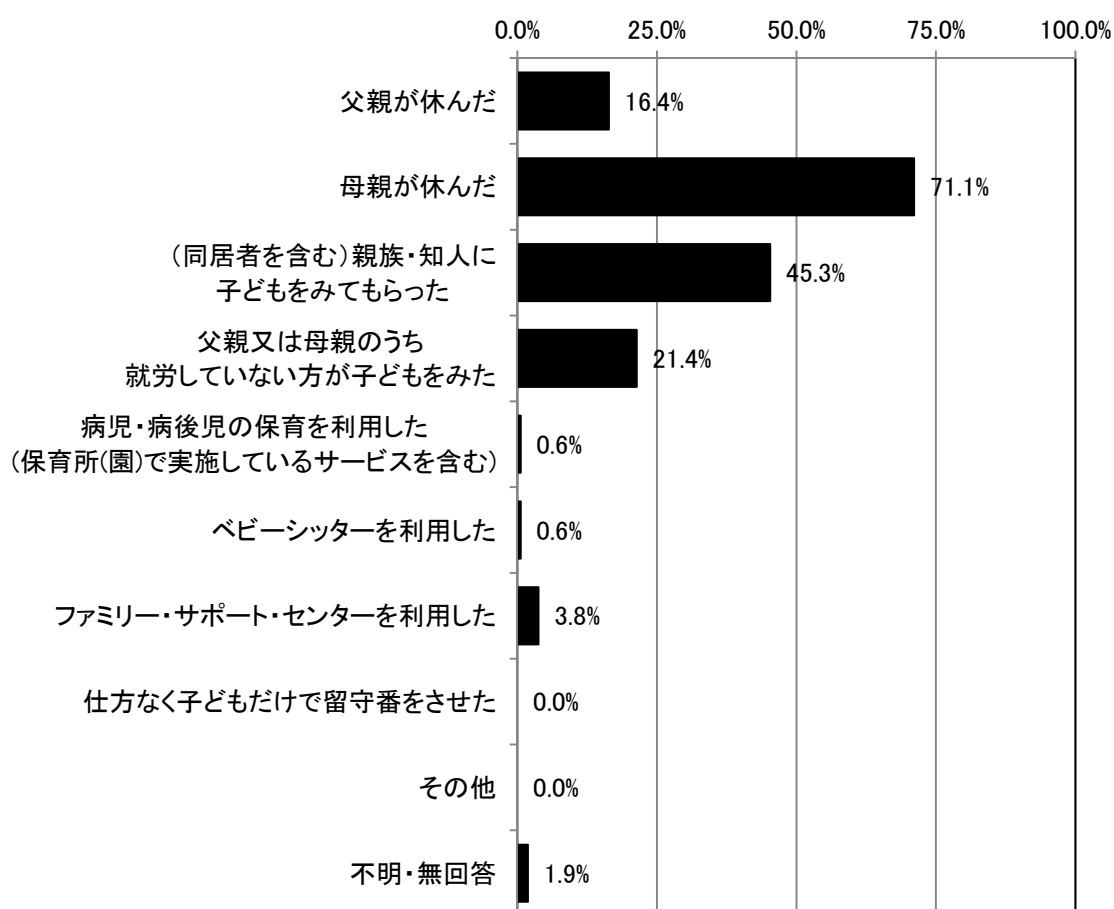


(38) 病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合の対処方法について

【問 22-1】 MA・N

病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合の対処方法については、「母親が休んだ」が71.1%ともっとも多く、次いで「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」が45.3%、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」が21.4%となっています。

また、それらで対処した日数は「1～2日」、「3～5日」が全体的に多いものの、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」では、「6～10日」が最も多くなっています。



■ 就学前児童(N=159)

【対処した日数】

	父親が休んだ		母親が休んだ		(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらう	
	就学前児童		就学前児童		就学前児童	
	件数	(全体)%	件数	(全体)%	件数	(全体)%
1～2日	11	42.3	23	20.4	21	29.2
3～5日	4	15.4	40	35.4	26	36.1
6～10日	6	23.1	24	21.2	10	13.9
11日～20日	0	0.0	10	8.8	8	11.1
21日～30日	0	0.0	3	2.7	0	0.0
31日以上	1	3.8	2	1.8	0	0.0
不明・無回答	4	15.4	11	9.7	7	9.7
サンプル数(%ベース)	26	100.0	113	100.0	72	100.0

	父親または母親のうち就労していない方		病児・病後児の保育を利用した(保育所(園)で実)		ベビーシッターを利用した	
	就学前児童		就学前児童		就学前児童	
	件数	(全体)%	件数	(全体)%	件数	(全体)%
1～2日	5	14.7	0	0.0	1	100.0
3～5日	9	26.5	1	100.0	0	0.0
6～10日	11	32.4	0	0.0	0	0.0
11日～20日	4	11.8	0	0.0	0	0.0
21日～30日	1	2.9	0	0.0	0	0.0
31日以上	0	0.0	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	4	11.8	0	0.0	0	0.0
サンプル数(%ベース)	34	100.0	1	100.0	1	100.0

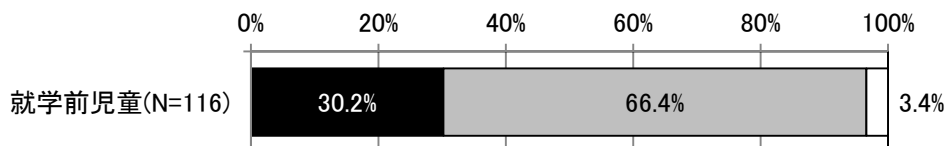
	ファミリー・サポート・センターを利用した		仕方なく子供だけで留守番させた		その他	
	就学前児童		就学前児童		就学前児童	
	件数	(全体)%	件数	(全体)%	件数	(全体)%
1～2日	4	66.7	0	0.0	0	0.0
3～5日	1	16.7	0	0.0	0	0.0
6～10日	0	0.0	0	0.0	0	0.0
11日～20日	0	0.0	0	0.0	0	0.0
21日～30日	0	0.0	0	0.0	0	0.0
31日以上	0	0.0	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	1	16.7	0	0.0	0	0.0
サンプル数(%ベース)	6	100.0	0	0.0	0	0.0

(38) で「ア」「イ」のいずれかに回答した方のみ

(39) できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思ったかについて

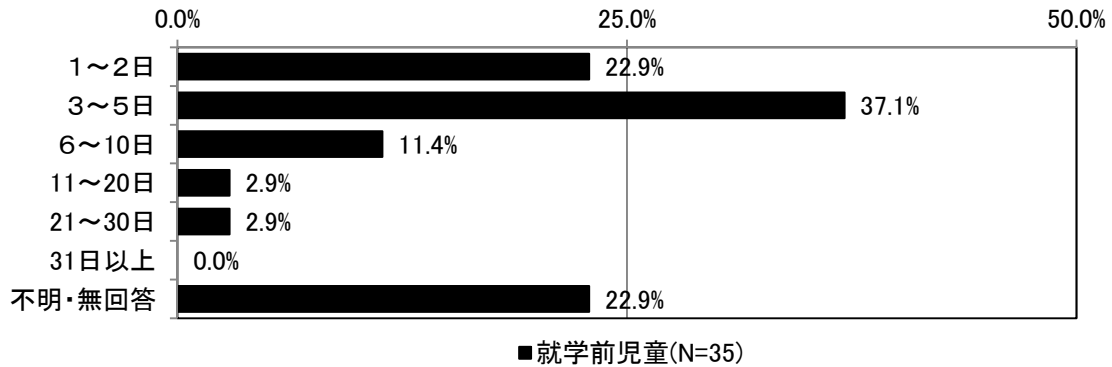
【問 22-2】 SA

できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思ったかについては、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が 30.2%、「利用したいとは思わない」が 66.4%となっています。



- できれば病児・病後児保育施設等を利用したい
- 利用したいとは思わない
- 不明・無回答

また、できれば利用したい方の利用日数については「3～5日」が最も多くなっています。

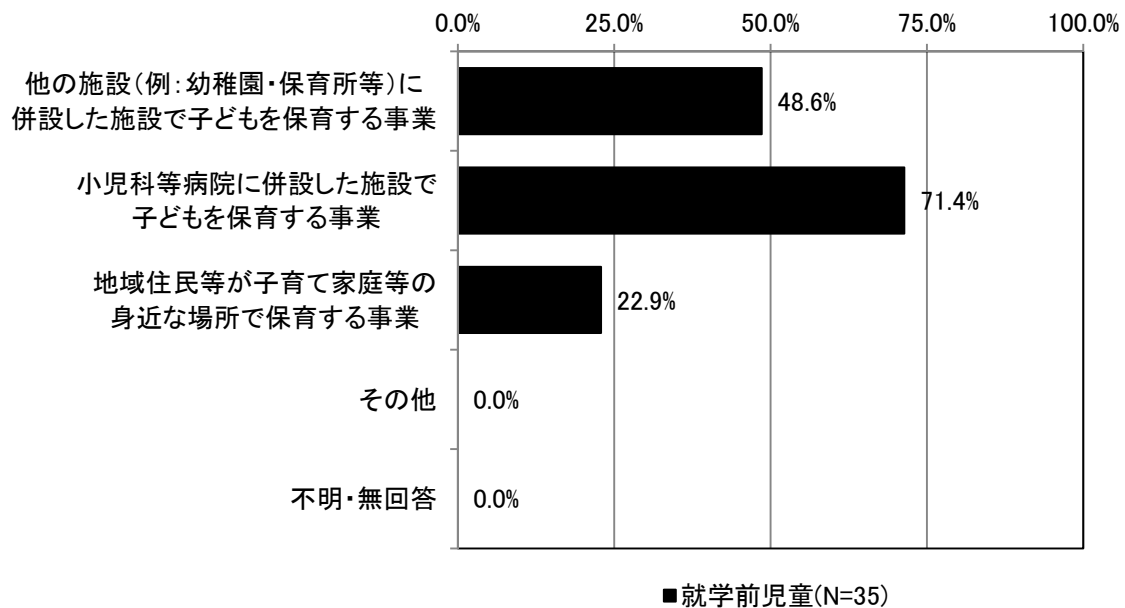


(39) で「1.できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方のみ

(40) 病児・病後児の子どもを預ける場合希望する事業形態について

【問 22-3】 MA

病児・病後児の子どもを預ける場合希望する事業形態については、就学前児童で「小児科等病院に併設した施設で子どもを保育する事業」が 71.4%と最も多く、次いで「他の施設(例:幼稚園・保育所等)に併設した施設で子どもを保育する事業」が 48.6%、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業」が 22.9%となっています。



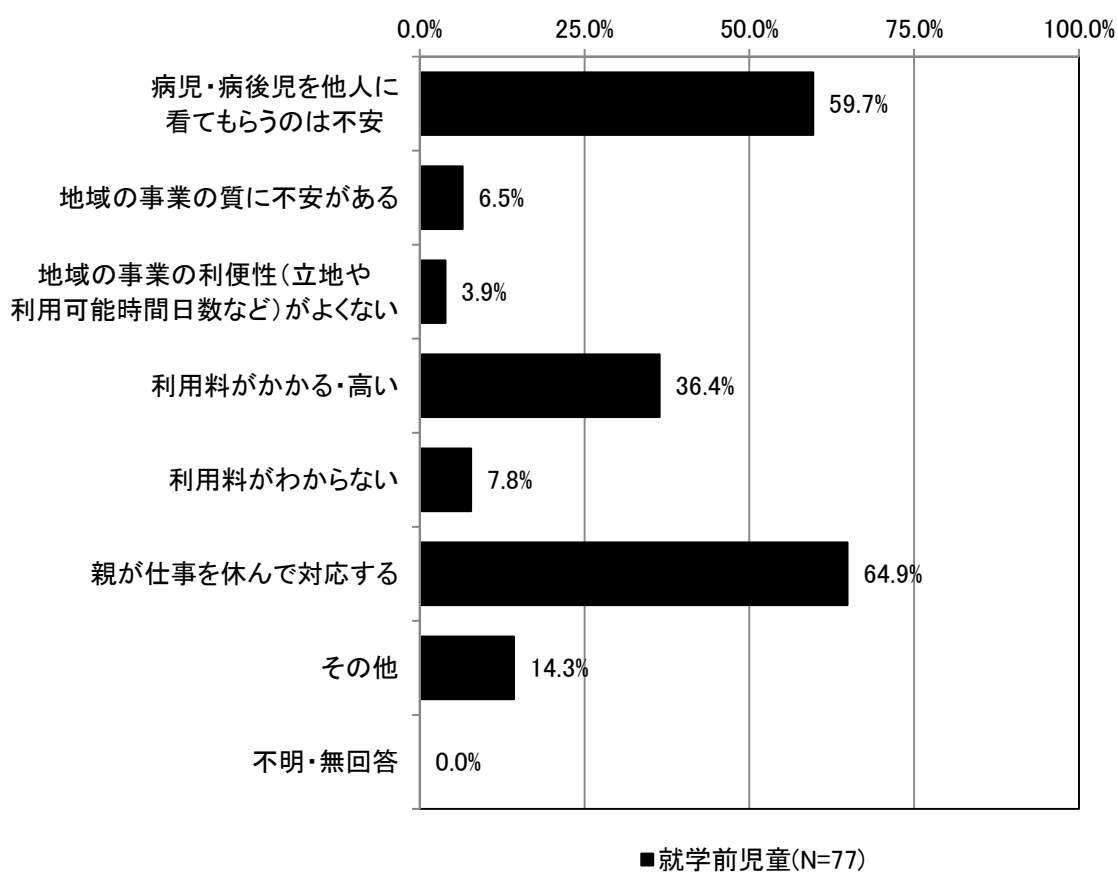
(39)で「利用したいと思わない」に○をつけた方のみ

(41) 利用したいと思わないと思われる理由について

【問 22-4】 MA

利用したいと思わないと思われる理由については、「親が仕事を休んで対応する」が64.9%ともっとも多く、次いで「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が59.7%、「利用料がかかる・高い」が36.4%となっています。

その他の回答では「子供がかわいそう、不安がる」、「親族にみてもらえる」などの意見がありました。



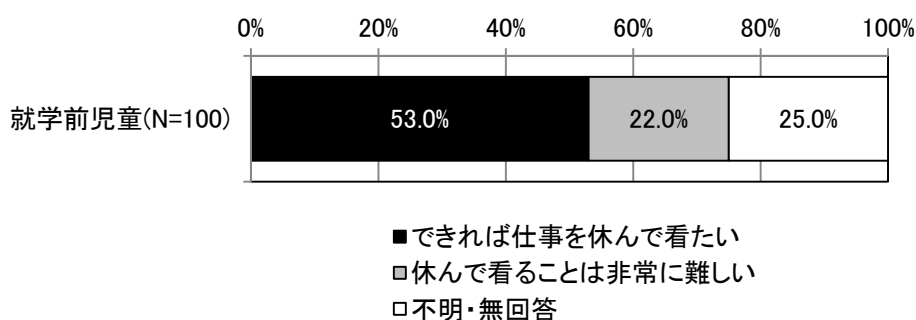
(38) で「ウ。」から「ケ。」のいずれかに回答した方のみ

(42) 病児・病後児を他人に預けた際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか

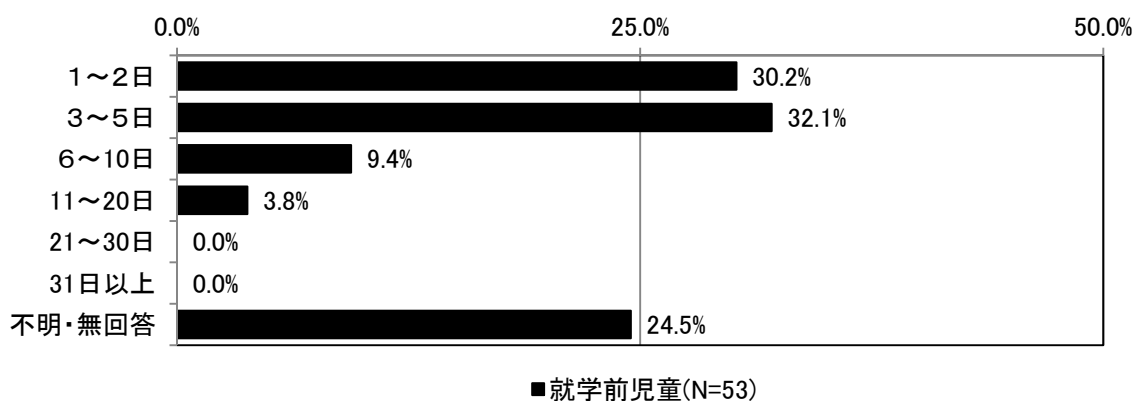
【問 22-5】 SA・N

病児・病後児を他人に預けた際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたかについてでは、「できれば仕事を休んで看たい」が 53.0%、「休んで看ることは非常に難しい」が 22.0%となっています。

また、「できれば仕事を休んで看たい」と答えた方の日数では、「3～5日」が最も多くなっています。



【できれば仕事を休んで看たい日数】



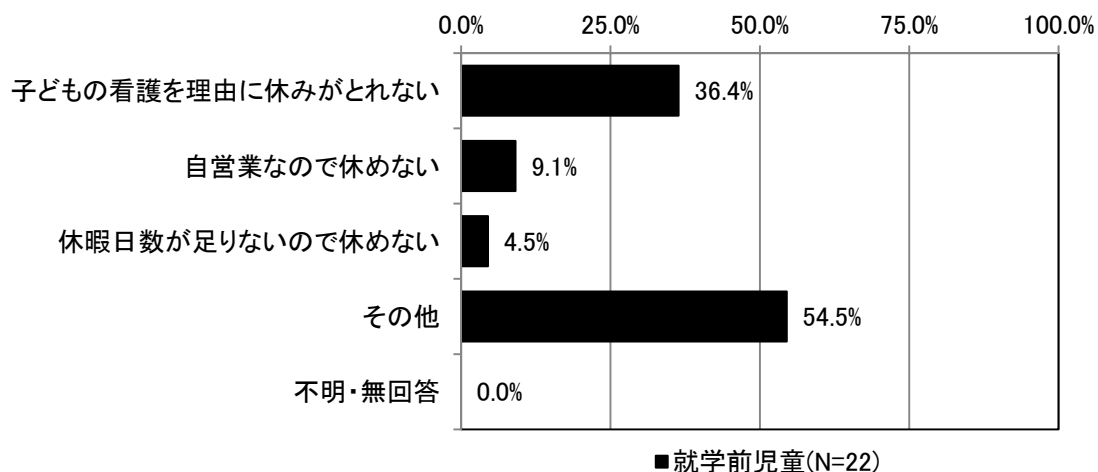
(42) で「2. 休んで見ることは非常に難しい」と答えた方のみ

(43) 休んで見ることは非常に難しいと思われる理由について

【問 22-6】 MA

休んで見ることは非常に難しいと思われる理由については、「その他」が 54.5%ともっとも多く、次いで「子どもの看護を理由に休みがとれない」が 36.4%、「自営業なので休めない」が 9.1%となっています。

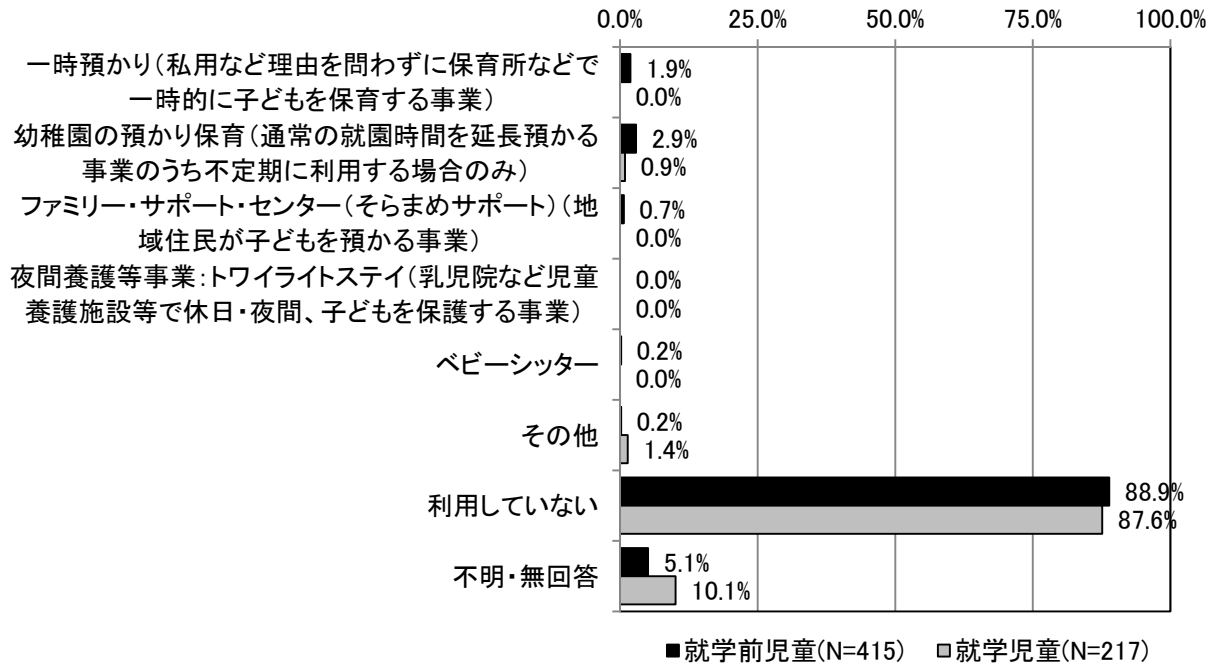
その他の回答では「業務上休みづらい」、「仕事が忙しい」と答えた方が多くおられました。



(44) 私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期的に利用している事業について

【問 23】 MA

私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期的に利用している事業については、就学前児童、就学児童ともに「利用していない」がそれぞれ 88.9%、87.6%と最も多く大半を占めています。



【不定期利用の事業・日数】

カテゴリ	(1) 一時預かり				(2) 幼稚園の預かり保育			
	就学前児童		就学児童		就学前児童		就学児童	
	件数	(全体)%	件数	(全体)%	件数	(全体)%	件数	(全体)%
1~2日	1	12.5	0	0.0	2	16.7	1	50.0
3~5日	3	37.5	0	0.0	5	41.7	1	50.0
6~10日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
11~20日	0	0.0	0	0.0	3	25.0	0	0.0
21~30日	1	12.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
31日以上	3	37.5	0	0.0	1	8.3	0	0.0
不明・無回答	0	0.0	0	0.0	1	8.3	0	0.0
サンプル数(%ベース)	8	100.0	0	0.0	12	100.0	2	100.0

カテゴリ	(3) ファミリー・サポート・センター				(4) 夜間養護等事業:トワイライトステイ			
	就学前児童		就学児童		就学前児童		就学児童	
	件数	(全体)%	件数	(全体)%	件数	(全体)%	件数	(全体)%
1~2日	1	33.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3~5日	1	33.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6~10日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
11~20日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
21~30日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
31日以上	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	1	33.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
サンプル数(%ベース)	3	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0

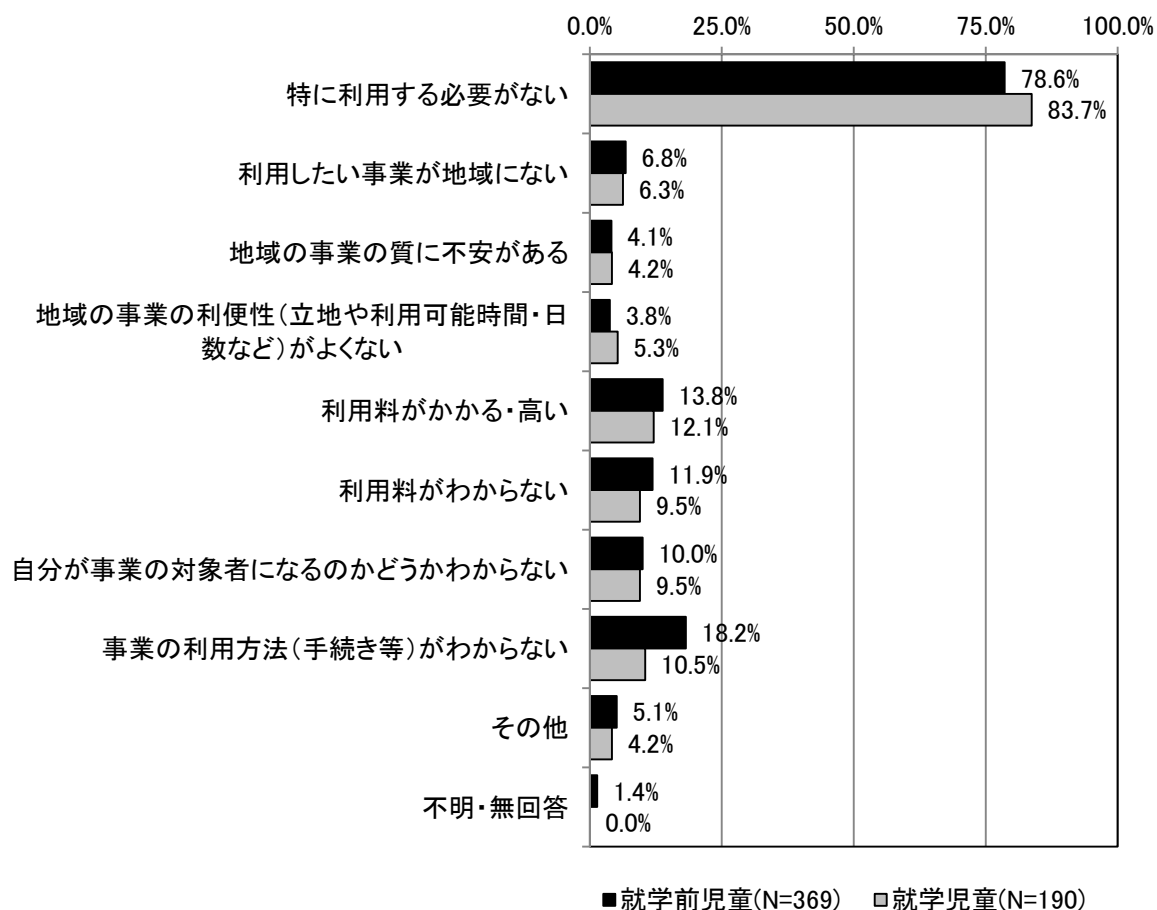
カテゴリ	(5) ベビーシッター				(6) その他			
	就学前児童		就学児童		就学前児童		就学児童	
	件数	(全体)%	件数	(全体)%	件数	(全体)%	件数	(全体)%
1~2日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	33.3
3~5日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6~10日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
11~20日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
21~30日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
31日以上	1	100.0	0	0.0	0	0.0	1	33.3
不明・無回答	0	0.0	0	0.0	1	100.0	1	33.3
サンプル数(%ベース)	1	100.0	0	0.0	1	100.0	3	100.0

(44) で「7. 利用していない」と回答した方のみ

(45) 現在利用していない理由について

【問 23-1】 MA

現在利用していない理由については、就学前児童、就学児童ともに「特に利用する必要がない」がそれぞれ 78.6%、83.7%ともっとも多く、次いで就学前児童で「事業の利用方法(手続き等)がわからない」が 18.2%、「利用料がかかる・高い」が 13.8%となっており、就学児童では「利用料がかかる・高い」が 12.1%、「利用料がわからない」が 11.9%となっています。



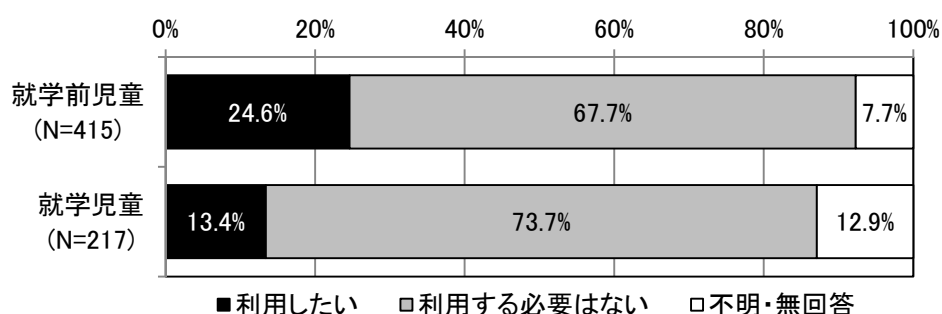
(46) 私用、親の通院、不定期の就労等の目的での、年間必要利用日数について

【問 24】 MA・N

私用、親の通院、不定期の就労等の目的での、年間必要利用日数については、就学前児童で「利用したい」が24.6%、「利用する必要はない」が67.7%となっています。就学児童では「利用したい」が13.4%、「利用する必要はない」が73.7%となっています。

利用したい日数については就学前児童では「私用(買物、子供(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的」で「3～5日」が33.3%、「冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等」で「3～5日」が47.3%、「不定期の就労」で「6～10日」が25.0%と最も多くなっています。

就学児童では「私用(買物、子供(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的」で「1～2日」、「6～10日」がともに33.3%、「冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等」で「3～5日」、「6～10日」がともに31.3%、「不定期の就労」で「3～5日」が37.5%と最も多くなっています。



カテゴリ	私用(買物、子供(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的				冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等			
	就学前児童		就学児童		就学前児童		就学児童	
	件数	(全体)%	件数	(全体)%	件数	(全体)%	件数	(全体)%
1～2日	7	13.0	4	33.3	7	12.7	4	25.0
3～5日	18	33.3	3	25.0	26	47.3	5	31.3
6～10日	11	20.4	4	33.3	12	21.8	5	31.3
11～20日	8	14.8	1	8.3	4	7.3	1	6.3
21～30日	1	1.9	0	0.0	2	3.6	0	0.0
31日以上	3	5.6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	6	11.1	0	0.0	4	7.3	1	6.3
サンプル数(%ベース)	54	100.0	12	100.0	55	100.0	16	100.0

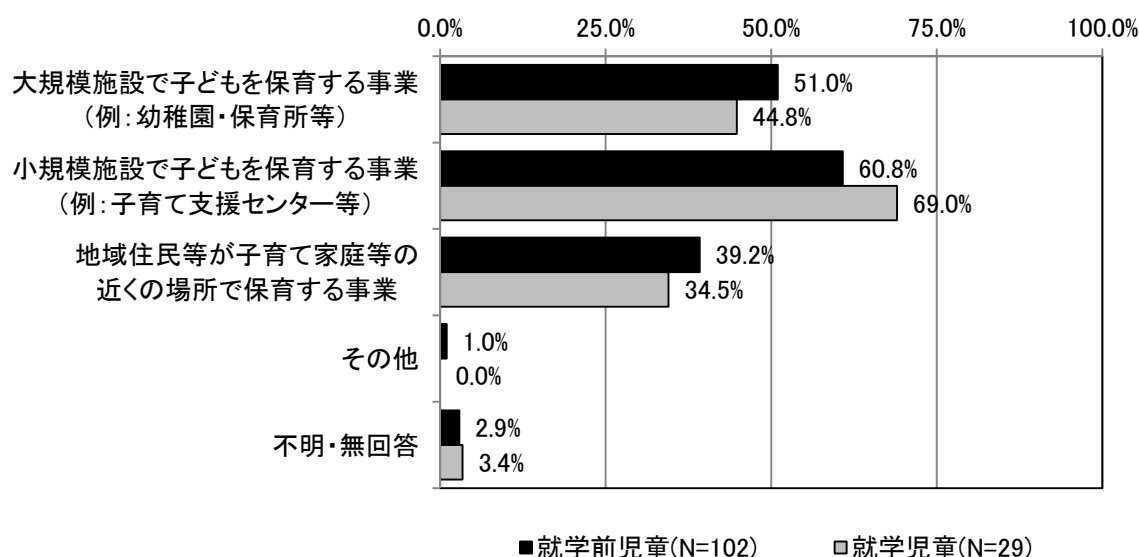
カテゴリ	不定期の就労				その他			
	就学前児童		就学児童		就学前児童		就学児童	
	件数	(全体)%	件数	(全体)%	件数	(全体)%	件数	(全体)%
1～2日	4	11.1	1	6.3	0	0.0	0	0.0
3～5日	3	8.3	6	37.5	1	20.0	2	50.0
6～10日	9	25.0	2	12.5	0	0.0	0	0.0
11～20日	6	16.7	1	6.3	1	20.0	0	0.0
21～30日	3	8.3	2	12.5	0	0.0	1	25.0
31日以上	5	13.9	1	6.3	1	20.0	0	0.0
不明・無回答	6	16.7	3	18.8	2	40.0	1	25.0
サンプル数(%ベース)	36	100.0	16	100.0	5	100.0	4	100.0

(46) で「1.利用したい」に○をつけた方のみ

(47) 子どもを預ける望ましい事業形態について

【問 24-1】 MA

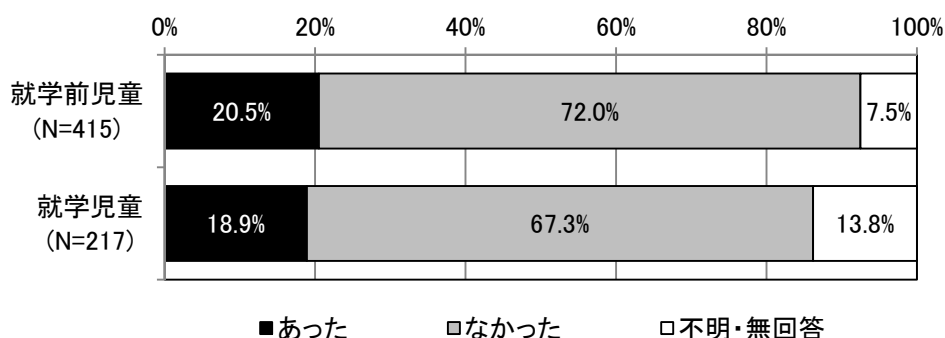
子どもを預ける望ましい事業形態については、就学前児童、就学児童ともに「小規模施設で子どもを保育する事業(例:子育て支援センター等)」がそれぞれ 60.8%、69.0%ともっとも多く、次いで「大規模施設で子どもを保育する事業(例:幼稚園・保育所等)」がそれぞれ 51.0%、44.8%、「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業(例:ファミリー・サポート・センター等)」がそれぞれ 39.2%、34.5%となっています。



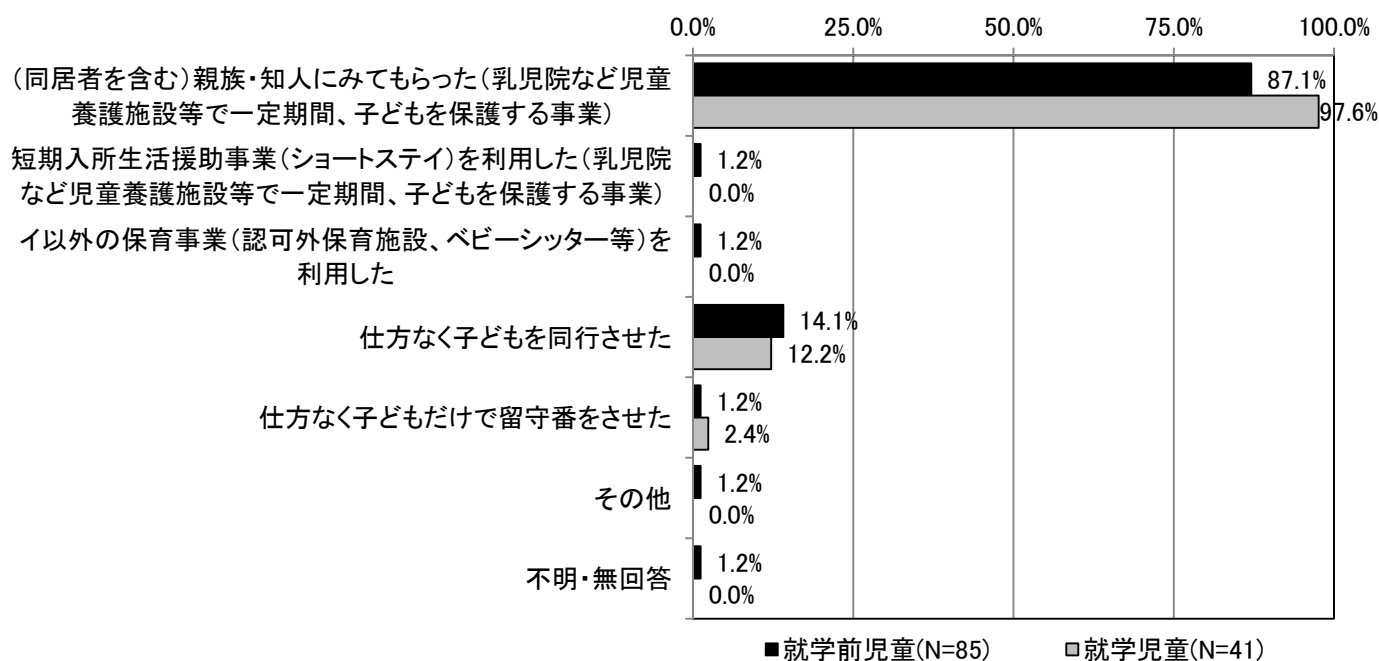
(48) この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことの有無について

【問 25】 SA・N

この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことの有無については、就学前児童で「あった」が 20.5%、「なかった」が 72.0%となっています。就学児童では「あった」が 18.9%、「なかった」が 67.3%となっています。



また、その対処方法として「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった(乳児院など児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業)」が就学前児童、就学児童ともに最も多くそれぞれ 87.1%、97.6%となっています。対処日数については比較的短期間が多い傾向にあります。



【対処した日数】

	[ア] (同居者を含む)親族・知人にみてもらった(乳児院など児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業)				[イ]短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した(乳児院など児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業)			
	就学前児童		就学児童		就学前児童		就学児童	
	件数	(全体)%	件数	(全体)%	件数	(全体)%	件数	(全体)%
1~2日	26	35.1	17	42.5	0	0.0	0	0.0
3~5日	17	23.0	10	25.0	1	100.0	0	0.0
6~10日	11	14.9	5	12.5	0	0.0	0	0.0
11~20日	4	5.4	3	7.5	0	0.0	0	0.0
21~30日	2	2.7	1	2.5	0	0.0	0	0.0
31日以上	1	1.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	13	17.6	4	10.0	0	0.0	0	0.0
サンプル数(%ベース)	74	100.0	40	100.0	1	100.0	0	0.0

	[ウ]イ以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した				[エ]仕方なく子どもを同行させた			
	就学前児童		就学児童		就学前児童		就学児童	
	件数	(全体)%	件数	(全体)%	件数	(全体)%	件数	(全体)%
1~2日	1	100.0	0	0.0	6	50.0	3	60.0
3~5日	0	0.0	0	0.0	1	8.3	0	0.0
6~10日	0	0.0	0	0.0	1	8.3	0	0.0
11~20日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	20.0
21~30日	0	0.0	0	0.0	1	8.3	0	0.0
31日以上	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	0	0.0	0	0.0	3	25.0	1	20.0
サンプル数(%ベース)	1	100.0	0	0.0	12	100.0	5	100.0

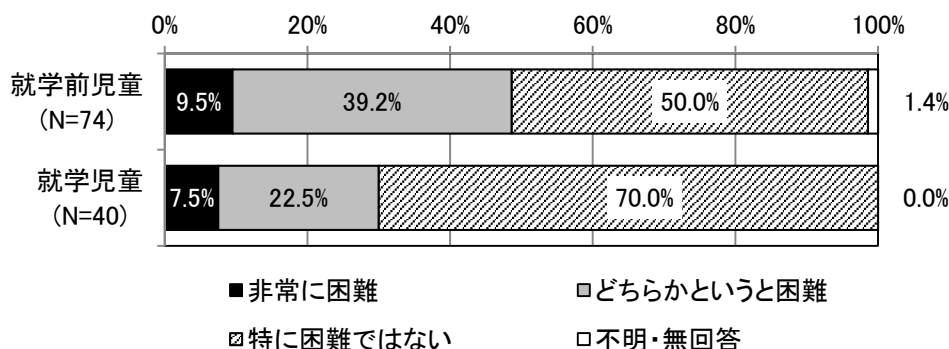
	[オ]仕方なく子どもだけで留守番をさせた				[カ]その他			
	就学前児童		就学児童		就学前児童		就学児童	
	件数	(全体)%	件数	(全体)%	件数	(全体)%	件数	(全体)%
1~2日	0	0.0	1	100.0	0	0.0	0	0.0
3~5日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6~10日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
11~20日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
21~30日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
31日以上	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	1	100.0	0	0.0	1	100.0	0	0.0
サンプル数(%ベース)	1	100.0	1	100.0	1	100.0	0	0.0

(48) で「1.あった ア.(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」と答えた方のみ

(49) その場合の困難度について

【問 25-1】 SA

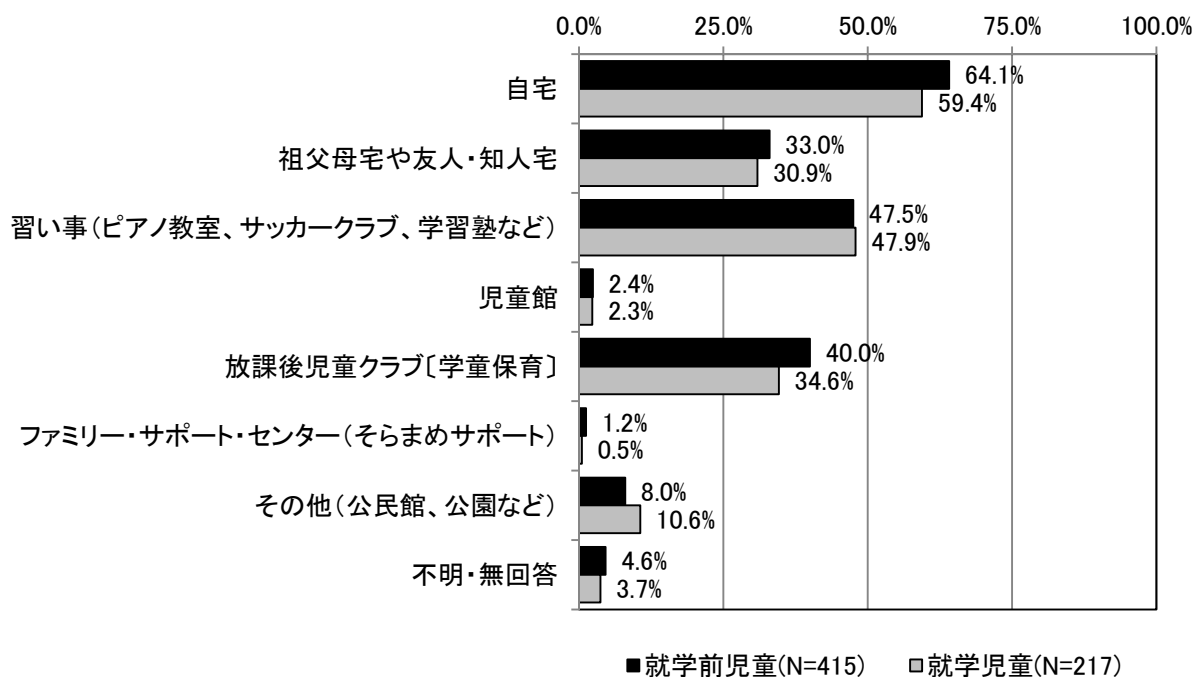
その場合の困難度については、就学前児童、就学児童ともに「特に困難ではない」がそれぞれ 50.0%、70.0%と最も多く、次いで「どちらかという困難」がそれぞれ 39.2%、22.5%、「非常に困難」がそれぞれ 9.5%、7.5%となっています。



(50) 小学校低学年(1～3年生)での放課後(平日の小学校終了後)の過ごし方について

【問 26】 MA・N

小学校低学年(1～3年生)での放課後(平日の小学校終了後)の過ごし方(就学前児童については想定で記入)については、就学前児童、就学児童ともに「自宅」がそれぞれ 64.1%、59.4%と最も多く、次いで「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」がそれぞれ 47.5%、47.9%、「放課後児童クラブ[学童保育]」がそれぞれ 40.0%、34.6%となっています。



また、その際の週当たりの利用日数について、就学前児童では「自宅」が「5日」、「祖父母宅や友人・知人宅」が「2日」、「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」が「2日」、「児童館」が「1日」、「放課後児童クラブ〔学童保育〕」が「5日」、「ファミリー・サポート・センター(そらまめサポート)」が「1日」が最も多くなっています。

就学児童では「自宅」が「2日」、「祖父母宅や友人・知人宅」が「1日」、「5日」、「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」が「2日」、「児童館」が「1日」、「放課後児童クラブ〔学童保育〕」が「5日」、「ファミリー・サポート・センター(そらまめサポート)」が「1日」が最も多くなっています。

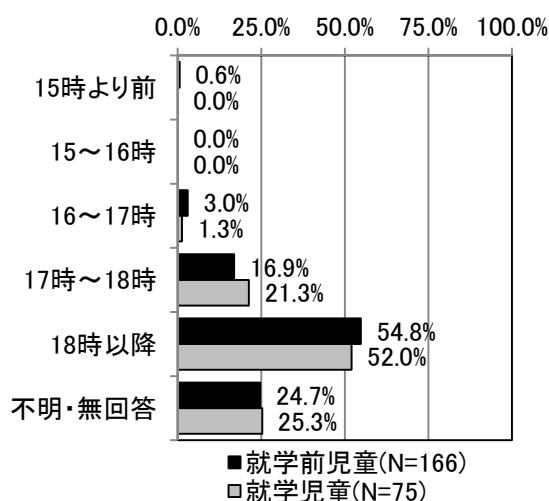
	自宅				祖父母宅や友人・知人宅			
	就学前児童		就学児童		就学前児童		就学児童	
	件数	(全体)%	件数	(全体)%	件数	(全体)%	件数	(全体)%
1日	10	3.8	11	8.5	33	24.1	22	32.8
2日	40	15.0	28	21.7	34	24.8	20	29.9
3日	52	19.5	23	17.8	17	12.4	3	4.5
4日	28	10.5	14	10.9	3	2.2	2	3.0
5日	69	25.9	26	20.2	17	12.4	9	13.4
6日以上	9	3.4	8	6.2	1	0.7	1	1.5
不明・無回答	58	21.8	19	14.7	32	23.4	10	14.9
サンプル数(%ベース)	266	100.0	129	100.0	137	100.0	67	100.0

	習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)				児童館			
	就学前児童		就学児童		就学前児童		就学児童	
	件数	(全体)%	件数	(全体)%	件数	(全体)%	件数	(全体)%
1日	58	29.4	26	25.0	3	30.0	1	20.0
2日	99	50.3	40	38.5	2	20.0	0	0.0
3日	15	7.6	21	20.2	0	0.0	0	0.0
4日	3	1.5	6	5.8	0	0.0	0	0.0
5日	0	0.0	5	4.8	1	10.0	1	20.0
6日以上	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	22	11.2	6	5.8	4	40.0	3	60.0
サンプル数(%ベース)	197	100.0	104	100.0	10	100.0	5	100.0

	放課後児童クラブ〔学童保育〕				ファミリー・サポート・センター(そらまめサポート)			
	就学前児童		就学児童		就学前児童		就学児童	
	件数	(全体)%	件数	(全体)%	件数	(全体)%	件数	(全体)%
1日	3	1.8	3	4.0	3	60.0	1	100.0
2日	16	9.6	8	10.7	0	0.0	0	0.0
3日	29	17.5	5	6.7	1	20.0	0	0.0
4日	16	9.6	6	8.0	0	0.0	0	0.0
5日	86	51.8	45	60.0	1	20.0	0	0.0
6日以上	7	4.2	4	5.3	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	9	5.4	4	5.3	0	0.0	0	0.0
サンプル数(%ベース)	166	100.0	75	100.0	5	100.0	1	100.0

	その他(公民館、公園など)			
	就学前児童		就学児童	
	件数	(全体)%	件数	(全体)%
1日	8	24.2	8	34.8
2日	8	24.2	3	13.0
3日	2	6.1	5	21.7
4日	1	3.0	1	4.3
5日	4	12.1	2	8.7
6日以上	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	10	30.3	4	17.4
サンプル数(%ベース)	33	100.0	23	100.0

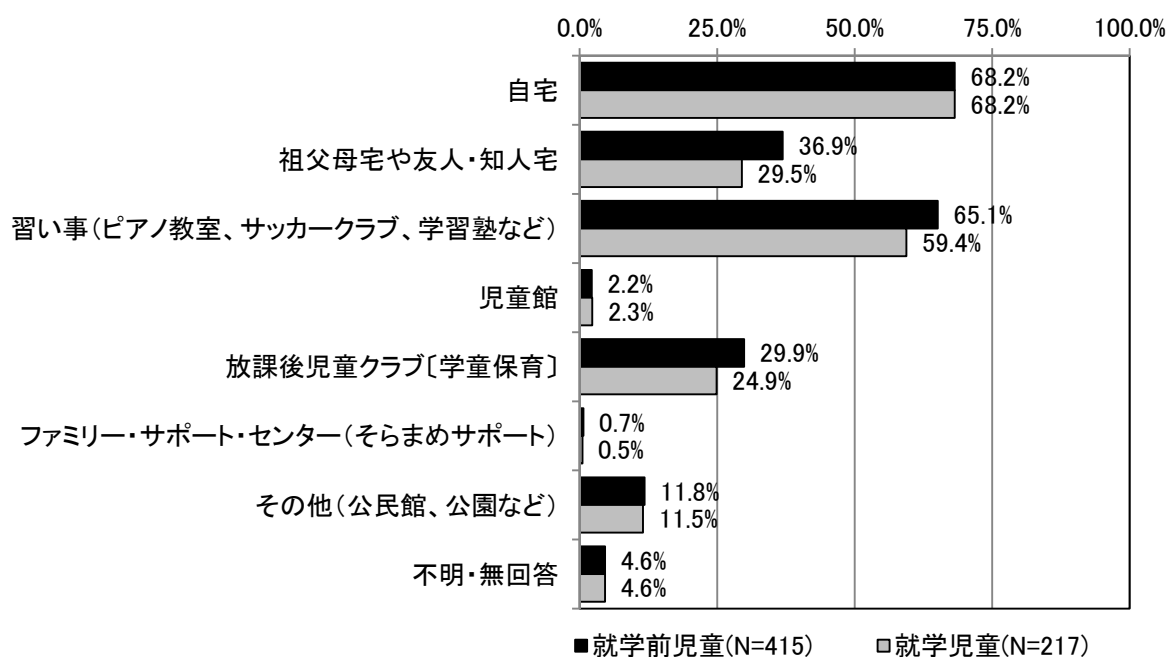
また、放課後児童クラブ〔学童保育〕を選ばれた方の中で、その利用時間についてみると「18 時以降」が最も多くなっています。



(51) 小学校高学年(4～6年生)での放課後(平日の小学校終了後)の過ごし方について

【問 27】 MA・N

小学校高学年(4～6年生)での放課後(平日の小学校終了後)の過ごし方については、就学前児童、就学児童ともに「自宅」がともに68.2%と最も多く、次いで「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」がそれぞれ65.1%、59.4%、「祖父母宅や友人・知人宅」がそれぞれ36.9%、29.5%となっています。



またそれぞれの週当たりの利用日数(就学前児童、低学年児童は希望)を見ると、就学前児童では「自宅」が「5日」、「祖父母宅や友人・知人宅」が「1日」、「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」が「2日」、「児童館」が「1日」、「放課後児童クラブ〔学童保育〕」が「5日」、「ファミリー・サポート・センター(そらまめサポート)」が「1日」が最も多くなっています。

就学児童では「自宅」が「3日」、「祖父母宅や友人・知人宅」が「1日」、「2日」、「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」が「2日」、「児童館」が「3日」、「放課後児童クラブ〔学童保育〕」が「5日」、「ファミリー・サポート・センター(そらまめサポート)」が「1日」が最も多くなっています。

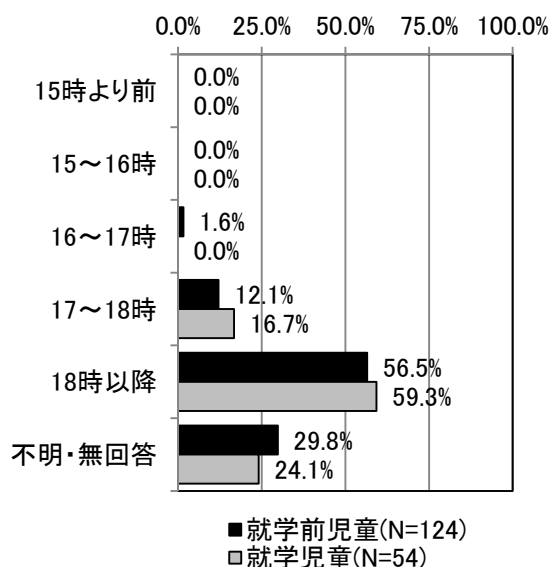
	自宅				祖父母宅や友人・知人宅			
	就学前児童		就学児童		就学前児童		就学児童	
	件数	(全体)%	件数	(全体)%	件数	(全体)%	件数	(全体)%
1日	31	11.0	21	14.2	45	29.4	22	34.4
2日	47	16.6	30	20.3	39	25.5	22	34.4
3日	54	19.1	33	22.3	19	12.4	6	9.4
4日	20	7.1	8	5.4	3	2.0	2	3.1
5日	58	20.5	27	18.2	21	13.7	6	9.4
6日以上	8	2.8	6	4.1	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	65	23.0	23	15.5	26	17.0	6	9.4
サンプル数(%ベース)	283	100.0	148	100.0	153	100.0	64	100.0

	習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、)				児童館			
	就学前児童		就学児童		就学前児童		就学児童	
	件数	(全体)%	件数	(全体)%	件数	(全体)%	件数	(全体)%
1日	39	14.4	13	10.1	5	55.6	1	20.0
2日	129	47.8	52	40.3	1	11.1	0	0.0
3日	60	22.2	42	32.6	0	0.0	2	40.0
4日	5	1.9	8	6.2	0	0.0	0	0.0
5日	5	1.9	6	4.7	1	11.1	0	0.0
6日以上	1	0.4	1	0.8	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	31	11.5	7	5.4	2	22.2	2	40.0
サンプル数(%ベース)	270	100.0	129	100.0	9	100.0	5	100.0

	放課後児童クラブ				ファミリー・サポート・センター			
	就学前児童		就学児童		就学前児童		就学児童	
	件数	(全体)%	件数	(全体)%	件数	(全体)%	件数	(全体)%
1日	4	3.2	2	3.7	2	66.7	1	100.0
2日	29	23.4	7	13.0	1	33.3	0	0.0
3日	22	17.7	7	13.0	0	0.0	0	0.0
4日	5	4.0	4	7.4	0	0.0	0	0.0
5日	48	38.7	25	46.3	0	0.0	0	0.0
6日以上	6	4.8	5	9.3	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	10	8.1	4	7.4	0	0.0	0	0.0
サンプル数(%ベース)	124	100.0	54	100.0	3	100.0	1	100.0

	その他			
	就学前児童		就学児童	
	件数	(全体)%	件数	(全体)%
1日	20	40.8	8	32.0
2日	9	18.4	6	24.0
3日	5	10.2	5	20.0
4日	0	0.0	1	4.0
5日	5	10.2	1	4.0
6日以上	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	10	20.4	4	16.0
サンプル数(%ベース)	49	100.0	25	100.0

また、放課後児童クラブ〔学童保育〕を選ばれた方の中で、その利用時間についてみると「18 時以降」が最も多くなっています。



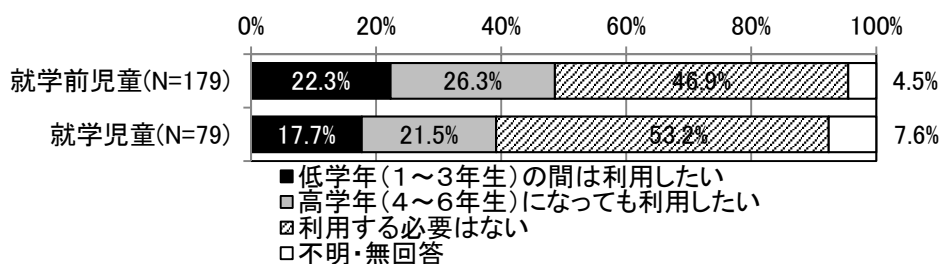
(50) または (51) で「5. 放課後児童クラブ (学童保育)」に○をつけた方のみ

(52) 土曜日と日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用希望について

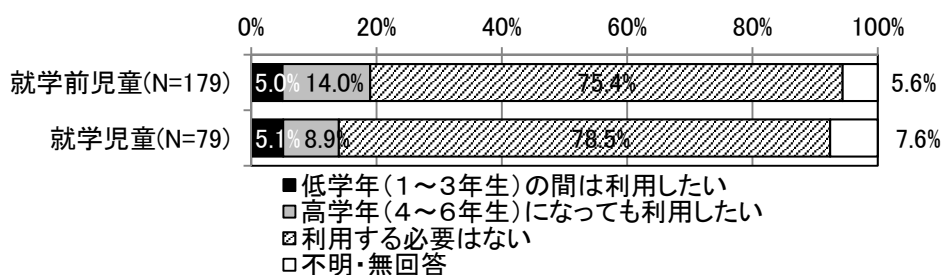
【問 28】 MA・N

土曜日と日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用希望については、「利用する必要はない」が就学前児童、就学児童、土曜日、日曜日・祝日のすべてで最も多くなっており、土曜日の就学前児童で「低学年(1～3年生)の間は利用したい」が 22.3%、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」が 26.3%となっており、就学前児童でも同様の傾向を示していますが、日曜日・祝日では利用希望が土曜日に比べ半減している傾向が見られます。

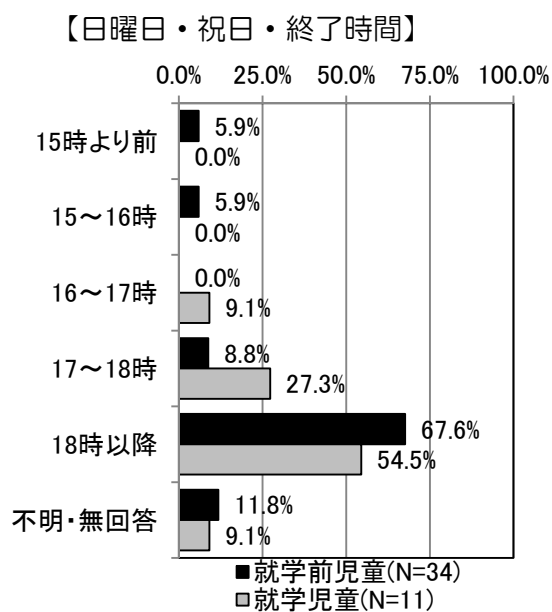
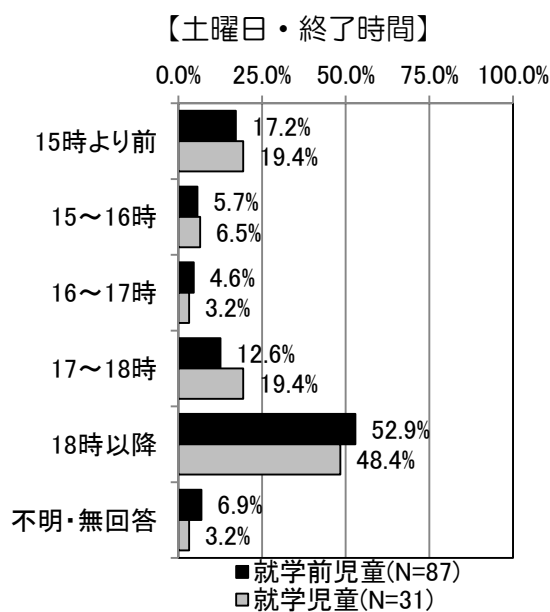
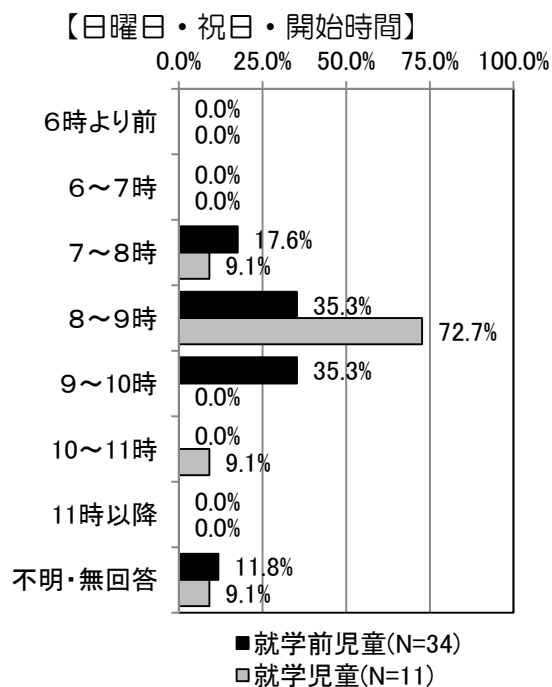
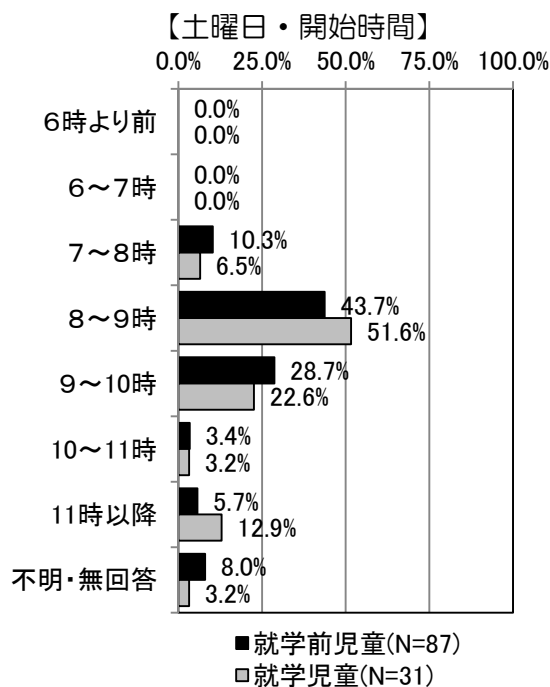
【土曜日】



【日曜日・祝日】



土曜日と日曜日・祝日のそれぞれの開始時間、終了時間については、土曜日では「8時～9時」の開始、「18時以降」の終了が最も多く、日曜日・祝日も同様の傾向が見られます。

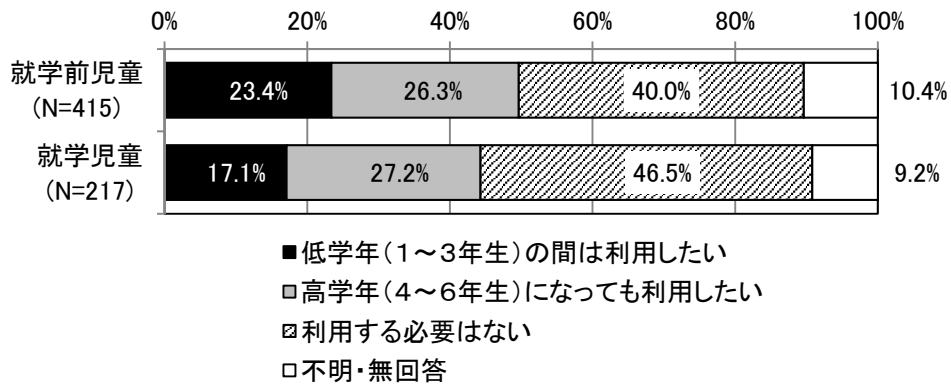


(53) 長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望について

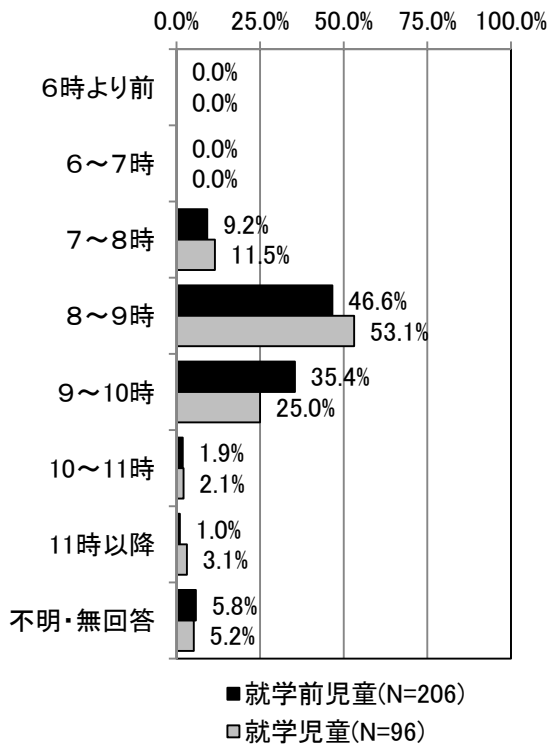
【問 29】 SA・N

長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望については、就学前児童、就学児童ともに「利用する必要はない」がそれぞれ 40.0%、46.5%ともっとも多く、次いで「高学年(4～6年生)になっても利用したい」がそれぞれ 26.3%、27.2%、「低学年(1～3年生)の間は利用したい」がそれぞれ 23.4%、17.1%となっています。

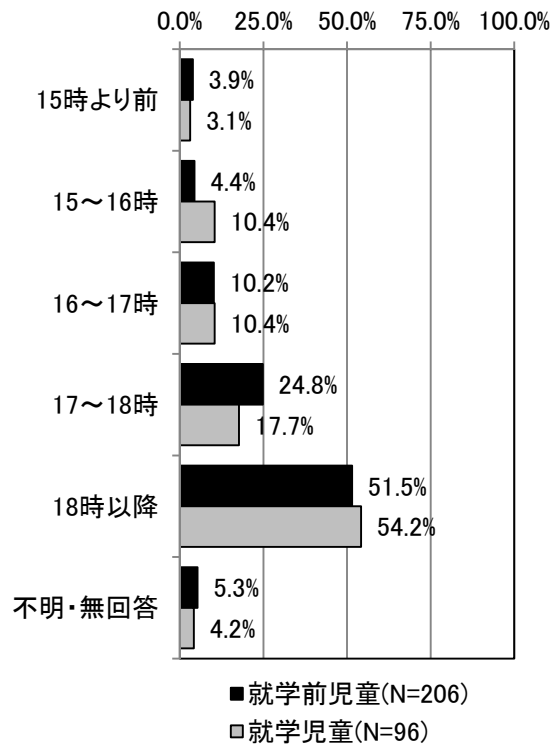
また、その際の利用開始時間及び終了時間については、就学前児童、就学児童ともに同様の傾向を示しており、開始時間は「8～9時」、終了時間は「18時以降」が最も多くなっています。



【利用開始時間】



【利用終了時間】



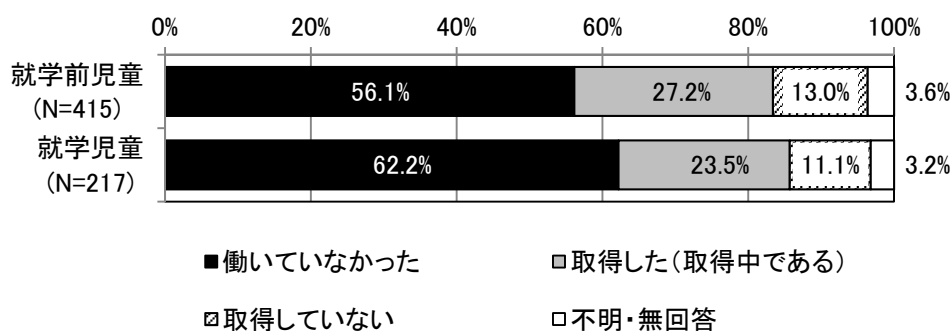
(54) 子どもが生まれた時の育児休業の取得について

【問 30】 SA・MA

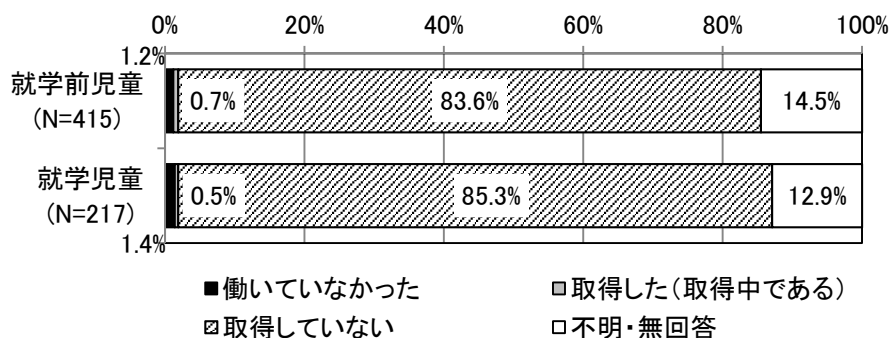
育児休業の取得については、母親では就学前児童、就学児童ともに「働いていなかった」がそれぞれ 56.1%、62.2%ともっとも多く、次いで「取得した(取得中である)」がそれぞれ 27.2%、23.5%、「取得していない」が 13.0%、11.1%となっています。

父親では全体のほとんどを「取得していない」が占めています。

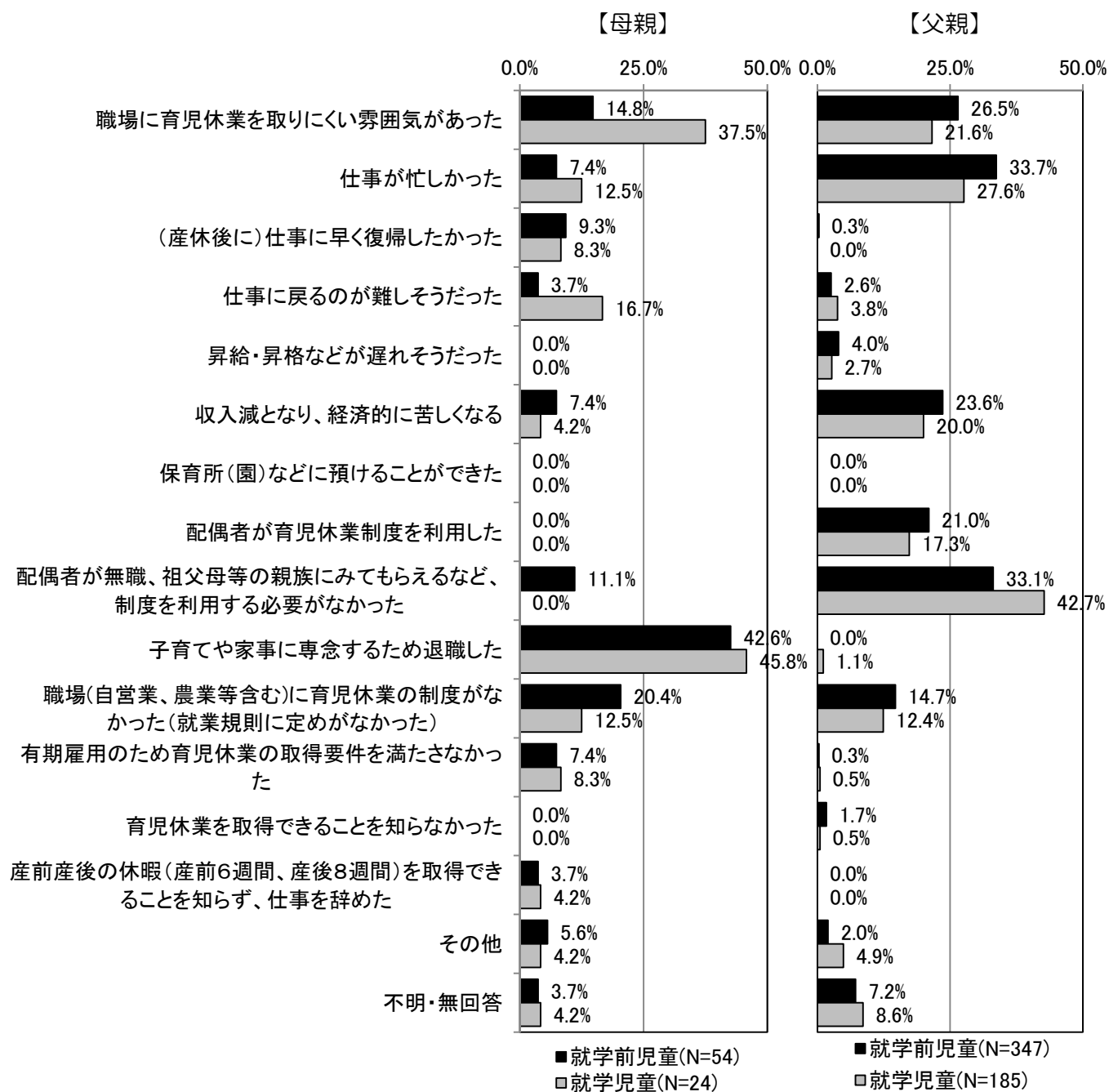
【母親・育児休業の取得状況】



【父親・育児休業の取得状況】



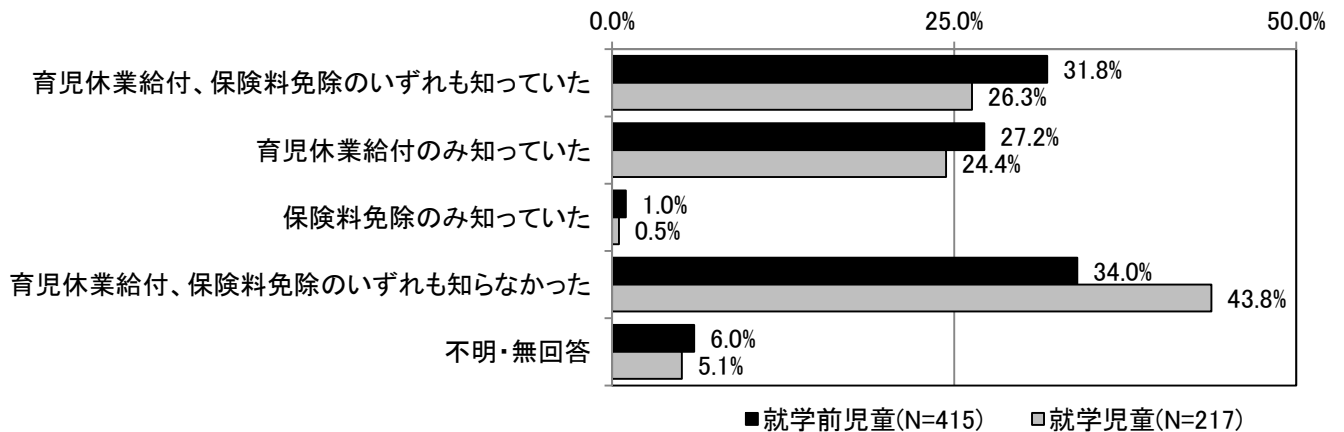
取得していないと答えた方の理由について就学前児童の母親では「子育てや家事に専念するため退職した」、父親では「仕事が忙しかった」が最も多く、就学児童の母親では「子育てや家事に専念するため退職した」、父親では「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が最も多くなっています。



(55) 育児休業給付、健康保険及び厚生年金保険の保険料の免除についての認知度

【問 30-1】 SA

育児休業給付、健康保険及び厚生年金保険の保険料の免除についての認知度では、就学前児童、就学児童ともに「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」がそれぞれ 34.0%、43.8%ともっとも多く、次いで「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」がそれぞれ 31.8%、26.3%、「育児休業給付のみ知っていた」がそれぞれ 27.2%、24.4%、「育児休業給付のみ知っていた」が 27.2%、24.4%となっています。

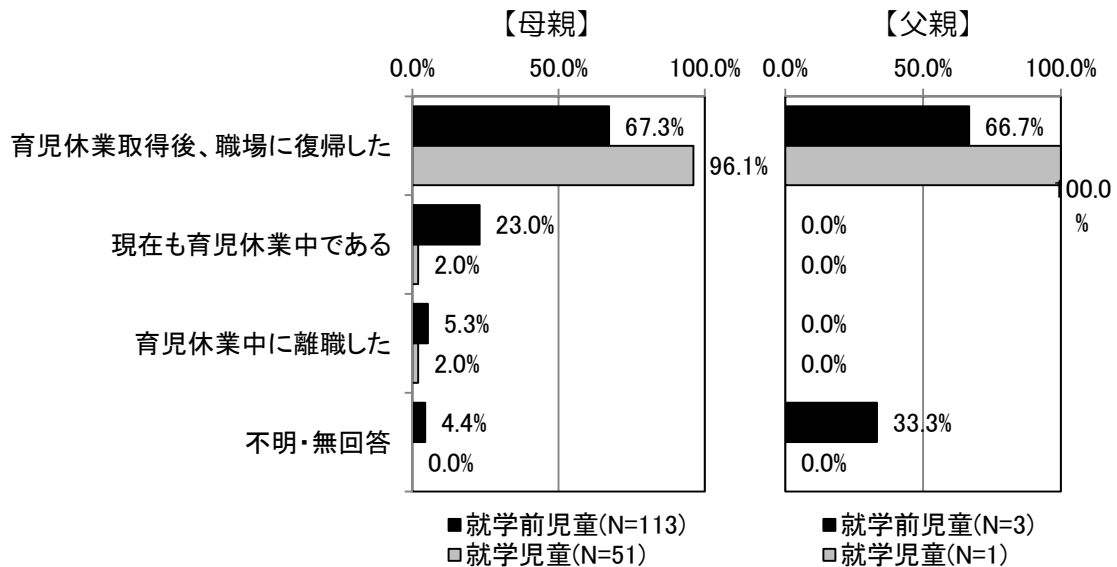


(54) で「2. 取得した（取得中である）」と回答した方のみ

(56) 育児休業取得後の職場への復帰について

【問 30-2】 SA

育児休業取得後の職場への復帰については、母親、父親共に就学前児童、就学児童ともに「育児休業取得後、職場に復帰した」がもっとも多くなっています。



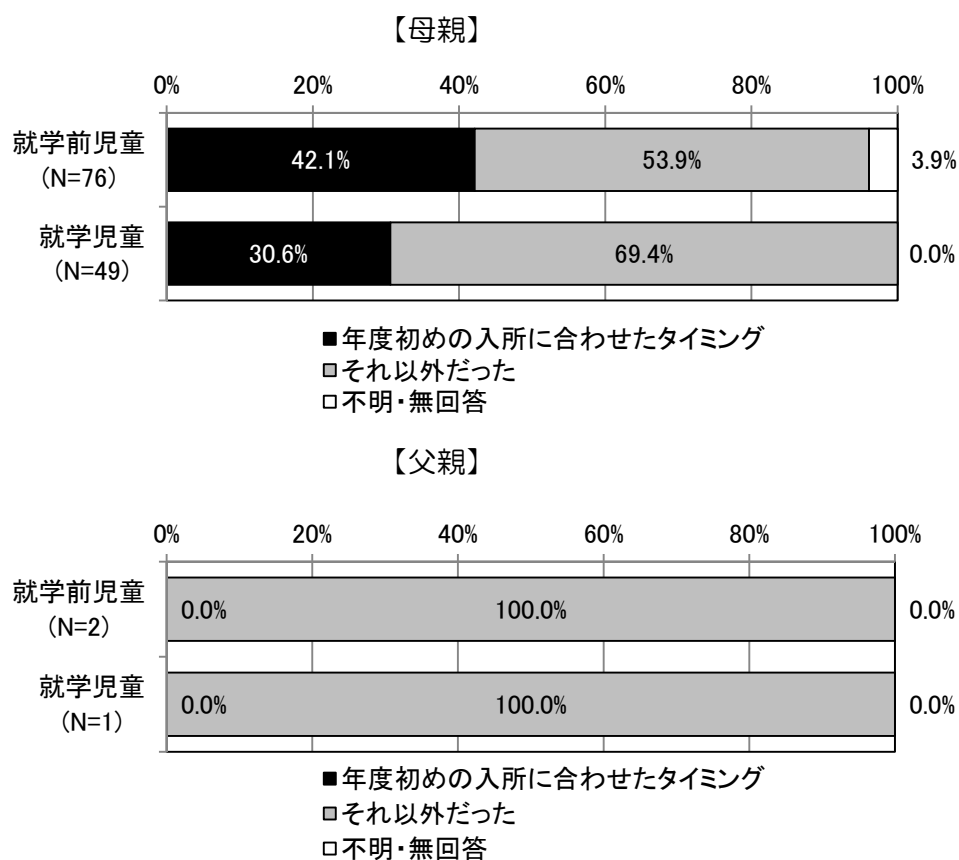
(56) で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方のみ

(57) 育児休業から職場に復帰したタイミングについて

【問 30-3】 SA

育児休業から職場に復帰したタイミングについて、母親では就学前児童で「年度初めの入所に合わせたタイミング」が 42.1%、「それ以外だった」が 53.9%となっています。就学児童では「年度初めの入所に合わせたタイミング」が 30.6%、「それ以外だった」が 69.4%となっています。

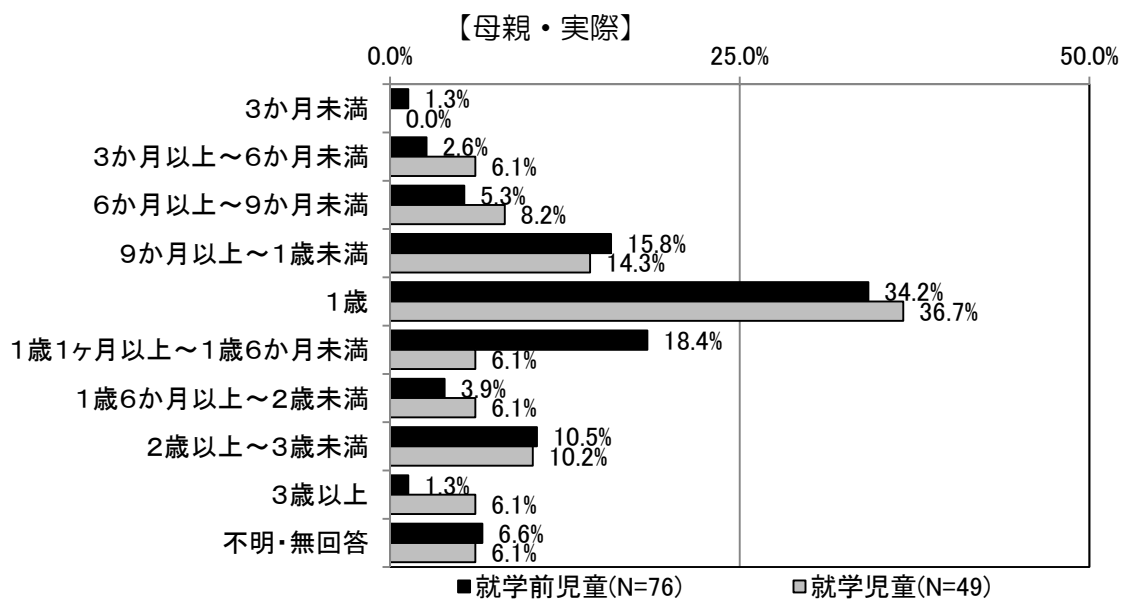
父親では就学前児童、就学児童ともに「それ以外だった」が 100.0%となっており、それぞれの人数は就学前児童で2名、就学児童で1名の回答が得られました。



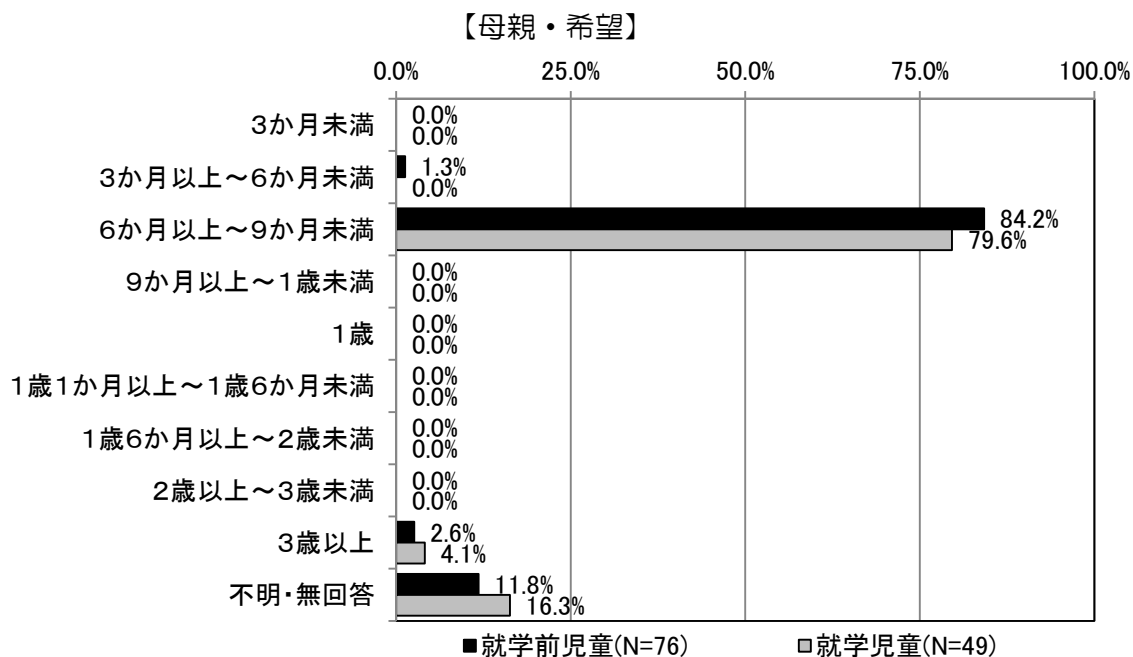
(58) 育児休業の実際の取得と希望について

【問 30-4】 N

母親の育児休業の実際の取得については、就学前児童、就学児童ともに「1歳」がそれぞれ34.2%、36.7%ともっとも多く、次いで就学前児童では「1歳1か月以上～1歳6か月未満」が18.4%、「9か月以上～1歳未満」が15.8%となっています。就学児童では次いで「9か月以上～1歳未満」が14.3%、「2歳以上～3歳未満」が10.2%となっています。



母親の育児休業の取得の希望については、就学前児童、就学児童ともに「6か月以上～9か月未満」がそれぞれ84.2%、79.6%ともっとも多く大半を占めています。



父親の育児休業における実際の取得については、就学前児童で2名、就学児童で1名の回答を得ており、就学前児童で「3か月」、「3か月以上～6か月未満」がともに1名、就学児童で1名回答を得ています。

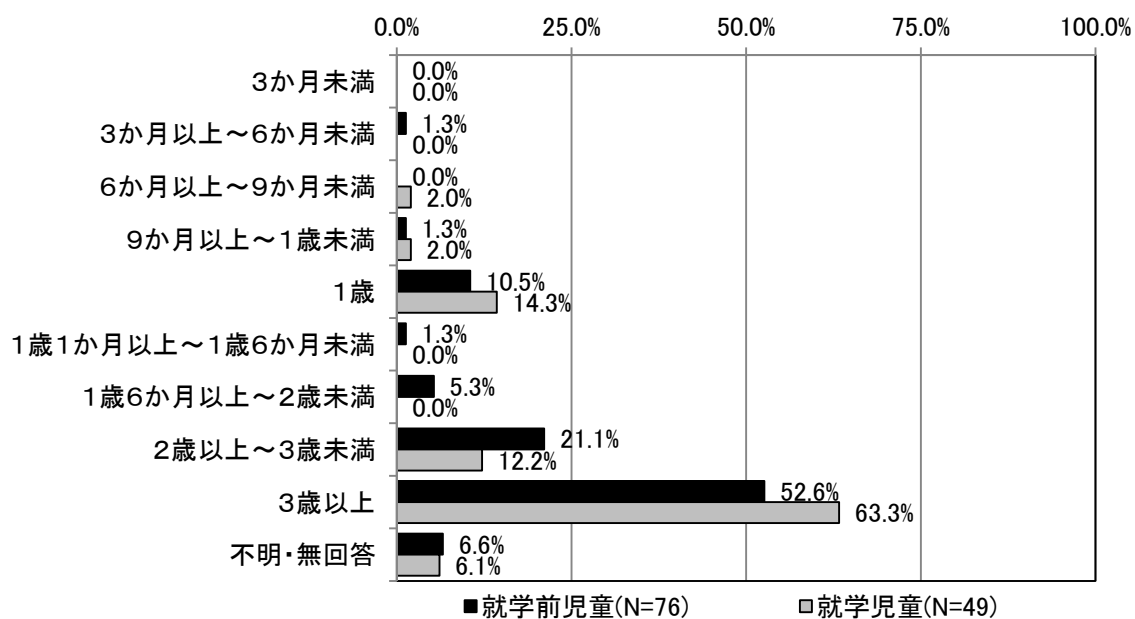
また、希望については「3か月」に就学前児童で1名、就学児童で1名回答を得ています。

(59) 勤め先に育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、預けたい希望の期間について

【問 30-5】 N

母親の勤め先に育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、預けたい希望の期間については、就学前児童、就学児童ともに「3歳以上」がそれぞれ 52.6%、63.3%ともっとも多く、次いで就学前児童で「2歳以上～3歳未満」が 21.1%、「1歳」が 10.5%となっています。就学児童では次いで「1歳」が 14.3%、「2歳以上～3歳未満」が 12.2%となっています。

また、父親では就学前児童で2名の回答があり、それぞれ「6か月以上～9か月未満」、「2歳以上～3歳未満」となっており、就学児童では有効な回答が得られませんでした。



(58) で実際の復帰と希望が異なる方のみ

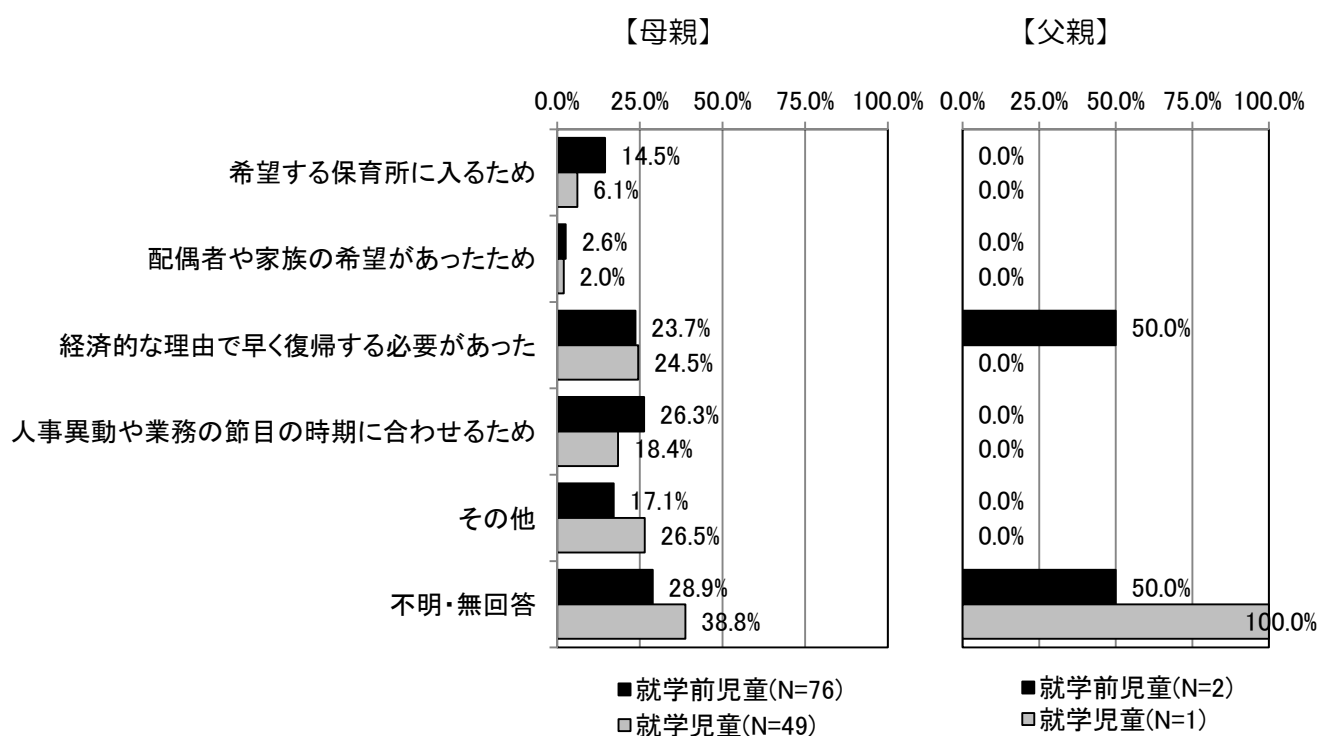
(60) 希望の時期に職場復帰しなかった理由について

【問 30-6 (1)】 MA

希望の時期に職場復帰しなかった理由については、母親では就学前児童で「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が 26.3%と最も多く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要がある」が 23.7%、「その他」が 17.1%となっています。就学児童では「その他」が 26.5%と最も多く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要がある」が 24.5%、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が 18.4%となっています。

その他については「1年以上取得している前例がなかった」、「1年しか育児休業がないから」、「職員数が少ない為」、「職場の上司から早期復帰を促された」などの意見が多く挙げられています。

父親では就学前児童で「経済的な理由で早く復帰する必要がある」に1名の回答がありました。

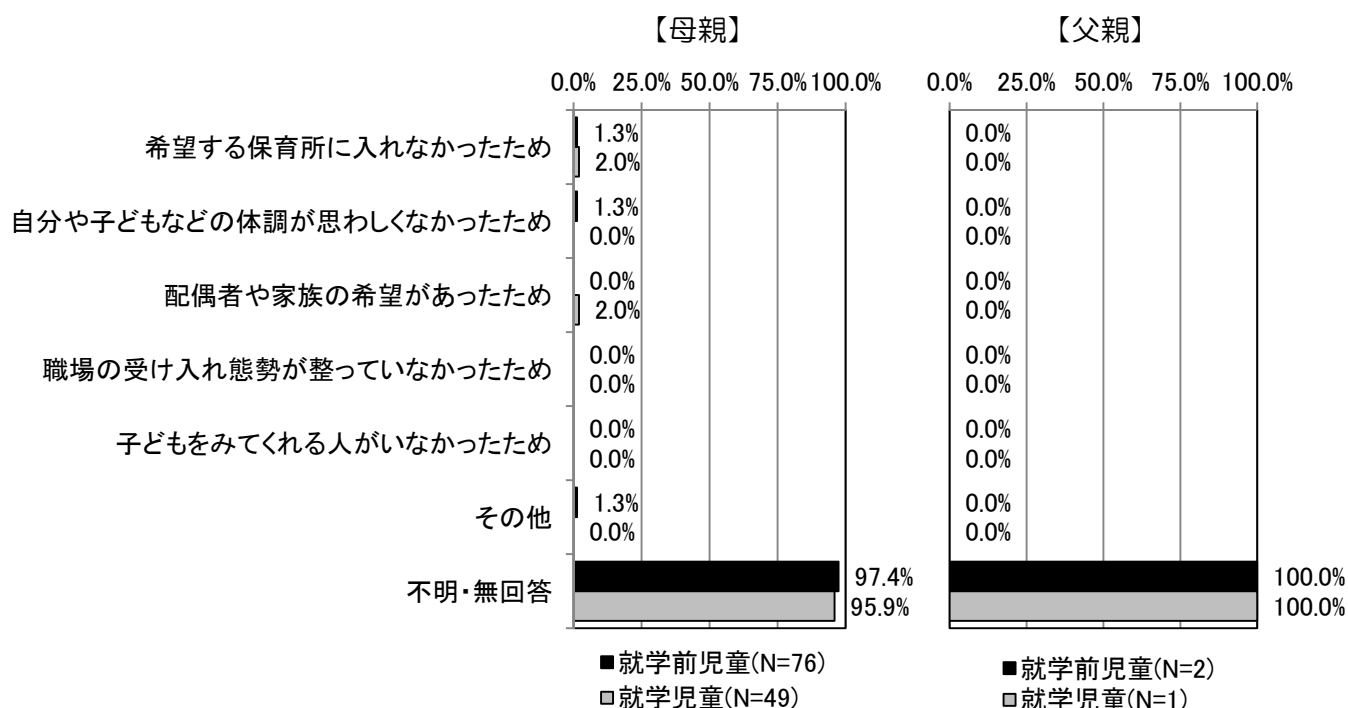


(61) 希望より遅く復帰した理由について

【問 30-6 (2)】 MA

希望より遅く復帰した理由については、以下のグラフのようにあまり有効な回答が得られていませんが、「希望する保育所に入れなかったため」、「自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため」、「配偶者や家族の希望があったため」などの理由が挙げられています。

これは実際に「遅く復帰した」方があまりおられないため、不明・無回答が多くなったと考えられます。



(56) で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方のみ

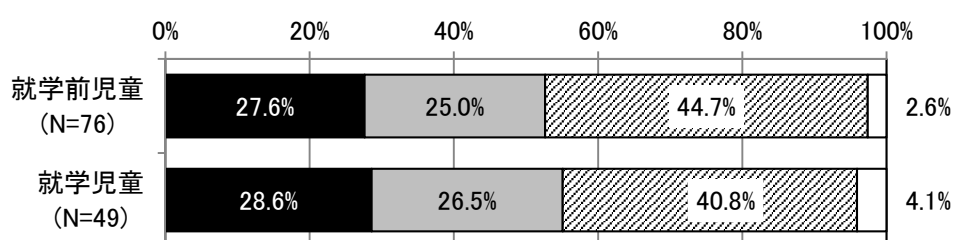
(62) 育児休業からの職場復帰時の短時間勤務制度の利用について

【問 30-7】 SA

育児休業からの職場復帰時の短時間勤務制度の利用については、母親では就学前児童、就学児童ともに「利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」がそれぞれ 44.7%、40.6%ともも多く、次いで「利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)」がそれぞれ 27.6%、28.6%、「利用した」が 25.0%、26.5%となっています。

父親では就学前児童、就学児童ともに「利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)」が 100.0%となっています。

【母親】



- 利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)
- 利用した
- ▨ 利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)
- 不明・無回答

【父親】



- 利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)
- 利用した
- ▨ 利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)
- 不明・無回答

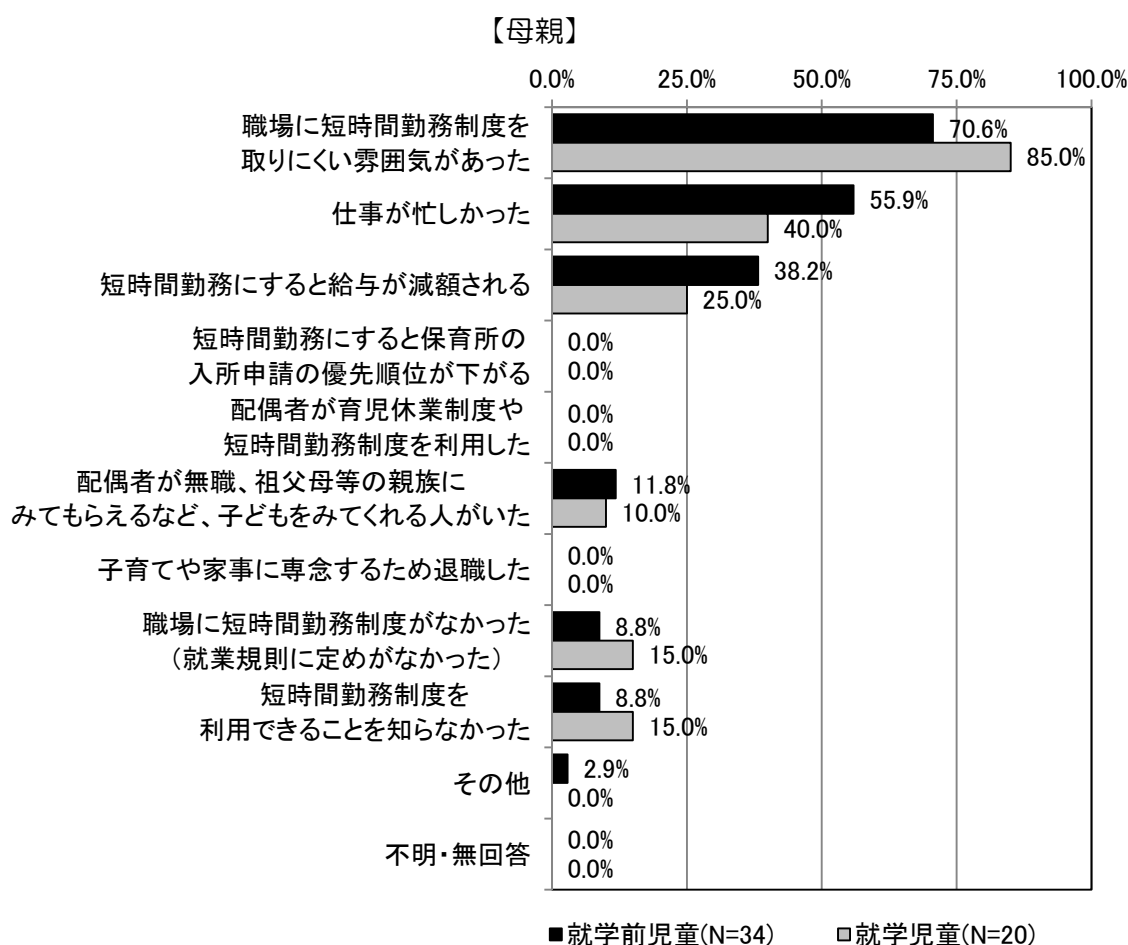
(62) で「3.利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」と回答した方のみ

(63) 短時間勤務制度を利用しなかった(利用できなかった)理由について

【問 30-8】 MA

短時間勤務制度を利用しなかった(利用できなかった)理由については、母親では就学前児童、就学児童ともに「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」がそれぞれ 70.6%、85.0%と最も多く、次いで「仕事が忙しかった」がそれぞれ 55.9%、40.0%、「短時間勤務にすると給与が減額される」がそれぞれ 38.2%、25.0%となっています。

父親では回答がありませんでした。

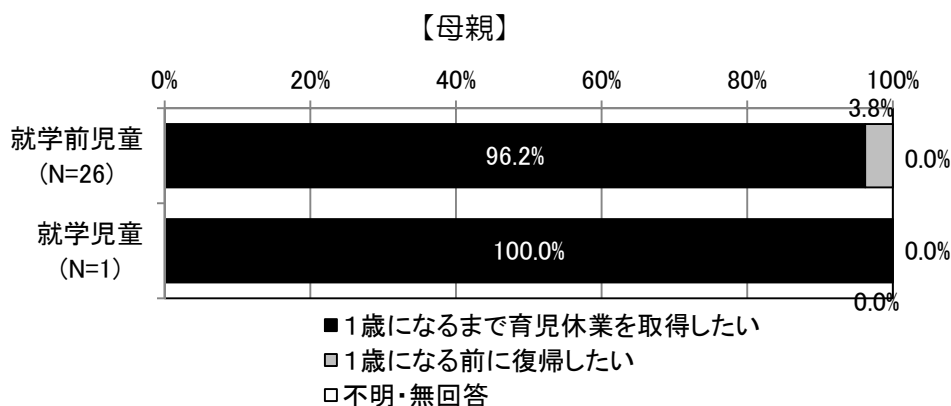


(56) で、「2. 現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。

(64) 子どもが1歳になるまでに必ず利用できる(預ける)事業があっても、1歳になるまで育児休業を取得するかについて

【問 30-9】 SA

子どもが1歳になるまでに必ず利用できる(預ける)事業があっても、1歳になるまで育児休業を取得するかについて、母親では就学前児童で「1歳になるまで育児休業を取得したい」が96.2%、「1歳になる前に復帰したい」が3.8%となっています。就学児童では「1歳になる前に復帰したい」に1名が回答されています。



(65) 地域における子育ての環境や支援への満足度について

【問31】 SA

地域における子育ての環境や支援への満足度については、就学前児童、就学児童ともに「普通」がそれぞれ44.8%、48.4%と最も多く、次いで就学前児童では「満足度がやや高い」が20.0%、「満足度がやや低い」が13.7%となっており、就学児童では「満足度がやや低い」が16.1%、「満足度がやや高い」が14.3%となっています。

